栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)

実行計画

令和7年度~令和11年度

【令和7年度版】

令和7年4月 栗東市

1. 栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)実行計画の基本方針

1 計画策定の趣旨

本実行計画は、令和6年9月に策定した栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)(以下、「総合戦略」という。)で掲げる基本目標と、横断的施策として位置づけた重点プロジェクトの目標達成に向けて、具体的な事業の内容、年次計画、活動目標などの概要を明らかにすることで、総合戦略を計画的かつ効果的に実施していくために策定します。

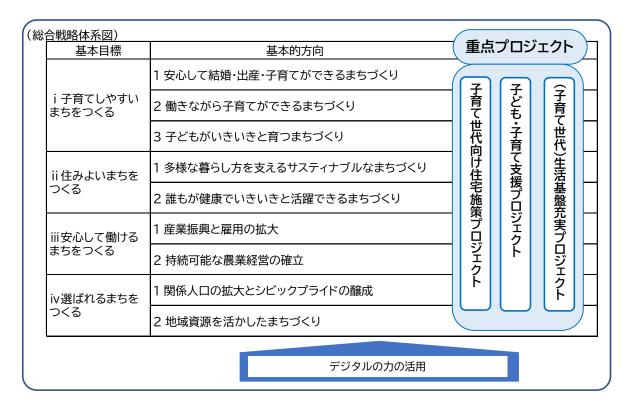
2 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

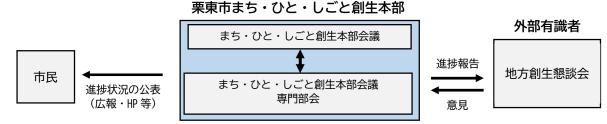
3 計画の推進

総合戦略で掲げる4つの基本目標については、基本的方向ごとに主な数値目標(KPI)を示しています。また、重要目標達成指標(KGI)の達成を目指し、3つの重点プロジェクトごとに主な数値目標(KPI)を示しています。

本計画の対象事業は、基本目標と、重点プロジェクトの施策展開を図るうえで必要な取組を対象としています。なお、デジタル技術やデータの活用を伴う取組の DX の視点での推進は栗東市 DX 推進計画に位置付け、取組を進めます。(栗東市 DX 推進計画にも位置づける具体的取組については、名称の後ろに(D)マークを表示)



(1) 推進体制



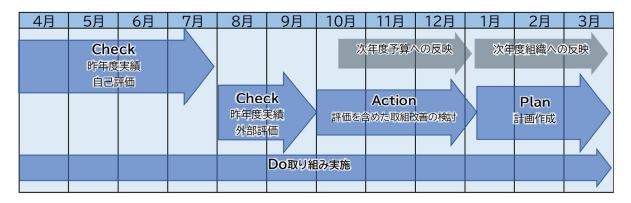
(2) 進行管理

総合戦略の進捗は、4つの基本目標、3 つの重点プロジェクトごとに実行計画に定める取組の「年次計画」および「活動(アウトプット)指標」の達成度によってはかることとします。

取組の評価・検証は、PDCA サイクルに基づいて毎年度ごとに行い、次年度の予算および組織への反映を含め、次のアクションにつなげていきます。

なお、実行計画は取組の評価・検証結果や社会情勢の変化を考慮し、必要に応じて取組の追加 等、見直しを行うものとします。

実行計画の評価・検証の結果は、年度ごとにまとめて市のホームページ等で公開します。



4 計画の関係性

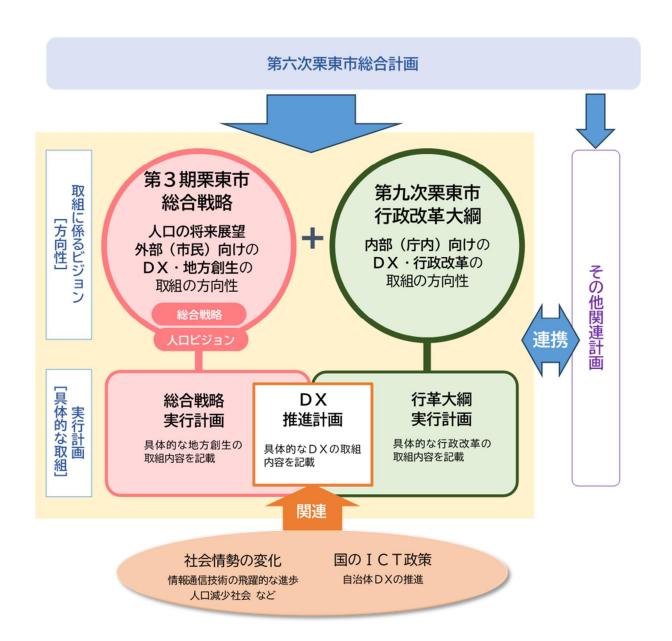
(1) 取組に係るビジョン(方向性)

本市の最上位計画に位置づけられる「第6次栗東市総合計画」に基づき、各個別計画と連携を図りつつ、人口の将来展望や市民向けのDX・地方創生の観点で取り組む内容については総合戦略で、庁内向けのDX・行政改革の観点で取り組む内容については行政改革大綱でビジョンを明らかにしています。

(2)総合戦略実行計画、行革大綱実行計画、DX 推進計画の関係性

- ・総合戦略および行革大綱を具体的に実行していくため、事業の内容、年次計画、活動目標などを示すために総合戦略実行計画および行革大綱実行計画を策定します。
- ・総合戦略実行計画および行革大綱実行計画のうち、DX に関連した取組について集約し、新たに DX 推進体制を整備したうえで、スピード感を持って実行していくため、DX 推進計画を策定します。
- ・総合戦略および行革大綱の取組と、手段としての DX とは密接に関連することから、これらを効率的・効果的に推進するために、3つの実行計画を一体的に作成します。また、共通の

「取組シート」を用いることにより、3つの実行計画を連動させながら、取組の進行管理や毎年の見直しについて実施していきます。



2. 重点プロジェクト

【基本方針】0~4歳と35~44歳の転出超過が社会減の大きな要因となっており、また、近隣市への定住を理由とする転出が目立つことから、子育て世代が住み続けたい、戻ってきたいと思う定住基盤の整備を重点プロジェクトとして展開します。

重点プロジェクトに重要目標達成指標(KGI)を設け、この最終目標を達成するための重要業績評価指標(KPI)を「子育て世代向け住宅施策プロジェクト」「子ども・子育て支援プロジェクト」「(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト」のそれぞれに設けています。具体的な取組を推進することにより、重要業績評価指標(KPI)の達成を目指します。

なお、KGI 及び KPI を達成するために行う事業で具体的取組に掲げる以外のものについては、関連する個別計画により実施することとします。

【重要目標達成指標(KGI)】

実現すべき成果に係る数値目標 (重要目標達成指標/KGI)	現状値	目標値
人口の社会動態 (転出超過の抑制)	△370人	0人以上 (プラスに転じさせる)
(参考内訳) 特に転出超過の多い年齢階級	0~ 4歳 △227人 35~39歳 △51人 40~44歳 △38人	0人以上(プラスに転じさせる)

重点プロジェクトは、以下の2つの段階を意識しながら、推進します。

第1段階 子育て世代における人口流出傾向を踏まえ、地元定着の取組を促進します。

第2段階 就職・転職・転勤をきっかけに転出した方が、戻ってきたくなるように、市への愛着や誇り を高める取組を推進します。交流人口の拡大にもつながることが期待されます。

重点プロジェクトは、以下の3つの横断的視点から施策を展開します。

- 1. 住宅取得に係る補助や支援制度の充実、土地利用の適切な規制・誘導など、子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開による UIJ ターンを含む居住誘導。
- 2. 教育環境の充実と、親と子の多様なニーズに応じた居場所の確保など子どもが育つ環境の充実。
- 3. 日常生活に必要な施設へのアクセスのしやすさや、暮らしの安心と安定を叶える生活基盤の充実。

1 子育て世代向け住宅施策プロジェクト

子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開を行います。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課·関係課
住宅着工件数(5年平均値)	459件	460件	企画政策、住宅課、
正七省工作数(3年十25世)	43911	40011	都市計画課
空き家率(住宅土地統計調査)	7.2%	7. 2%以下	住宅課
若年層の結婚に係る住宅関連費用補助件数	53件	60件	企画政策課
市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数	2件	28件	企画政策課、住宅課

【具体的取組】

〇都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大【拡充等】

都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新たに指定する区域の数	1区域	_			1区域	住宅課	S1	30
					以上			

〇都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討【新規】

都市計画マスタープランや企業立地推進計画に位置付けられた地域での地区計画等による土地利用を促進します。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
地区計画決定件数	1件	1件	1件	1件	1件	都市計画課	S2	32

〇空き家相談の充実【拡充等】

NPO 法人、関係団体、民間事業等との連携、ホームページやガイドブック等の空家対策情報の充実、空家バンクや子育て・若年世帯向け空家の改修補助事業等の実施

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
戸建て空家増加数(空家等現況調	R4 と比べ		_	R7と比べ				
査)	50戸以下			50戸以下		住宅課	S3	34
市の支援制度等を利用して住宅を	6. 5件	8件	9.5件	11件	12.5件	注七味	33	34
取得した件数	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)			

〇移住者·交流者向け PR や情報発信【新規】

滋賀移住・交流促進協議会等に参画し、戦略的に情報発信・PR活動を展開するとともに、団体間での情報共有を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
移住・交流人口に関する情報発信	6回	12回	12回	12回	12回			
の数						人 西北等無	64	26
移住フェアや情報交換会への参加	2回	4回	4回	4回	4回	企画政策課	S4	36
回数								

〇結婚新生活に係る経済的支援【拡充等】

経済的理由で結婚に踏み切れない若年世代を対象に住宅取得等に係る費用の一部を補助します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
支援制度の利用者数	59件	60件	60件	60件	60 件			
支援制度を利用して住宅を取得した	<i>⊏ </i>	0.//±	10 <i>H</i> +	1.6 <i>I</i> I+	20#	企画政策課	S5	38
件数(R5 年度からの累計)	5件	8件	12件	16件	20件			

「1 子育て世代向け住宅施策プロジェクト」では、住宅取得に係る補助や支援制度の充実、土地利用の適切な規制・誘導など、子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開による UIJ ターンを含む居住誘導を行うことで KGI(人口の社会動態(転出の抑制))達成を目指します。

2 子ども・子育て支援プロジェクト

子どもが育つ環境の充実を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課·	
				関係課	
待機児童数		26件	0件	幼児課、子育て支援課	
授業の内容が白ノ公かる旧舎の割合	(小学6年生)		88%	学校教育課	
校未の内合か及へ刀かる児里の割口	(中学 3 年生)	77.9% 80%		了 似秋月珠	
不登校等児童生徒の居場所保有率		_	90%	学校教育課	
全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県	(小学校)	4.6%	2.6%	学校教育課	
正答率と本市正答率との比較	(中学校)	5.4%	3.4%	子仪仪目录	
全国学力学習状況調査(算数・数学)の (小学校)		3.2%	1. 2%	学校教育課	
滋賀県正答率と本市正答率との比較	(中学校)	5. 9%	3.9%	于汉郑目硃	

【具体的取組】

○学童保育所の整備【拡充等】

入所児童の増加にあわせて、民設学童保育所の開設や公共施設や公共用地の空きスペースの活用による整備を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課	S6	40

〇保育人材の確保【継続】

就職フェア・相談会の開催等により保育人材の確保を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
就職フェア・相談会の開催数	10 回	10 回	10 回	10 回	10回	幼児課	S7	42

〇こども園(幼稚園・保育所のこども園化を含む)の整備【拡充等】

子ども・子育て支援事業計画や栗東市就学前教育・保育施設の再編(認定こども園化)の推進に基づき、公立園の民設民営化や新 規法人立認定こども園の誘致を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規法人立認定こども園誘致数		1施設		_	_			
公立園(治田保育園)の民設民営		_		1施設	_	幼児課	S8	44
化の数						列元誌	30	44
公立園(幼児園)のこども園化	_	3 施設	_	_	_			

○学びに向かう力の向上策・学力向上「セレクト・パッケージ」【新規】

各校が子どもの実態分析を基にして方略を選択できるように、学校の「主体性・独自性」を重視した学力向上の取組、学力向上「セレクト・パッケージ」を提示します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
全国学力学習状況調査(国語)				J. A 2, 10/	1. 4.2. 6.04			
の滋賀県正答率と本市正答率と	小△4.6%	小△4.1%	小△3.6%	小△3.1%	小△2.6%			
の比較	中△5.4%	中△4.9%	中△4.4%	中△3.9%	中△3.4%	学校教育課	S9	46
全国学力学習状況調査(算数・						子仪狄月珠	39	40
数学)の滋賀県正答率と本市正	小△3.2%	小△2. 7%	小△2. 2%	小△1. 7%	小△1. 2%			
答率との比較	中△5.9%	中△5.4%	中△4.9%	中△4.4%	中△3.9%			

〇校内教育支援センターの拡充による不登校児童生徒の居場所確保【拡充等】

教室以外で不登校・不適応児童生徒が安心して学校に通える場所が必要なため、校内教育支援センターの運営環境を整え、子どもの居場所を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
不登校等児童生徒の居場所保	70%	80%	90%	90%	90%	学校教育課	S10	48
有率	70%	60%	90%	90%	90%	于似郑月砞	310	40

〇学ぶ力向上に向けての学校 DX の推進(D)【拡充等】

1人一台端末や授業支援システム、デジタルドリルなどの学校 DX の環境を整え、加えて活用できるようになる研修会を計画・実施します。

活動(アウト	プット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
授業の内容が	(小学 6 年生)	86.0%	86.0%	86.0%	87.0%	88.0%			
よく分かる児	(中学3年生)	70.00/	70 50/	79.0%	79.5%	00.00/	学校教育課	S11	50
童の割合		78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%			

〇自分のペースで緩やかに「他者(ひと)」と繋がれる居場所づくり【拡充等】

市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所を開設する。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
居場所の開設数	2 か所	2 か所	3 か所	3 か所	3 か所			
体制推進会議·共生社会推進会	1 🗔	2 🖂	2 🖂	2 🗉	2 🗉	社会福祉課	S12	52
議の開催回数	1 回	2回	2回	2回	2回			

〇生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり【継続】

市内2か所において、中学生・高校生で支援の必要な子どもたちの学習支援とともに、生活習慣や育成環境の相談支援に取組むとともに、居場所として支援します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項	
「べんきょう会」の実施回数	90回	90回	90回	90回	90回	社会福祉課	S13	54	

〇子育て情報の収集・発信の充実(D)【拡充等】

子育てに関する制度や情報を収集し、広報やホームページ、LINE、子育てアプリ、YouTube 等を活用し、子育て情報へアクセスしやすい形で発信します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市ホームページ子育て特設サ								
イトトップページアクセス数	1,450 回	1,700 回	1,950 回	2,200 回	2,450 回	フヰァ		
(月平均)						子育て・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	S14	56
LINE、子育てアプリ配信回数	2 🗔	2 🗔	2 🗔	2 🗔	2 🗔	又饭床		
(月平均)	3 回	3 🛭	3 回	3 🛭	3 🛭			

「2 子ども・子育て支援プロジェクト」では、教育環境の充実と、親と子の多様なニーズに応じた居場所の確保など、子どもが育つ環境の充実を図ることで、KGI(人口の社会動態(転出の抑制))達成を目指します。

3 (子育て世代)生活基盤充実プロジェクト

子育て世代に好まれるような生活基盤の整備を推進します。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値	目標(KPI)	基準値	目標値	担当課·関係課
犯罪認知件数		272件	245件	危機管理課
事業所立地数		2,820 件	2,820 件以上	商工観光労政課、
争来//正花妖		2,02011	2,020 11 🗴 🗆	企業立地推進課
商業施設数(小売業)		319件	319件以上	商工観光労政課、
向来/旭政奴(770未)		319H	319仟0工	都市計画課
都市公園整備面積		23. 9ha	25.08ha	都市計画課
医療施設数(一般診療所、	歯科診療所、助産所)	82 施設	82施設以上	健康増進課
鉄道/コミュニティバス	(鉄道)	11,815 人/日平均	15,054 人/日平均	
・タクシーの利用者数	(コミュニティバス/ タクシー)	71千人/年	90千人/年	土木交通課

【具体的取組】

○防犯環境(防犯灯・防犯カメラ)の整備

優先順位をつけ、防犯カメラの設置を推進します。【拡充等】

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
防犯カメラの設置件数	30件	30件	29件		_	危機管理課	C1E	58
LED 防犯灯設置件数	14件	14件	14件	1	_	心成目生味	S15	30

〇創業支援事業【継続】

「りっとう創業塾」を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
「りっとう創業塾」受講者数	48人	48人	48人	48人	48人	商工観光労政課	S16	60

〇市内企業のデジタル化・省力化の促進(D)【新規】

市内企業の生産性向上のためのデジタル化を推進し、経営の持続と発達に繋げます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
デジタル化導入に係る補助金	25 件					商工観光労政課	\$17	62
申請件数	25 11	_	_		_		317	02

○企業立地推進計画に基づく民間開発の促進【拡充等】

新たな企業立地の促進に向けた環境整備や支援の充実を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規立地件数	_	_	_	_	1件	企業立地推進課	S18	64

○東部地区におけるインフラ整備【継続】

東部地区における新たな産業拠点の形成に向け、アクセス道路として市道の整備及び工業用水道の整備を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規立地件数	_	_	_	_	1件	企業立地推進課	S19	66

○商業・サービス業支援【継続】

りっとうバル事業を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
りっとうバルの参加事業者数	83者	83者	83者	83者	83 者	商工観光労政課	S20	68

〇商業施設立地の検討【新規】

商業施設の市内立地の可能性を調査します。

年次計画(取組項目)	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
商業施設の市内立地の可能	国本 加克					本 一知小兴水==	621	70
性を調査	調査·研究				_	商工観光労政課	S21	70

○健康運動公園整備事業【継続】

健康運動公園の整備を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
公園整備の事業内容	設計	設計	工事	工事	工事	健康運動公園整備 事業推進課	S22	72

〇都市公園の整備推進(草津川跡地)【継続】

多様な主体、年代が利活用でき、地域の交流拠点となるよう整備します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
整備事業の進捗率	20%	60%	100%			都市計画課	S23	74

〇かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発【継続】

かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の数	3 🛭	3 🛭	3 🛭	3 🗓	3 💷	健康増進課	S24	76

〇市内の医療施設に関する現状把握【新規】

市内の医療施設に関する現状把握を実施します。

活動(アウトプット)指	₹ R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市内の医療施設数	82 施設	82 施設	82 施設	82 施設	82 施設以上	健康増進課	S25	78

〇公共交通の利便性向上【拡充等】

持続可能な地域公共交通ネットワークへの再構築に向け、現在市内を運行する民間乗合バス、コミュニティバス、デマンドタクシー全てを見直します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市内バス利用者増加率	1%	1%	1%	1%	1%	土木交通課	S26	80

○「馬」関連事業の企画と実施【新規・拡充等】

「馬」に関連する事業を展開し、市内外に向けて「馬のまち」の PR を行う。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
イベントの回数	1 🛭	1 回	_	_	_	シティ・プロモーション 推進課	S27	82

〇手続きのオンライン化の拡充(D)【拡充等】

行政手続きの件数の多寡、課題を考慮し、優先順位の高いものから順に、手続きのオンライン化をさらに進ます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
電子申請による行政手続き	35%	45%	55%	65%	75%	情報政策課	S28	84
のオンライン化率	35%	45%	55%	05%	75%	1月牧以央詠	320	04

○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討

「3 (子育て世代)生活基盤充実プロジェクト」では、日常生活に必要な施設へのアクセスのしやすさや、暮らしの安心と安定を叶える生活基盤の充実を図ることで、KGI(人口の社会動態(転出の抑制))達成を目指します。

3. 基本目標等

国の総合戦略における基本的考え方や基本方針を踏まえ、4 つの基本目標を定めています。そして、この基本目標の達成に向けてどのような政策を推進していくかを、基本的方向として整理しています。

基本的方向ごとに重要業績評価指標(KPI)を設け、具体的な取組を推進することにより、基本目標で掲げる姿を目指します。

なお、基本目標を目指す事業で具体的取組に掲げる以外のものについては、関連する個別計画により実施することとします。

基本目標 i 子育てしやすいまちをつくる

基本的方向 1. 安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり

妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援

安心して結婚、出産・子育てがしやすい環境整備や子育て支援に関する取組の充実により、 若い世代が家庭を持ち、子育てしやすいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課·
			関係課
15~49 歳の女性の人口に対する年間出生数の割合	4.8%	4.8%以上	企画政策課
婚姻件数	468件	470件	企画政策課

【具体的取組】

〇地域における子育て支援の場の提供(児童館・地域子育て支援センター)

①子育て中の親子の交流の場の提供 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④利用者ニーズをとらえた子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
利用率の維持	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	子育て支援課	S29	86
子育て講座の参加者数	830人	850人	870人	889人	908人	丁月(又仮味	329	80

○(再)子育て情報の収集·発信の充実(D)

〇(再)結婚新生活に係る経済的支援

基本的方向 2. 働きながら子育てができるまちづくり

働きながら安心して子育てができる環境づくり

テレワークを始めとした多様で柔軟な働き方の普及促進など、仕事と家庭を両立しやすいま ちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課·関係課
(再掲)待機児童数	26件	0件	幼児課、子育て支援課
女性(25~44歳)の就業率	61.7%	基準値以上	自治振興課、商工観光労政課
行政手続きのオンライン化率	25%	75%	情報政策課
男性の育休取得率	47.8%	基準値以上	自治振興課

【具体的取組】

○女性活躍に関するセミナーの推進【継続】

女性が能力や個性を発揮し、活躍できるよう女性活躍に関するセミナーを推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
女性活躍セミナーの参加者数	32人	32人	34人	36人	40人	自治振興課	S30	88

○労働環境の改善支援【継続】

企業訪問等の機会を通じて、企業への啓発を行うとともに、適切な情報提供を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
啓発や情報提供を行った回数	2回	2回	2回	2回	2回		S31	
デジタル化導入に係る補助金申	25 /4					商工観光労政課		90
請件数	25 件	_	_	_	_			

○資格取得支援補助金制度の充実【拡充等】

資格取得支援補助金制度について情報発信を行うとともに、資格取得支援補助金制度の充実を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
資格取得補助金制度の受給者数	10人	12人	12人	15人	15人	商工観光労政課	S32	92

○預かり保育やサービスの充実【拡充等】

市内の公立園(幼稚園、幼児園、こども園)において、降園時間後の預かり保育を実施します。また、公立こども園では、夏季休業中 の預かり保育を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
預かり保育の実施施設数	8施設	8施設	8施設	8施設	8施設			
夏季休業期間中の預かり保育の	ე₩ი	6施設	ر الد ≡ת	ر الد ≡ת	ر الد ≡ת	幼児課	S33	94
実施施設数	3施設	6.他設	6施設	6施設	6施設			

〇書かない窓口の推進(D)【拡充等】

窓口事務フローの見直しと書かない窓口システムの導入を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項	
窓口での書かない率	_	20%	50%	75%	100%	情報政策課	S34	96	

〇オンライン相談の推進(D)【拡充等】

相談の数やボリューム、課題等を把握のうえ、優先順位付けを行い、オンライン相談を推進します。

オンライン相談の実施できる環境を構築します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
オンライン相談の取扱業務数	-	5 業務	6 業務	7 業務	8 業務	情報政策課	S35	98

〇マイナンバーカードの普及促進・利用の推進(D)【拡充等】

マイナンバーカードに対し、不安や不信感を抱いておられる方もおられるため、安全性や利便性について窓口で丁寧に説明するとともに広く周知を行います。窓口での申請サポートや出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、今後急増する更新者を含め、円滑に手続きできる体制を整備します。マイナンバーカードを利用しての証明書発行およびオンライン申請を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
マイナンバーカードの保有枚数率	83%	84%	85%	86%	87%	情報政策課、	S36	100
コンビニ交付率	60%	63%	65%	68%	70%	総合窓口課	330	100

〇キャッシュレス決済システムの導入による収納チャンネルの多様化(D)【新規】

収納窓口にキャッシュレス決済システムを導入し、公金収納における多様な支払手段を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
キャッシュレス決済の利用割合	5%	20%	40%	55%	70%	情報政策課	S37	102

〇公金収納における eLTAX の導入(D)【拡充等】

公金収納における eLTAX の導入を進ます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
eLTAX を活用して納付できる	2 //±	2#	6件	0 //±	10 件	情報政策課	S38	104
公金の数	2 件	2件	0 1+	8件	101+	消報以來 誅	330	104

〇職場や家庭における男女共同参画の推進に向けて啓発し、気運を醸成【継続】

男女共同参画の推進に関する啓発・情報発信し、気運を醸成します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の回数	3回	3回	3回	3回	3回	自治振興課	S39	106

〇(再)手続きのオンライン化の拡充(D)

- 〇(再)学童保育所の整備
- 〇(再)保育人材の確保
- 〇(再)こども園(幼稚園・保育所のこども園化を含む)の整備

基本的方向 3.子どもがいきいきと育つまちづくり

生きる力を育む教育環境の整備 すべての子どもの育ちの支援

学校教育・保育環境の充実を図るとともに、子どもの健やかな成長を家庭・学校(園)・地域など社会全体で支えていくまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KI	PI)	基準値	目標値	担当課· 関係課
(再掲)授業の内容が良く分かる	(小学6年生)	85.6%	88%	₩.₩. ┯ ==
児童・生徒の割合	(中学3年生)	77.9%	80%	学校教育課
(再掲)全国学力学習状況調査(国	(小学校)	4.6%	2.6%	₩.₩. - ₹==
語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	(中学校)	5.4%	3.4%	学校教育課
(再掲)全国学力学習状況調査(算	(小学校)	3. 2%	1. 2%	W I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
数・数学)の滋賀県正答率と本市 正答率との比較	(中学校)	5.9%	3.9%	学校教育課
給食の地場産物の使用割合		28.9%	30%	学校給食共同調理場
(再掲)不登校等児童生徒の居場所	保有率	_	90%	学校教育課
子どもの居場所の数(学童保育所、 ども教室、放課後等デイサービス)	児童館、放課後子	52か所	62か所	子育て支援課、生涯学習課、障がい福祉課
(再掲)都市公園整備面積		23. 9ha	25.08ha	都市計画課

【具体的取組】

○栗東食材の日の推進【継続】

学校給食において可能な限り地場産物を活用し、食育を推進します。

活動(フ	アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
給食の地域	場産物の使用割合	30%	30%	30%	30%	30%	学校給食共同調理場	S40	108

〇子どもの居場所の提供【拡充等】

- ・学童保育所入所希望者に対して、放課後や長期休暇中に子どもが安全に過ごせる場の確保を行います。(学童保育所)
- ・子育ての不安を軽減し、子どもが安心して伸び伸びと遊ぶ場を提供することで、子どもの健やかな育ちを支援します。(児童館)
- ・各小学校区単位で小学校の体育館などを活用して、放課後の居場所を設け、地域のスタッフの協力の基に、スポーツや体験・文化活動、子どもと地域住民との交流などを行います。(放課後こども教室)
- ・規則正しい生活習慣を維持できるよう、療育活動や創作活動を行う場所の確保、また家族の介護負担軽減のための一時預かりを実施します。(放課後等デイサービス、日中一時支援)

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
学童保育所施設数	22 施設	25 施設	25 施設	25 施設	25 施設	子育て支援課	S41	110
児童館施設数	9 施設	9 施設	9 施設	9 施設	9 施設	子育て支援課	S42	112
利用率の維持(児童館)	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	丁月(又饭味	342	112
放課後子ども教室を実施す	0 松豆	아ీ	아ీ	아ీ	9校区	生涯学習課	S43	114
る小学校区数	8 校区	9校区	9校区	9校区	91公区	土涯子百昧	343	114
放課後等デイサービスの事	14 事業所	15 事業所	16事業所	17事業所	19事業所			
業所数	14 事表所	13 争耒州	10爭耒州	Ⅰ / ∌耒州	I フ ヺ 耒州	障がい福祉課	S44	116
日中一時支援事業所の数	51事業所	51 事業所	51事業所	51 事業所	51事業所			

〇ファミリーサポートセンター事業【新規】

子育ての援助を受けたい者と当該援助を行いたい地域の者とが会員登録し、育児における相互援助活動に関する連絡・調整を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
延利用者数	206人	403人	591人	773人	950人	子育て支援課	S45	118
会員登録者数	147人	288人	422人	552人	679人	丁月(又饭味	343	110

〇子どもに応じたかかわり方を提案する発達相談の実施【継続】

発達検査や発達相談、子どもへの好ましい関わり方を学ぶ連続講座等を通して、子どもの発達段階をとらえ、子どもの成長を支え る関わり方を助言します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
発達相談・発達検査の実施件 数(就学前・小中学校・高等学 校の児童生徒および保護者)	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000 件	発達支援課	S46	120
ペアレント・トレーニングの参 加人数	10人	10人	10人	10人	10人			

- 〇(再)学びに向かう力の向上策・学力向上「セレクト・パッケージ」
- 〇(再)学ぶ力向上に向けての学校 DX の推進(D)
- 〇(再)校内教育支援センターの拡充により、不登校児童生徒の居場所確保
- ○(再)自分のペースで緩やかに「他者(ひと)」と繋がれる居場所づくり
- ○(再)生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり
- 〇(再)栗東健康運動公園整備事業
- 〇(再)都市公園の整備推進(草津川跡地)

基本目標 ii住みよいまちをつくる

基本的方向 1. 多様な暮らし方を支えるサスティナブルなまちづくり

良好な住環境の整備促進

未利用地の有効利用による住宅供給の促進やデジタル技術の活用により、市内の利便性の 向上、都市機能の充実に取り組み、住みよいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標	₹(KPI)	基準値	目標値	担当課· 関係課	
戸建て空家増加数(空家等現況調査)		55戸	50戸以下	住宅課	
(再掲)市の支援制度を利用して住宅を取得 した件数		2件	28件	企画政策課、住宅課	
(再掲)鉄道、コミュニテ	(鉄道) (鉄道)		15,054 人/日平均		
ィバス・タクシーの利用 者数	(コミュニティバス/ タクシー)	71千人/年	90千人/年	土木交通課	
市内購買率		44.7%	44.7%以上	商工観光労政課	
住宅耐震化率		92.6%	97%	住宅課	
(再掲)都市公園整備面積		23. 9ha	25.08ha	都市計画課	

【具体的取組】

○木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助の実施【継続】

木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
住宅耐震化率	95%	_	_	_	97%	住宅課	S47	122

○開発時の指導等による緑地面積の確保【継続】

開発時の指導等により緑地面積を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
緑地完了検査の実施率	100%	100%	100%	100%	100%	住宅課	S48	124

〇都市計画道路の整備【継続】

都市計画道路等の整備を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
出庭林線の整備(km)	_	0.4km	_	_	_			
大門野尻線の整備(km)	0.5km	0.3km	_	_	_	道路·河川課	S49	126
小柿苅原線の整備(km)	_	_	0.1km	1				

〇生ごみ減量化の推進(家庭用生ごみ処理機設置補助) 【拡充等】

栗東市の家庭から出る生ごみをたい肥化するコンポスト・機械式生ごみ処理容器設置者(世帯)に対し、補助金を交付します。(購入金額の2分の1、限度額あり)

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
家庭用生ごみ処理機設置	20 #	35件	40 件	45件	50件	理控办签册	CEO	120
補助の補助件数	30件	35 	40 11	451+	5U -	環境政策課	S50	128

〇脱炭素社会の実現を目指した取組の普及(住宅用太陽光発電システム等設置補助)(省エネ家電購入補助)[拡充等]

住宅用太陽光発電システム等設置および省エネ家電購入をする市民に対し、費用の一部を補助します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
住宅用太陽光発電システ								
ム等設置補助および蓄電	10 件	10 件	10 件	10 件	10件			
池設置補助件数						严护 护等	S51	130
省エネ家電(エアコン、冷						環境政策課	221	130
蔵庫、冷凍庫)の購入補助	90件	90件	90件	90件	90件			
件数								

〇公開型 GIS の導入(D)【新規】

公開型 GIS を導入することで、市の保有する地理情報について、広く民間に提供します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
公開型 GIS システムへの		300件	1,700 件	1,900 件	2,100件			
アクセス数		300 	1,700 1	1,900 1	2,1001+	情報政策課	S52	132
公開する地理情報数		10 件	15件	20件	25件			

OWi-Fi 環境の整理(D)【新規】

市内各コミュニティセンターに利用者が自由に使用できる Wi-Fi を整備することでコミュニティセンターの利便性向上による住みよいまちを目指します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
Wi-Fi 整備が完了したコミュニ		O+ /- =n	O+/-=⊓	O+/-=n	O+ //- =/h	点 沙振廊==	CEO	124
ティセンター(センター数)		9施設	9施設	9施設	9施設	自治振興課	S53	134

〇(再)商業・サービス業支援

- 〇(再)空き家相談の充実
- 〇(再)結婚新生活に係る経済的支援
- 〇(再)公共交通の利便性向上
- 〇(再)栗東健康運動公園整備事業
- ○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討
- 〇(再)都市公園の整備推進(草津川跡地)
- ○(再)防犯環境(防犯灯・防犯カメラ)の整備

基本的方向 2. 誰もが健康でいきいきと活躍できるまちづくり

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進

地域の特性を生かした魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めるとともに、市民が生涯を 通じて住み慣れた地域で健康で安心して過ごせるまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標	(KPI)	基準値	目標値	担当課·
				関係課
伊恵圭会の延伸	(男性)	80.8 歳	81.4 歳以上	長寿福祉課
健康寿命の延伸(女性)		84.6 歳	85.2 歳以上	艾芬 惟性床
12 歳児(中1)のむし歯の	12 歳児(中1)のむし歯のない人の割合		71.0%	健康増進課
特定健診受診率(国保特定健診)		40.0%	60.0%	保険年金課
(再掲)医療施設数(一般診療所、歯科診療 所、助産所)		82 施設	82施設以上	健康増進課
社会体育施設年間利用者数		202,957人	245,500人	スポーツ・文化振興課

【具体的取組】

〇いきいき百歳体操の普及啓発【継続】

週に1回、身近な会館等で地域住民が主体となって健康づくりが行えるよう立ち上げ支援、継続支援を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
いきいき百歳体操を実施する	76 団体	77 団体	77 団体	78 団体	78 団体	長寿福祉課	S54	136
団体の数	70四件	77四件	77四件	70四件	70凹冲	文 对 個 位	554	156

○データヘルス計画に基づく保健事業の推進【継続】

国民健康保険加入者に対する特定健康診査、特定保健指導、受診率・実施率向上対策、糖尿病性腎症重症化予防事業、重複・頻回 受診者等訪問指導事業、節目歯科健診などを実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
特定健診受診率	48.7%	51.6%	54.5%	57.4%	60.0%	保険年金課	S55	138

〇予防歯科の推進【拡充】

自宅などで実施する「セルフケア」と、歯科医院などでの「プロフェッショナルケア」を併せて実施することの必要性や具体的な方法の情報発信や啓発を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
健康教育の実施回数(校)	1校	3 校	9 校	9 校	9 校	健康増進課	S56	140

○社会体育施設の貸館業務、各種事業の実施【拡充等】

市スポーツ協会を通じた貸館業務及び利用者アンケートでのニーズ把握、各種事業を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
利用者アンケートの満足度	81%	81.5%	82%	82.5%	83%	スポーツ・文 化振興課	S57	142

〇社会体育施設の修繕・改修【継続】

老朽化した社会体育施設の修繕・改修を計画的に実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
修繕・改修する施設数	2 施設	スポーツ・文	S58	144				
利用者アンケートの満足度	61%	62%	63%	64%	65%	化振興課	336	144

○地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの支援【継続】

地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの支援を行実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
コミュニティソーシャルワーカー	2 1	3人	3 7	3人	3人	社会福祉課	S59	146
の配置人数	3人	3 人	3人	3人	3 八	化云油性味	339	146

○情報弱者への配慮(デジタルデバイド対策)(D)【継続】

国のデジタル活用支援推進事業などを活用し、市民利用施設等において、スマホ教室などの講座を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
スマホ教室等の講座の開催回数	15回	15 回	15 回	15 回	15 回	情報政策課	S60	148

〇(再)かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発

〇(再)市内の医療施設に関する現状把握

基本目標 iii安心して働けるまちをつくる

基本的方向 1. 産業振興と雇用の拡大

まちに活力をもたらす産業の創出

中小企業・小規模事業の経営基盤の強化と市内商業の活性化

豊な自然・歴史・文化の魅力や、広範な産業構造に配慮し、環境にやさしい産業や付加価値 の高い産業の誘導・育成等により、多様性を持った産業構造と足腰の強い産業基盤を構築する とともに、雇用を拡大します。若い世代が家庭を持ち、子育てしやすいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・
			関係課
(再掲)事業所立地数	2,820件	2,820 件以上	商工観光労政課、企業立
(円均)争未加立地数	2,820 1	2,820 什以工	地推進課
新規立地件数	1件	基準値以上	企業立地推進課
ワーク・ライフ・バランス登録企業数	37社	55 社	自治振興課、
ラーブ・ブイブ・バブンへ <u>豆</u> 球正未奴	57 社	22 ₹	商工観光労政課
生産性を向上する先端設備等の導入支援件数	13 件	18件	商工観光労政課
創業者数(延べ)	117件	160件	商工観光労政課
就業者数	33,735人	33,735 人以上	商工観光労政課

【具体的取組】

○ワーク・ライフ・バランスについて啓発し、理解を促進【継続】

ワーク・ライフ・バランスに対する理解を深めるため、啓発や情報発信を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の回数	2 🛭	2 🛭	2 🛭	2 🛭	2 🛭	自治振興課	S61	150

○先端設備等の導入支援【継続】

先端設備投資への支援を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
先端設備等導入計画の認定件数	18件	18件				商工観光労政課	S62	152

〇相談事業【継続】

「りっとう経営なんでも相談会」を実施し、様々な課題の相談に応じる。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
相談件数	24 件	24 件	24 件	24件	24 件	商工観光労政課	S63	154

〇空き店舗の活用促進【継続】

空き店舗等活用促進事業補助金制度を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
空き店舗等活用促進事業補	<i>⊏ /</i> /+	<i>c I</i> #	c #+	c #+	c #+	商工観光労政課	S64	156
助金制度の補助件数	5件	6件	6件	6件	6件	附上観兀力以詠	304	150

〇市内事業者のデジタル人材育成の支援(D)【継続】

商工会をはじめ、関係機関が行う各種セミナーや研修会の周知を行います。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
関係機関が行う各種セミナー	中恢	実施	実施	実施	中恢	本 工知以兴功部	SAF	150
や研修会の周知	実施	天 爬	天 他	夫他	実施	商工観光労政課	S65	158

〇(再)労働環境の改善支援

- 〇(再)創業支援事業
- 〇(再)市内企業のデジタル化·省力化の促進(D)
- ○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討
- 〇(再)企業立地推進計画に基づく民間開発の促進
- ○(再)東部地区におけるインフラ整備
- 〇(再)創業支援事業

基本的方向 2. 持続可能な農業経営の確立

農林業の振興支援による活性化の推進

新規就農者・定年帰農者への支援や農産物の付加価値の向上、スマート化の推進などにより、女性や若者も含めた様々な人材が活躍できる魅力ある産業化を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課· 関係課
農地集積率	71.5%	73.9%	農林課
認定新規就農者数(認定農業者数)	6人	10人	農林課

【具体的取組】

〇市認定ブランドの創出【拡充等】

農業者の団体や個人から栗東産農産物の認証申請がされるように JA と連携して取り組み、農産物をブランド認証していきます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
ブランド認証件数	1件	2件	2件	3件	3件	農林課	S66	160

〇担い手確保・育成【拡充等】

新規就農を希望する人に農産物の生産に必要な知識や技術を学べる場を JA や県等と連携して提供し、就農相談を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
チャレンジ農業塾への参加者数	2人	2人	3人	3人	4人	農林課	S67	162

基本目標 iv選ばれるまちをつくる

基本的方向 1. 関係人口の拡大とシビックプライドの醸成

多くの人が関わるまちづくり

関係人口の創出・拡大に向けた取組の充実により、魅力あふれる地域づくりを進めるととも に、市民の栗東市への愛着を育みます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課· 関係課
転入者数	3,535人	3,550人	企画政策課
SNS(市公式アカウント)フォロワー数	数 2,721人 21,000人		シティ・プロモーション 推進課
「まちの中で自分が愛着や誇りを感じてい るもの」を言える市民の割合	43.1%	52%	シティ・プロモーション 推進課
市 HP アクセス数	76,243 件/月平均	80,000件/月平均	シティ・プロモーション 推進課

【具体的取組】

OSNS を活用した市の PR、有益な情報・魅力ある情報の発信(D)【拡充等】

情報拡散が期待できるSNS等を活用した市のPRを行うことで、市の情報に触れる機会を増やし、市の認知度アップに繋げます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規 SNS の運用開始	1	_	_	_	_	シティ・プロモーション推 進課	S68	164

Oオープンデータの整備(D)【拡充等】

市の保有するデータを機械判読に適した形式に整備し、公開します

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
オープンデータ公開数	8件	10 件	12 件	14 件	17件	企画政策課	S69	168

〇出前講座への講師派遣【維持】

他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業に講師を派遣します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
出前講座への出講回数	12 🛭	12 回	12 🛭	12 回	12 回	歴史民俗博物館	S70	168

○博物館教室「昔のくらし」の開催【維持】

小学校 3 年生の社会科学習「市の様子の移り変わり」に対応する、移築民家旧中島家住宅(登録有形文化財)を活用した体験学習 プログラムを実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
受講した市立小学校の数	9校	9校	9校	9校	9校			
受講した市立校以外の小学	1 ⊃ +☆	12+4	12+☆	12+☆	12+4	- 歴史民俗博物館	S71	170
校の数	13校	13校	13校	13校	13校			

〇(再)移住者·交流者向け PR や情報発信

基本的方向 2. 地域資源を活かしたまちづくり

地域資源を活かしたまちづくりの推進

デジタル技術を活用した二拠点居住や移住・定住に向けた取組の充実により、地方と都市をつなぐ人材の裾野を広げ、選ばれるまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・
			関係課
観光消費額	2,976 百万円	3,976 百万円	商工観光労政課
観光入込客数	103.8 万人	131.8 万人	商工観光労政課
「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民 の割合	67.6%	83.1%	広報課

【具体的取組】

○栗東の魅力を活かした付加価値の高いコンテンツの提供【拡充等】

自然や歴史に触れる観光の促進、栗東の魅力を生かした付加価値の高いコンテンツを提供します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
(一社)栗東市観光協会へ	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回	商工観光労政課	\$72	172
の補助事業の支援回数	5 凹	D 凹	5 凹	D 凹	D 凹	附上既兀力以硃	372	172

〇特名産品、観光産業の活性化【拡充等】

観光の高付加価値化とシビックプライドの醸成を図ります。地域一帯で取り組む観光産業の育成・高付加価値化を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
物産展出品回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回	商工観光労政課	S73	174

○観光に関する情報発信の強化・充実【拡充等】

効果的なプロモーションや情報発信・交流を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
LINE 投稿回数	9 回	9 回	9 回	9 回	9 回	商工観光労政課	S74	176

○「馬」関連ふるさと納税返礼品の充実【拡充等】

馬関連のグッズや体験をふるさと納税の返礼品とし、「馬のまち」の PR を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
馬関連返礼品取扱事業者数	11 者	シティ・プロモー	C7E	178				
返礼品の情報発信の回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回	ション推進課	S75	170

〇観光情報の発信や観光事業の面から馬を活かしたまちづくりなどに DX 推進を検討(D)【拡充等】

観光に関する DX の推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供を行います。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
観光に関する DX の推進、必要	調査・							
に応じたアンケート調査等の実		検討	準備	実施	実施	商工観光労政課	S76	180
施によるデータの収集と提供	研究							

○歴史民俗博物館での展覧会の開催【継続】

地域の博物館として、市の豊かな歴史や文化を取り上げた展覧会を開催します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
特集展示等の開催回数	5本	5本	5本	5本	5本	医中尺炎增加		
医中口心体性的 0 0 1 80 7 86	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	歴史民俗博物 館	S77	182
歴史民俗博物館への入館者数	人	人	人	人	人	既日		

○(再)「馬」関連事業の企画と実施

取組シートの見方

総合戦略および行革大綱の取組と、手段としての DX とは密接に関連することから、これらを効率的・効果的に推進するために、3つの実行計画を一体的に作成します。そのため3つの実行計画の「取組シート」は共通とし、各実行計画を連動させながら、取組の進行管理や毎年の見直しについて実施していきます。

	F Books				44) A Wha	n / =	1	/=++ 1 /F		5)/4#	\#=I=	
	【取組シ	/			総合戦 No.	6美行記 S28	TЩ	No.	<u>実行計画</u> G-1	No.	進計画 D-1	
	1. 担当該	型夕	情報政策	理 関係所	属: 全所層	3						
		取組)名称	119 194 944 1	オンライン化の	3	ข		車業	コード		_	
			戦略の視点	一定の手続き めには、さらに	のオンラ			んだものの	の、市民等	の利便性に	句上のた	
2	3. 現状と	二昧起	行革の 視点	窓口対応の時ある。	間及び紙	申請を	シス	テムへ入	力する時間	を削減す	る必要が	
	4. 事業(取組)概要		きの件数の多調 かんしゅう かんをさらに進		考慮	ン、優	先順位の	高いものだ	から順に、	手続きの	
	5. 期待さ	される効果	戦略の 視点	手続きのオンライン化が進むほど、市役所に来なくとも行政手続きが完 了するため、さらなる市民の利便性の向上を図ることができる。								
			行革の 視点	入力ミスを減らし、入力時間の短縮を図ることができる。 紙の申請書管理が軽減する。								
		基本目標1		i 子育てしやすい まちをつくる	基本的方	向1	を支え	を暮らし方 こるサティス いなまちづく	施策の方向		な住環境の整 生	
	6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本的方	向2			施策の方向2			
$\widehat{}$			該当する重	点プロジェクト		3.(-	子育	て世代)生	活基盤充	実プロジュ	ニクト	
3			事業(取組)に関連するKPI	行政手続きのオ			ンライン化図	മ			
	7. 行革力 位置づけ		方針	_1.効率化・重点化に の向上	よる市民サ	ービス	ービス		_(1)スマート	ト窓口の推進		
	8. DX推 関連性の	進計画との 有無	有									
		9.4	年次計画		スケジュール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
	1 =	子申請による	る行政手続	きのオンライ	計画	拡	充	拡充	拡充	拡充	拡充	
	ン1	化			実績							
1					評価							
		10. 活動(フ	アウトプット	-)指標	スケジュール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
		化率	_ ,	きのオンライ	計画	35	5%	45%	55%	65%	75%	
	算出			き÷行政手続き 以上の行政手続	実績							
		現状化	直:25%		評価							

番号欄

3つの実行計画の関連を示すため、各実行計画の整理番号を記載しています。

💋 取組の内容

取組を進めるべき本市の現状と課題、取組を進めることにより期待される効果等について、総合戦略および行革大綱の2つのビジョンのうち、対応する視点から記載しています。

なお、DX に関連した取組(DX 推進計画に記載の取組)においては、「3.現状と課題」および「5.期待される効果」における「戦略の視点」は「DX を手段とする『戦略の視点』を、「行革の視点」は「DX を手段とする『行革の視点』」を意味します。

11. 年度目標と	∠取組成果	
令和7年度	年度目標	年間1,000件以上の電子申請手続きを全てオンライン化する。また、子育て関連の行政手続きのうち件数の多い手続きを優先し、オンライン化する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンラ イン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンラ イン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンラ イン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンラ イン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

図 取組の位置づけ

(総合戦略)それぞれの取組が、総合戦略におけるいずれの「基本目標」、「基本的方向」、「施策の方向」の位置づけに該当するか、また、重点プロジェクトの取組に該当する場合には、どのプロジェクトに該当する取組なのか、事業に関連する KPI は何か、を表しています。

(**行革大綱**)それぞれの取組が、行革大綱におけるいずれの「方針」、「項目」の位置づけに該当するかを表しています。

(DX 推進計画)総合戦略および行革大綱の実行計画において、DX 推進計画と関連があるものには、関連性の有無の欄に「有」と表示します

4 取組の進め方

取組を進めるうえでの、年次的な進行計画および達成すべき目標について記載しています。

5 年度目標と取組成果

取組に対する年度ごとの進行目標(具体的な取組概要)、年度を通して達成した実績、次年度に向けての課題や今後の対応策等について記載しています。

年度ごとに、それぞれの取組に対する評価を行い、シートを更新していきます。

なお、実行計画作成段階では「年度目標」の欄までを記載し、評価・検証の段階で取組成果について追記していきます。

【取約	【取組シート】			総1	合戦略	実行詞	 画	行革大綱実行計画		DX推進計画		
				No.		S1		No.		No.		
1. 担	当課名		住宅	課								
2. 事	業(取組)名称	都市計画法	法第34条11号、1	2号(こよる	指定区	域の	拡大 事業	コード(あれ	uば)		841
3 租	状と課題	戦略の 視点	市街化調整区均	或にま	うける	既存集	集落等	等の空洞化	の防止を図	図る必	要が	ある。
3. %		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	都市計画	法第34条11号	、12 ⁻	号によ	る指	定区	域の拡大を	図る。			
5堆	待される効果	戦略の 視点	管理不全空家等	等の防	方止、	苦年曆	層の移	発住によるは	地域の活性	化		
J. 74.		行革の 視点										
		基本目標1		基本的方向		9 1	支える	な暮らし方を サティスナブ さちづくり	施策の方向		良好な住環境の整 備促進	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向		12			施策の方向	12		
		該当する重	直点プロジェクト			1.子育て世代向け住宅施策プロ					ブエク	1
事業(取組)に関連するKF					住宅	着工件	数、当	空き家率				
7. 行革大綱での 方針 方針			_				項目	-	_	-		
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次記	計画(取組項	· 頁目)	スケシ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1(0年度	令和11年度
1	***	L		=	画	検討	·実施	調査	課題抽出	検	討	検討·実施
	指定区域の拡充	\		美	淫績							
				容	価							
2				=	画							
				美	淫績							
				評	畑							
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケシ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1(0年度	令和11年度
1	新たに指定する	る区域の数		計	画	1⊵	域	_	_	_		1区域以上
	算出方法			美	績							
				評	価							
2				計	画							
	算出方法			美	淫績							
				評	価							

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	区域指定の基準見直しを検討・実施し、都市計画法第34条11号、12号区域の指定を実施する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	未指定の既存集落等の区域指定に向けた調査を実施する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	調査結果を受けて区域指定に向けた課題を抽出する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	区域指定に向けた課題への対策を検討する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	区域指定の基準見直しを検討・実施し、都市計画法第34条11号、12号区域の指定を実施する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】		総合戦略実行計画		行革大綱	行革大綱実行計画		DX推進計画				
				No.		S2		No.		No.		
	当課名	都	市計画	課								
Z. 事 業		都市計画 方検討	マスタープラン	こおけ	さ土	地利	用のな	あり 事業	コード(あれ	ເປັ)	840	
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	・人口の社会減給や良好な住政・まちに活力もまってきた地域	環境 <i>の</i> たらす)整備 す産業	を推	進する 出の	る必要があ ため、立地	る。 の需要や#	ペテンシャノ		
		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	マスタープラン [、] 利用を促進する		美立地	推進	計画	こ位置付け	られた地域	域での地区	計画等に		
5. 期	待される効果	戦略の 視点	ニーズに応じた 持及び増加	ニーズに応じた土地利用による定住化・企業立地の促進、住宅着工件 持及び増加							件数の維	
		行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向]1	支える ルなま	な暮らし方を サティスナブ きちづくり	施策の方向	前1 備促進	良好な住環境の整 備促進	
	合戦略での	基本目標2	iii安心して働けるまちをつくる	基本的方]2	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向		まちに活力をもたらす産業の創出	
位置	つけ	該当する重	直点プロジェクト						大住宅施策 活基盤充等		-	
)に関連するKPI		住字:			<u> </u>	1	<u></u> 施設数(小ラ			
7. 行 位置	 革大綱での づけ	方針			12 0			項目	_			
8. D	ス推進計画との 性の有無	無							<u> </u>			
	9. 年次記	計画(取組功	頁目)	スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	都市計画マスク	タープラン	に基づく土地	計画		実施		実施	実施	実施	実施	
	利用の促進			実績								
<u> </u>					価							
2					通績							
					·····································							
	10.活動(アウトプット	~)指標		シュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	地区計画決定			計	·画	1	件	1件	1件	1件	1件	
		計画決定告示 定件数	の件数を1件とす		.績							
			評	価								
2	佐女 山 1 十 2 十			計	·画							
	算出方法			実	績							
				評	価							

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	都市計画マスタープランの中間検証及び見直しを実施し、土地利用の促進を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	祖シート】			総征	合戦略	実行語	計画	行革大綱	実行計画	DX推進計画		
				No.		S3		No.		No.		
1. 担	当課名		住宅	課								
2. 事	業(取組)名称	空き家相	談の充実					事業	コード(あれ	いば)	878	
3 張	状と課題	戦略の 視点	空家等の増加が図る必要がある		息され	るた	め、利	活用相談*	や空家化予	防の相談	の充実を	
0.19		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		、、関係団体、民 実、空家バンク*									
5堆	待される効果	戦略の 視点	空家の発生を持	印制し	、住る	み替え	や定	住促進に。	よる流入確	保。		
J. 74.	IIIC T V O M A	行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	ŋ1	支える	な暮らし方を サティスナブ きちづくり	施策の方向	/++ /m \	は住環境の整性	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向		12			施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト	,		1.	.子育	て世代向け	ナ住宅施策	プロジェク	7ト	
	事業(取組)に関連するKF				空き	家率(⁻	住宅土	上地統計調金		を援制度等を利 がた件数	川用して住宅を	
7. 行革大綱での 位置づけ 方針								項目	-ANIG C	701130		
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次計	計画(取組項	[目]	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	NPO法人、関係 連携、ホームペ			뒴	画	実	施	実施	実施	実施	実施	
	空家対策情報の			美	注							
				福	価							
2	りっとう空き家	ジバンクやヨ	で・若年世	計	画	実施		実施	実施	実施	実施	
	帯向け空家の改	女修補助事	業の継続実施	美	績							
				評	栖							
	10. 活動(7	アウトプット	·)指標	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	戸建て空家増加	四数(空家等	等現況調査)	計	画		比べ可以下	_	_	R7と比べ 50戸以下	_	
	て、前	回調査からの	空家等現況調査に の増加戸数 策計画目標値:令	美	ミ績							
		F度403戸⇒令和16年度600		評	価							
2	市の支援制度等した件数	等を利用し	て住宅を取得	計	画	6.5件	(累計)	8件(累計)	9.5件(累計)	11件(累計)	12.5件(累計)	
	を利用	用して住宅取	ンク等の支援制度 得に至った件数 策計画目標値:令	実	泽績							
	和6年	F度5件⇒令程 年に1.5件増	和16年度20件以	評	価							

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①空家関連事業者登録制度の創設及びりっとう空き家バンクホームページ の充実を図る。 ②空家の出張相談及び空家セミナーを実施し、相談機会の充実を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】

総合	合戦略実行計画	行草	首大綱実行計画	DX推進計画		
No.	S4	No.		No.		

総合戦略·行政改革大綱実行計画、DX推進計画【個票】

1. 担	当課名		企	·画政策	課									
2. 事	業(取組)名	称	移住者·交	流者向けPRや	情報	発信			事業	コード(あれ	いば)	_		
3. 現	状と課題		戦略の 視点 行革の 視点	人口の社会減たし、促進する必			選ばれ	しるま	ちになるた	さめに移住	·交流二一	ズを把握		
4.事	業(取組)概	要	滋賀移住	・交流促進協議会 すでの情報共有を	会等にを図る	 [参画 [3	iし、戦	路的	に情報発信	言·PR活動	を展開する	るととも		
5. 期	待される効!	果	戦略の 視点	移住・交流促進 人口の創出	に係	る情報	服発信	۰PR	による市へ	への関心度	の向上、移	好住·交流		
			行革の 視点											
			基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向	9 1		人口の拡大 ックプライド た	施策の方向		人が関わる iくり		
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ		基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12			
			該当する重	点プロジェクト			1.	子育	て世代向け	け住宅施策	プロジェク	<u> </u>		
			事業(取組))に関連するKPI	空き家率(住宅土)			土地統計調査	也統計調査) 転入者数					
7. 行 位置 [·]	革大綱での づけ		方針				項目		_					
8. DX推進計画との 関連性の有無														
9. 年次計画(取組項目)			スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
1	移住者·交	流者	前け情報	発信	計画		準備·実施		実施	実施	実施	実施		
					実績									
2						価 —— ·画	準備		実施	実施実施実施		実施		
0	移住フェア	'、情	報交換会/	への参加		· :績		M13			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
					評	価								
	10. 活	動(フ	アウトプット	-)指標	スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
1	情報発信の					画	6	回	12回	12回	12回	12回		
	算出方法 -	IPΦ	PR活動で情	報発信をした件数	美	績								
					秤	価								
2	参加回数(-12 (1-41-11	計	画	2	20 40		4回	4回	40		
		多住フ 回数	ノエバや情報?	交換会に参加した	美	績								
					評	価								

令和7年度	年度目標	①取組初年度となることから、県等と調整のうえ、年次計画を策定し、移住・ 交流サイト等を活用した情報発信、PRを定期的に行う ②移住フェアや情報交換会に参加し、移住ニーズや他市町の取組を把握する
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①県のデジ田交付事業(かかわりファクトリー関係)終了後の取組について、 県及び他市の動向も踏まえ、方向性を示す。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	•
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	【取組シート】					実行計画	画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画
				No.		S5		No.		No.	
1. 担	当課名	ı̂	画政策	課							
2. 事	業(取組)名称	結婚新生	活に係る経済的						コード(あれ		
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	20代の転入超り、転入者をい	過はかに	継続し	っている こ定着し	が、	子育て世	代の転出起 課題	2週が際式	 こつてお
4. 事	葉(取組)概要	経済的理 補助	由で結婚に踏み	切れ	ないま	吉年世代	代を対	対象に住宅	的取得等に	係る費用	の一部を
5. 斯	清される効果	戦略の 視点	補助により、若	い世	代の市	b内定着	を信	足進			
		基本目標1			的方向]1 産, ま	,子育 ちづ<		施策の方向]1 つなく	出産,子育てを ぐ安心の支援
6. 総合戦略での 基本 位置づけ		基本目標2	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	12 支	えるサ	な暮らし方を サティスナブ ちづくり	施策の方向		は住環境の整 進
該当する重点プロジェクト						1.子	育で	て世代向け	け住宅施策	プロジェク	7ト
事業(取組)に関連するKP						支援制度 得した件		を利用して	住宅婚姻	件数	
	X推進計画との 性の有無	無									
9. 年次計画(取組項目)					シュール	令和7年	度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1		· -		計画		実施	į	実施	実施実施		実施
	支援制度の実	他		実績							
				評	価						
2				計	画						
				実	:績						
				評	価						
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケジ	シュール	令和7年	度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	支援制度の利	用者数		計	画	59件	‡	60件	60件	60件	60件
	算出方法 結婚 の数		度の年間利用者	美	:績						
				評	価		\top				
2	支援制度を利 数(R5年度か		を取得した件	計	計画		- 8件		12件	16件	20件
		新生活支援制ち、住宅取得	度の年間利用者 者数	美	.績	h					
				評	価						

令和7年度	年度目標	・制度改正を行い、住宅取得に係る補助を拡充することで、住宅取得の促進を図る。 ・年度中の状況を検証したうえで、次年度の制度設計を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	【取組シート】			総征	今戦略	実行詞	画	行革大	綱実行計画	DX推進計画				
				No.		S6		No.	G-6	No.	D-6			
1. 担	当課名	子	育て支援	課										
2. 事	業(取組)名称	学童保育	所の整備					事	業コード(あれ	れば)	3302			
3. 現	状と課題	戦略の 視点	特に若い子育て出するケースがい、ニーズ量の研	多い。	子育で	環境	の充実	と 実現す						
		行革の 視点												
4. 事	葉(取組)概要		の増加にあわせ 舌用による整備			童保	育所の	の開設や	公共施設や	公共用地0)空きス			
5 推]待される効果	戦略の 視点	ニーズ量に応じりを進め、保育						子育てを両	立しやすい	まちづく			
J. #	INC110M/K	行革の 視点												
	i 子育てし 基本目標1 ちをつくる				的方向]1	_2働き てがで り	たながら子育 さるまちづ	(施策の方向	51 て子首	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり			
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	基本的方向2				施策の方向	句2				
		点プロジェクト				2.子	ども・子	・子育て支援プロジェクト						
	事業(取組)に関連するKP					待機児童数								
	7. 行革大綱での 方針							項目						
	X推進計画との 性の有無	無無												
	9. 年》	で計画(取組項	[目]	スケジュール		令和7年度 令和		令和8年	度 令和9年度	令和10年度	令和11年度			
1	前年度に次年	∓度の確保方	策を検討	計画		実	施実施		実施	実施	実施			
			×14 = 174p3	美	績									
				評	価									
2				뒴	画									
				実	績									
				評	価									
	10. 活動)(アウトプット	·)指標	スケシ	ジュール	令和'	7年度	令和8年	专令和9年度	令和10年度	令和11年度			
1	待機児童数			討	画	0	人	0人	0人	0人	0人			
	算出方法 各定	年4月1日時点(の利用者数にて算	美	績									
				評	価									
2	******			討	画									
	算出方法			美	績									
				評	価									

令和7年度	年度目標	令和8年度に定員超過が予想される、金勝・葉山・葉山東・治田・治田西小学 校区において確保方策の検討
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】

総合	計數略実行計画	行草	首大綱実行計画	DX推進計画			
No.	S7	No.		No.			

1. 担	当課名		課												
2. 事	業(取組)名称	保育人材	の確保					事業	コード(あれ	いば)					
3 租	状と課題	戦略の 視点	待機児童の解決た対応が必要。		建やか	な保育	環境	竟の充実を	図るためは	呆育人 材	確	保に向け			
J. 47	1八〜	行革の 視点													
4. 事	業(取組)概要	就職フェブ	ア・相談会の開催	等に	より係	保育人	材の	確保を図る	3.						
5 期	待される効果	戦略の 視点	待機児童問題(の解消	肖、保育	育の質	向上	、保育環境	節の充実						
J. 741		行革の 視点													
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	ก 1 ั	_2働きながら子育 てができるまちづく り		施策の方向	a1 て	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり				
6. 総 位置 [*]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	92					
		該当する重	点プロジェクト				2.子	ども・子育	で支援プロ	ロジェク	 				
		事業(取組)に関連するKPI		待機	児童数									
7. 行 位置 [*]	革大綱での づけ	方針	_					項目	_						
	X推進計画との 性の有無	無						,							
	9. 年次計	十画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和7年	年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	-度	令和11年度			
1	就職フェア・相談	然会の関係	4	計	画	実施	包	実施	実施 実施			実施			
		火云マカガー	美	績											
				評	価										
2				計	画										
				美	績										
				評	価										
	10.活動(フ	アウトプット	、)指標	スケシ	^ブ ユール	令和7年	年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度	令和11年度			
1	就職フェア・相談	談会の開催	数(回)	言	画	10	回	10回	10回	10回	1	10回			
	就職林 ※就職	フェア(2回/st 目談会(2回/ 雑相談会は、保	月) 育園一斉申込時期に	美	績										
	合わせ	け9~12月での開催とする。			価										
2				計	画										
	算出方法			美	績										
				評	価										

令和7年度	年度目標	①就職フェアや相談会を開催する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】				総合	 う戦略	実行記	計画	行革大綱			DX推進計画	
				No.		S8		No.		No.		
1. 担	!当課名		幼児	課								
2. 事	業(取組)名称	こども園(整備	幼稚園·保育所	のこと	ども園	化を	含む))の 事業	ミコード(あれ	いば)		
		戦略の 視点	多様な保育二- 教育・保育環境						し、子ども	の育ち	らにふ	いさわしし
3. 現	状と課題	行革の 視点	施設整備や園園の効率化を図りた実を図ってい	人、民	間のも	うつ柔	軟性					
4. 事	專業(取組)概要		-育て支援事業記 基づき、公立園(
5. 斯	待される効果	戦略の 視点										
		行革の 視点	施設整備や園道り行政運営の交									
)	基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		-2働きながら子育		施策の方向	5 1	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり			
6. 終 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向2			
	. – 17	該当する重	点プロジェクト				2.子	ども・子育	了て支援プ	ロジェ	クト	
		事業(取組))に関連するKPI		待機	児童数	Ż					
7. 行 位置	f革大綱での づけ	方針	_4.民間事業者など多					(3)公立園の認定こども園			び新規法人」	
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次計	画(取組項	目)	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年
1	新規法人立認定	さこども園	誘致		画	準	備	実施(開園)				
					価			S77.111	S// /III			
2	公立園(治田保	育園)の民	設民営化	美	·画 :績	準	備	準備	準備	実施(開園)	
3					<u>価</u> 画			実施				
	公立園(幼児園)のこども	園化	美	:績			大旭				
	10 洋動/7	ͻ齿ኒ → _ʹ ʹʹͺͺͺ			価	Ainr	7ケ庇	今 知0年時	- 人们0 生時	A1n1	0/午時	A1011/T
1	10. 活動(7 新規法人立認深				ジュール <u>ーーー</u> 画	令和"	/ 牛皮	令和8年度	令和9年度	7和1	0年度	〒和 I I 年/
	算出方法 開園旅		5万主义		績		- 1施設					
				評	価							
2	公立園(治田保 算出方法 開園旅		設民営化		画	-	_	_	-	1旅	設	
				評	価							
3	公立園(幼児園)のこども	園化	計	画			3施設				
	算出方法 こども R8:季	・ 園化する施 葉山、葉山東、	設数 治田西幼児園	美	績							
	1,3	The state of the s	評	価								

令和7年度	年度目標	①施設整備に係る交付金手続きを進める。 ②治田保育園建替用地の取得に向け、用地測量や不動産鑑定、用地交渉な どを進める。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

					No.		S9		No.				No.		
1. 担	当課名		学村	交教育課	課										
2. 事	業(取組)名科		学びに向な ケージ」	かう力の向上策	・学力)向上	「セレ	クト・	パツ	事業	コード	(あれ	ルば)		
2 15	状と課題		戦略の 視点	一律に各校へ ^は い場合がある。		上の	取組	を提え	示して	いる	が、学	校の	実態に	合	ていな
5. 巩	3人(二) (武)		行革の 視点												
4. 事	業(取組)概要	要	各校が子の性」を重視	どもの実態分析 記した学力向上の	を基 の取組	にして 1、学	方略力向上	を選: -「セし	択でき	きるよ	うに、 ケージ	学校」を対	での「主 是示す	E体性 る。	i·独自
5堆	待される効男	₽ -	戦略の 視点	各校の実態に関する。			を選	尺でき	きるよ	うに	なった	ので	、学校	主体	で課題を
J. 利10で10の別本			行革の 視点												
			基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向]1		ざもがい でまち		施策の)方向		生きる力を育む教 育環境の整備	
			 基本目標2		基本	——— 的方向]2				施策の)方向]2		
位置	合戦略での づけ		該当する重点プロジェクト					2.子	ども	・子育	て支援	援プ[<u> </u> 'ロジェクト		
		-	事業(取組)に関連するKPI						関査(国語)の滋 さとの比較		全国学力学習 学)の滋賀県 との比較		力学習》 滋賀県正 較	状況調 答率と	查(算数·数 <本市正答率
	 7. 行革大綱での 位置づけ		方針	_		<u>!</u>			項目		_				
	X推進計画と 性の有無	(の	無												
	9. 年	次計	画(取組項	目)	スケジ	ジュール	令和'	7年度	令和8	3年度	令和9	年度	令和10	0年度	令和11年度
1	各校の実態	訳に応	 なじた学力向上「セレクト・		計	画	実	施	実	施	実別	包	実力	施	実施
	パッケージ	」を検	検討・提示す	する。	実績										
					評	価									
2					뒴	画									
						績									
					評	価									
	1		'ウトプット		スケジ	ブユール	令和'	7年度	令和8	3年度	令和9	年度	令和10)年度	令和11年度
1	正答率と本	智状市正	沢調査(国語)	国語)の滋賀県 比較	뒮	画		. 6% . 4%	小△4 中△4		小△3. 中△4.		小△3. 中△3.		小△2.6% 中△3.4%
	算出方法				美	績									
					評	価									
2	全国学力学 滋賀県正答	学習状	: :本市正答	章数・数学)の 率との比較	뒮	画		3. 2% 5. 9%	小△2 中△5		小△2. 中△4.		小△1. 中△4.		小△1.2% 中△3.9%
	算出方法				美	:績									
					評	価									

総合戦略実行計画

行革大綱実行計画

DX推進計画

【取組シート】

令和7年度	年度目標	各校のニーズに応じた5つのパッケージ・メニューを用意する。令和7年度の学力・学習状況調査の結果から令和8年度のパッケージ・メニューを検討する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】			総合	今戦略	実行詞	+画	行革大綱	実行計画		X推	進計画
				No.		S10		No.		No.		
1. 担	当課名	学	交教育課	課								
2. 事	業(取組)名称	校内教育 生徒の居	支援センターの? 場所確保	拡充に	こよる	不登	校等!	児童事業	コード(あ	nば)		
3. 琲		戦略の 視点	不登校・不適応 どもの学び場の						ことから、	家庭と	教室	以外で子
		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		で不登校・不適原 センターの運営:								なた	め、校内
5 H	待される効果	戦略の 視点	校内教育支援センターの運営環境を整備することで、教室以外の居場所の 確保を図り、不登校・不適応児童生徒の登校回数が増える。									場所の
J. #	可で行る効本	行革の 視点										
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	<u>1</u>		ごもがいきい うつまちづくり	施策の方[句1	すべて 育ちの	の子どもの)支援
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方[92		
		該当する重	点プロジェクト				2.子	とも・子育	すて支援プ	ロジェ	クト	
		事業(取組)に関連するKPI		不登校	等児童	生徒の	居場所保有率	<u> </u>			
位置		方針	_					項目				
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次記	十画(取組項	頁目)	スケジ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	配置して運営環	マンターに専任支援員を 環境を整え、不登校・不適		計	画	実	施	実施	実施	実	施	実施
	応児童生徒の原		保する。		績							
				評	価							
2					画 績							
					·····································							
	L 10. 活動(7	アウトプット	·)指標	スケジ	ブユール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	不登校等児童等	生徒の居場	所保有率	計	画	70)%	80%	90%	90)%	90%
	いる」	児童生徒」÷「	の場所で支援して 児童生徒支援対象 「児童生徒数)」「支	実	績							
	援用する。	報2月期」を基	が、単三に扱う」文 基準月として算出	評	価							
2				計	画							
	算出方法			実	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	校内教育支援センター専任支援員配置校(8校)を中心に不登校等児童生徒の居場所保有率を70%まで引き上げる。(令和6年度の不登校児童生徒の居場所保有率は57.5%)
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	狙シート】				総1	合戦略	実行詞	 画	行革大綱	実行計画	D)X推	進計画
					No.		S11		No.		No.		D-27
1. 担	当課名		学	校教育	課								
2.事	業(取組)名和	尓	学ぶ力向	上に向けての学	校D	Xの推	進		事業	コード(あれ	いば)		
2 租	状と課題		戦略の 視点	市内小中学校は力が向上につな	こおけ	tる1/ S学校	人一台 DX <i>0</i>	端末 OICT	を使用して環境整備と	ての学習が と活用の推	定着し進が。	ハ更 必要。	なる学ぶ
5. %	3-D/CD/NZ		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	要		端末や授業支援 るようになる研						学校DXの	環境を	を整え	え、加えて
5堆	待される効果	Į.	戦略の 視点	授業支援シスラ 校の児童生徒の						授業改善	こより	、市内	小中学
5. 74.		N .	行革の 視点										
			基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本	的方向	9 1		ごもがいきい でつまちづくり	施策の方向1		生きる力を育む教 育環境の整備	
	6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12		
	- "		該当する重	点プロジェクト				2.子	ども・子育	で支援プロ	コジェ	クト	
			事業(取組)	事業(取組)に関連するKPI			の内容) の割 [·]		く分かる児		の内容 学3年		く分かる生 の割合
位置			方針	_					項目	_			
	X推進計画と 性の有無	:の	有										
	9. 年	次計	画(取組項目)		スケジュール		令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1(0年度	令和11年度
1				機器(授業支援シス 用できるようにな	計	画	実	施	実施	実施	実	施	実施
	る研修会を計				美	績							
					信	価							
2					計	一画							
					美	[績							
					죔	価							
	1		アウトプット		スケシ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度
1	の割合			児童(6年生)	計	画	86.	0%	86.0%	86.0%	87.	0%	88.0%
	の児童		≷施される学 萱質問紙「授勢 の国語と算数	力学習状況調査 業の内容はよく分 数の平均値。	美	績							
	n'a_				죔	価							
2	生)の割合			生徒(中学3年	計	画	78.	0%	78.5%	79.0%	79.	5%	80.0%
		の生徒		力学習状況調査 業の内容はよく分 学の平均値。	美	ミ績							
	,	- - -		1 311110	評	価							

令和7年度	年度目標	ICT利活用担当者会や研修会、ICT機器(授業支援システム・デジタルドリルなど)を活用した授業研究会など、年間5回以上行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	且シート】				総合	計戦略	実行詞	計画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画	
					No.		S12		No.		No.		
1. 担	当課名		社	会福祉	課								
2. 事	業(取組)名	称	自分のペー 居場所づく	ースで緩やかに くり	「他者	(ひと	ح((:	繋が	れる 事業	コード(あれ	າເສັ)	3369	
3. 現	状と課題		戦略の視点	自ら相談に行く ケースもあるこ 環境や仕組みる	とか	ら、地	域で	課題	を抱える人				
			行革の 視点										
4. 事	業(取組)概	要	市内在住	の子ども、若者な	が、自	分の	ペーフ	スで過	にせる場所	所を開設す	る。		
5. 期	5. 期待される効果 視点 し、孤立を防			各福祉分野にはし、孤立を防ぎ									
	行革の 視点												
			i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	9 1		ごもがいきい うつまちづくり	施策の方向		すべての子どもの 育ちの支援		
6. 総合戦略での			基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12		
位置 [·]	JI)		該当する重	点プロジェクト				2.子	ども・子育	で支援プロ			
	事業(取組)に関連するK					子ど:	もの居	場所	の数				
7. 行 位置 [·]	革大綱での づけ		方針						項目				
	X推進計画と 性の有無	との	無										
	9. 年	F次計	画(取組項	[目]	スケジ	ュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	居場所の閉	開設			計	画	実	施	実施	実施	実施	実施	
					美	績							
					評	価							
2	支援課題のけた協議が			原の開発に向	計	画	検	討	準備	実施	実施	実施	
	1772 別が日来の	X O 1;	χ ₀)			績							
	10 许	-番1/ つ	アウトプット			価ニール	今 和「	7年度	令和8年度	令和9年度	△和10年度	令和11年度	
1				7]日1示)所		3か所			
1	算出方法	市内存	生住の子ども	、若者が、自分の		画	Z /3)	2か所	3/1/11	3か所	3か所	
		ペーフ	スで過ごせる	場所の開設数		績							
	休制推准会議,土		共生社会物			価 —— —							
2	催回数			社会資源の開発に	計	画	11		2回	2回	2回	2回	
		向けが	に協議及び検	討	美	績							
					評	価							

令和7年度	年度目標	①市内2か所でニーズに合わせて、市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所の開設を行う。 ②支援課題の解決、社会資源の開発に向けた協議及び検討を行い手法を確立していく。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	祖シート】			総征	今戦略	実行計	画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画
				No.		S13		No.		No.	
1. 担	当課名	社	会福祉	課							
2.事	業(取組)名称	生活困窮 居場所づ	世帯の自立に向 くり	けた	子ど も	らの学	習支	援や事業	コード(あれ	เเมี)	305
3. 現	以と課題	戦略の 視点	対象者の利用。制度周知のため要がある。								
		行革の 視点									
4. 事	業(取組)概要		所において、中学 や育成環境の相								こともに、
5 推	待される効果	戦略の 視点	学習や相談を追 を感じられる、						つりのなか	で、温かさ	や優しさ
J. 74.	IN C 1 LOWIN	行革の 視点									
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	<u>1</u>	_3子と きと育	ごもがいきい うつまちづくり	施策の方向		の子どもの)支援
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本的方向		12			施策の方向	12	
		該当する重	点プロジェクト				2.子	とも・子首	で支援プ	ロジェクト	
		事業(取組)に関連するKPI								
7. 行 位置	- 革大綱での づけ	方針						項目	·		
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無無									
	9. 年次	水計画(取組項	頁目)	スケシ	^ブ ュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	市内2か所で	で支援の必要 図支援の実施	な中高生を対	計画		実施		実施	実施	実施	実施
	水CU/C丁E				———						
					·価 ——						
2					画						
				-	·順 · ·価						
	10. 活動	」(アウトプット	-)指標		· ジュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	「べんきょう	会」の実施回	数	뒴	画	90		90回	90回	90回	90回
	タ ・		コミュニティセン いきょう会」を実施	実	績						
				評	価						
2				計	画						
	算出方法			美	績						
				評							

令和7年度	年度目標	今後、利用を希望する生徒の増加が見込まれることから、円滑に受け入れる ため、サポーターを増員して対応し、支援を必要としている子どもとその家 庭の安心の場、ひいては地域の居場所となることを目指す。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	組シート】			総合	 う戦略	実行記	計画	行革	大綱	実行計画	DX	推進計画	\neg
				No.		S14		No.			No.	D-26	
1. 担	当課名		育て支援	課				•					
2. 事	業(取組)名称	子育て情	報の収集・発信の	の充実	2				事業	コード(あれ	นば)		
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	核家族化、地域原情報の一元化やを活用し、子育でる。	関係の 、子育 て世帯	系の希薄化等により、子育て情報が得にくい現状があることから 子育てに役立つコンテンツを充実させるとともに、さまざまな媒 世帯のニーズにあった情報をわかりやすく提供していく必要があ								Z
		行革の 視点											
4. 事	葉(取組)概要			情報を収集し、広報やホームページ、LINE、子育てアプリ、 子育て情報へアクセスしやすい形で発信する。									
5 斯	引待される効果	戦略の 視点	子育て世帯のニーズにあった情報を発信することにより、子育ての する不安解消につながる。						の悩みに関	1			
3.70		行革の 視点											
ر س		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1		して結婚 育てがで くり		施策の方向	$\neg t$	・出産・子育て・ぐ安心の支援	
6. 統 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12				施策の方向	12		
		該当する重	直点プロジェクト				2.=	アども	・子育	すて支援プ	ロジェク	-	
位置		方針						項目		·			
	X推進計画との 性の有無	有											
	9. 年次	計画(取組功	頁目)	スケジュール		令和'	7年度	令和8	3年度	令和9年度	令和10年	10年度 令和11年度	
1	市ホームペー	ジス育で特	・子育て特設サイトの運営		計画		施	実	施	実施	実施	実施	
	1371 2			実績									
				評	価								
2	 LINE、子育で	アプリでの	配信	計	画	実施		実施		実施	実施	実施	
				実	績								
				評	価								
	10. 活動((アウトプット	~)指標	スケジ	ュール	令和'	7年度	令和8	3年度	令和9年度	令和10年	度 令和11年	度
1	ジアクセス数()	月平均)	サイトトップペー	計	画	145	0 回	170	0回	1950回	2200	2450	回
		04回(令和6年 E度250回増で		実	績								
				評	価								
2			回数(月平均)	計	画	3		3[<u> </u>	3回	3回	3回	
		IE配信回数と- I数の合計数	子育てアプリの配	実	績								
				評	価								

令和7年度	年度目標	子育で情報	報の発信内容の整理・充実
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策	継続	
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取約	且シート】			総合	 今戦略	実行詞	十画	行革大綱	寒行計画	DX推	進計画	
				No.		S15		No.		No.		
1. 担	当課名	危	幾管理課	課								
2. 事	業(取組)名称	防犯環境	(防犯灯・防犯力	メラ)の整	備		事業	ミコード(あれ	いば)	292	
3. 現	状と課題	戦略の 視点	防犯灯の適切な 業として通学路 握し、より環境の	等順次	「新た」	こ市が	"防犯:	カメラを設	加金制度の周 置し、犯罪認	別知、加えて 別知件数の》	新たな事 減少率を把	
		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	優先順位	をつけ、防犯カン	メラの)設置	を推済	進する	5.				
5 期	 待される効果	戦略の 視点	防犯カメラを説 がり、犯罪認知					犯効果の	句上、また、	検挙率向	上にも繋	
J. 74.	IN CHUOWIN	行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本的方向]1	支える	な暮らし方を サティスナブ ちづくり	施策の方向	借促的	は住環境の整性	
6. 総位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト			3.(子育	て世代)生	活基盤充実	実プロジェ	クト	
)に関連するKPI		犯罪	認知件	数						
7. 行 位置	革大綱での づけ	方針			<u>I</u>			項目	ļ			
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次計	十画(取組項	[目]	スケジュール		令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	防犯カメラの認	置		計画				実施	実施	実施	実施	
				実績 ———— 評価								
2	REVOLUTION YELD A	-			画	実	施	実施	実施	実施	実施	
	防犯灯の適切な	よ新設・修繕	善	美	績							
				評	価							
	10. 活動(7	アウトプット	-)指標	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	実施件数(防犯	カメラ)		뒴	画	30)件	30件	29件			
	算出方法			美	績							
					価							
2					画	14	-件	14件	14件			
	算出方法			美	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	①新たな防犯カメラ30台を設置し、適正な運用に努め、新たな設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10. 活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①設置済の30台の防犯カメラの適正な維持管理・運用に努め、新たにセットする30台の防犯カメラの設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	①設置済の60台の防犯カメラの適正な維持管理・運用に努め、新たに設置する29台の防犯カメラの設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	祖シート】		総合戦略実行計画			+画	行革大綱実行計画		DX推進計画			
				No.		S16		No.		No.		
1. 担	当課名	商工	観光労政	課								
2. 事	業(取組)名称		創業支						コード(あれ	,	0706	
3 張	状と課題	戦略の 視点	物価高騰など顧支援をしていく				犬況に	こあってもか	創業活動か	「停滞しな	いように	
3. %		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	「りっとう	創業塾」を実施	する。								
5 斯]待される効果	戦略の 視点										
3.70	119 (2.10 (6.10))	行革の 視点										
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向		活力をもた 業の創出	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	iii安心して働けるまちをつくる	基本	的方向	12	_1産業拡大	振興と雇用	施策の方向	業者の	全業・小規模事 の経営基盤の 公市内商業の	
		該当する重	直点プロジェクト	•		3.0	子育	て世代)生	活基盤充実	実プロジェ	クト	
		事業(取組)に関連するKPI		事業	听立地	数		創業	者数(延べ)		
位置		方針	_					項目	'			
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次	計画(取組功	頁目)	スケシ	^ブ ュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	「りっとう創業	塾」の実施		討	画	実	施	実施	実施	実施	実施	
				美	績							
				評	価							
2				討	画							
				実	績							
				評	価							
	10. 活動(アウトプット	~)指標	スケシ	^ブ ュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	受講者数			計	画	48	3人	48人	48人	48人	48人	
	算出方法「り	っとう創業塾」	の受講者数	美	績							
				評	価							
2				計	画							
	算出方法			実	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	「りっとう創業塾」を実施し、経営、販路開拓、財務、人材育成といった創業に関する必要な基礎知識を学べる全4回の講座の開催により創業活動を支援する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	取組シート】					実行記	画	行革大綱	DX推進計画						
				No.		S17		No.		No.		D-30			
1. 担	当課名	商工	観光労政	課											
2. 事	業(取組)名称	市	内企業のデジタ						コード(あれ			706			
3 張	状と課題	戦略の 視点	物価高騰や賃」 により、経営の						業が生産性	向上	等のI	取り組み			
5.5		行革の 視点													
4. 事	業(取組)概要	市内企業	の生産性向上の	ため	のデミ	ジタル	化を	推進し、経	営の持続と	≤発達	に繋	げる。			
5. 斯	待される効果	戦略の 視点	市内企業のデ	ジタル化を進めることによって生産性向上や労働環境の改善											
31 /4.	119 2 10 0 703710	行革の 視点													
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	9 1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向			活力をもた 業の創出			
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本	的方向	12			施策の方向	12					
		該当する重	重点プロジェクト			3.(子育	て世代)生	活基盤充実	まプロ	ジェ	クト			
)に関連するKPI		事業	所立地	数									
	7. 行革大綱での 方針 ^一 位置づけ							項目							
	X推進計画との 性の有無	有				-									
	9. 年次	計画(取組功	頁目)	スケシ	ブユール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度			
1	デジタル化導	プロがする	运 助全	i	一画	実	施								
	アングル心寺		開內了亚	身											
				富	呼価										
2				Ē	一画										
				身	ミ績										
				譶	陌										
	10.活動(アウトプット	~)指標	スケシ	ブユール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度			
1	申請件数			Ē	一画	25	件								
	算出方法 補助	金の申請件数	Ž	身	ミ績										
				譶	呼価										
2				Ē	一画										
	算出方法			身	ミ績										
				营	陌										

令和7年度	年度目標	中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業を実施し、市内企業 が取り組むデジタル化事業の経費に対して補助金を交付することによって、 業務の効率化及び経費節減を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	取組シート】					実行計	画	行革大綱	実行計画	DX推		進計画		
				No.		S18		No.		No.				
1. 担	当課名	企業	美立地推進	課										
2. 事	業(取組)名称	企業立地	推進計画に基づ	く民	間開発	その促	進	事業	コード(あれ	いば)	(0714		
3 張	状と課題	戦略の 視点	安定した雇用や	や良好	子な就	業環境	での確	筐保が必要	である。					
3. %		行革の 視点	-											
4. 事	業(取組)概要	新たな企	業立地の促進に	:向け	た環境	竟整備	や支	援の充実						
5 斯	待される効果	戦略の 視点	雇用の創出と抗	拡大										
J. 74.		行革の 視点	_											
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	1	1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向			活力をもた業の創出		
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本的方向		12			施策の方向	句2				
		該当する重	該当する重点プロジェクト			3.(-	子育	て世代)生	三活基盤充実プロジェク			クト		
		事業(取組)に関連するKPI		新規	立地件	数							
	7. 行革大綱での 方針 ^一 位置づけ							項目	_					
	X推進計画との 性の有無	無無												
	9. 年》	吹計画(取組項	頁目)	スケシ	ブュール	令和7	年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度		
1	企業立地支持	岩		=	一画	実力	施	実施	実施	実	施	実施		
		~			ミ績									
				評	価									
2					一画									
					< 									
	10 江利	·/¬+ı -	\		F価 ——— ·	A100	左座	今100 左连	今100 左连	△1 171) /= 	A1011/F		
](アウトプット 	~)指憬 		ブユール			令和8年度						
1	新規立地件数 算出方法 立		業時点を1件とす	<u>-</u>	画	0		0	0	0)	1件		
		立地件数。	CXF4/MC111C9		震績									
				言	価									
2	答山 士:士			<u>=</u>	画									
	算出方法			美	淫績									
				言	陌									

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-	
令和7年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10. 活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	【取組シート】				総介	今戦略	実行計画		行革大綱	実行計画	DX推		進計画			
					No.		S19		No.		No.					
1. 担	当課名		企業	立地推進	課											
2. 事	業(取組)名積	称	東部地区	におけるインフラ	ラ整備	青			事業	コード(あれ	いば)	()869			
3 張	状と課題		戦略の 視点	付加価値の高い 強い産業基盤を									と足腰の			
5. %	7//CB/kg		行革の 視点	_												
4. 事	業(取組)概	要		における新たな 道の整備を行う		拠点0	D形成	に向	け、アクセ	ス道路とし	て市道	道の書	修備及び			
5 斯	待される効!	果	戦略の 視点	雇用の創出と抗	拡大											
J. 74.	行革の															
			基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向			活力をもた 業の創出			
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ		基本目標2		基本	基本的方向2				施策の方向]2					
			該当する重	点プロジェクト			3.(子育	て世代)生	活基盤充具	実プロ	ジェ:	クト			
			事業(取組)に関連するKPI		事業	听立地	数								
7. 行革大綱での 方針 方針						•			項目	_ '						
	X推進計画と 性の有無		無													
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1(0年度	令和11年度			
1	十、关 丰 立 7 - 1	_11b±	本主王が立の	壶/ 井	計画		実施		実施	実施	実	施	実施			
	市道東部六	\地框	3.宋凸禄(7)	全 佣	実績											
					評	価										
2	工業用水道	首の専	2備		뒴	画	実施		実施	実施	実施		***************************************			
			∟ µ13		美	績										
					評	価										
	10.活	動(フ	アウトプット	·)指標 ————————————————————————————————————	スケシ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度			
1	新規立地件				뒴	画	C)	0	0	C)	1件			
			を援企業の操 也件数。	業時点を1件とす	美	績										
					評	価										
2					뒴	画										
	算出方法				美	績										
					評	価										

令和7年度	年度目標	①市道東部六地蔵東西線の用地取得を行う ②工業用水道施設整備工事を実施する
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①市道東部六地蔵東西線の用地取得及び工事を行う ②工業用水道施設整備工事を実施する
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	①工業用水道施設整備工事を実施する
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	①工業用水道施設整備工事を実施する
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】		総合	合戦略	実行詞	十画	行革大綱実行計画		画 DX推進計画		進計画	
				No.		S20		No.		No.		
1. 担	当課名	商工	観光労政	課								
2.事	業(取組)名称		商業・サー	ビス	美支援	<u>Z</u>		事業	コード(あれ	れば)	(706
3. 現	状と課題	戦略の 視点	地域経済の好代性化を図る必要			する	ため、	市内企業の	の魅力を向	止させ	、商	業の活
		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	りっとうノ	バル事業の実施。	0								
5堆	待される効果	戦略の 視点	地域や商業の済	舌性化	とにつ	ながる	るまち	5の賑わい	を創出する	5.		
3.74	HI CIVOWIA	行革の 視点										
		基本目標1	II住みよいまちを つくる	基本的方向		1	_1多様な暮らし方を 支えるサティスナブ ルなまちづくり		施策の方向	婧	良好な住環境の整備促進	
6. 総位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向]2			施策の方向	句2		
		該当する重	点プロジェクト	-		3.(子育て世代)		て世代)生	活基盤充	実プロシ	ジエ:	クト
		事業(取組)に関連するKPI		商業	施設数	7(小虎	(業)	市内	購買率		
位置	*	方針	_					項目	•			
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次詞	計画(取組項	頁目)	スケジュール		令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	りっとうバル될	€施		計	画	実	施	実施	実施	実施	Ė	実施
				実	績							
				評	価							
2				計	画							
				美	績							
				評	価							
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケジ	ブユール	令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	参加事業者数			計	画	83	者	83者	83者	83	者	83者
	算出方法 りつの	とうバルの参	加事業者数	美	績							
				評	価							
2				計	画							
	算出方法			美	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	りっとうバル事業を実施し、対象店舗でのスタンプラリーにより利用者の複数店舗の利用促進を図り、市内店舗の活性化、新規顧客獲得に寄与し、「まちの賑わい」を創出する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】					総合戦略実行計画		画	行革大綱実行計画		DX推進計画			
				No.		S21		No.		No.			
1. 担当課名 商工観光労政				課									
2. 事	業(取組)名称		商業施設立地の検討 事業コード(あれば) ー									_	
3. 現状と課題		戦略の 視点	本市に大規模がいる。	な商業	美施設	゚゚゚がなく	〈、周	辺市の大型	型施設に市	民消費	貴が流	流出して	
		行革の 視点											
4. 事	葉(取組)概要	商業施設の市内立地の可能性を調査											
5 斯	持される効果	戦略の 視点	戦略の 視点 商業施設立地によるまちの賑わいや周辺企業への相乗効果の波及。										
J. 知时でれる効本		行革の 視点											
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標1		基本	本的方向1				施策の方向1				
		基本目標2	2	基本	的方向	方向2			施策の方向2				
		該当する重	該当する重点プロジェクト			3.(子育	て世代)生	活基盤充实	舌基盤充実プロジェクト			
		事業(取組	事業(取組)に関連するKPI			施設数	(小清	(業)					
7. 行 位置	F革大綱での づけ	方針	_	·			項目		·				
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無											
9. 年次計画(取組項目)			スケジュール 令和		令和7	'年度	令和8年度 令和9年度		令和10年度 令和11年度				
の商業施設の市内			内立地の可能性を調査			調査・	査·研究						
		内立地の可											
2				뒴	画								
10. 活動(アウトプット)指標			スケシ	ブユール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度		
1	775 () 1 - L- > L-			討	画								
	算出方法			美	注								
				評	価								
2				計	画								
	算出方法			美	注								
				評	価								

令和7年度	年度目標	都市計画マスタープランの見直し(都市計画課)と連携して、商業施設の市内立地の可能性を検討します。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	組シート】			総合	う戦略	実行記	計画	行革	大綱	実行計	画)X推	
				No.		S22		No.				No.		
1. 担	当課名	健康運動公	園整備事業推進	課										
2. 事	業(取組)名称	健康運動	公園整備事業						事業	コード	(あれ	いば)		895
2 #	状と課題	戦略の 視点	一人当たりの終	录地面	積が	少ない	ハ中で	ご、都下	市公園	園整備	の進	捗を[図る。	
الرك . ك	61八〇 武戍	行革の 視点												
4. 事	葉(取組)概要	健康運動	公園整備											
5 斯	待される効果	戦略の 視点	「馬のまち栗東 を楽しめる空間			活かし	ンなカ	ら、ノ	\ <i>Φ0</i> .)多様	な交	流やE	日常的	りな憩い
J. M	110で46の初末	行革の 視点												
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	ŋ1	_3子と きと育	ごもがい でまちつ		施策の)方向			力を育む教の整備
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	12	支える	な暮らし サティス ちづくり	スナブ	施策の)方向		良好な 備促進	住環境の整
		該当する重	点プロジェクト			3.0	子育	て世代	せ)生	活基盤	於	実プロ	ジェ:	クト
		事業(取組)に関連するKPI											
7. 行 位置	F革大綱での づけ	方針	_					項目		_ '				
	X推進計画との 性の有無	無												
	9. 年次記	十画(取組項	[目]	スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8	3年度	令和9	年度	令和1	0年度	令和11年度
1	公園整備			計	画	実	施	実	施	実法	施	実	施	実施
	公園電網			実	:績									
				評	価									
2				計	画									
				実	:績									
				評	価									
	10. 活動(7	アウトプット	·)指標	スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8	3年度	令和9	年度	令和1	0年度	令和11年度
1	事業内容			計	画	設	計	設	計	工	事	工	事	工事
	算出方法			美	!績									
				評	価									
2				計	画									
	算出方法			実	績		Ü						ï	

評価

令和7年度	年度目標	造成設計(測量業務含む)を令和7年度~令和8年度にかけて取り組む。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	造成設計(測量業務含む)を令和7年度~令和8年度にかけて取り組む。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	且シート】			総合	う戦略	実行詞	 画	行革ス	大綱	実行計画	С)X推	進計画
				No.		S23		No.			No.		
1. 担	当課名		市計画	課									
2.事	業(取組)名称	都市公園	の整備推進(草)						-	コード(あれ)894
3. 現	状と課題	戦略の 視点	子育て世代の境体のが必要で			促進	するた	きめ、多	様な	は主体・年代	弋が利	活用	できる環
	.,,,=,,,,=	行革の 視点											
4. 事	業(取組)概要	多様な主体	体、年代が利活	用でき	₹、地	域の3	と流抄	点とな	る。	よう整備す	る。		
5 斯	待される効果	戦略の 視点	子育てしやすい ことで、まちの							こしての公	園整備	請を仮	進しする
J. #	刊で生る対本	行革の 視点											
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1		ぎもがいき つまちづく		施策の方向		すべての子どもの 育ちの支援	
6. 総 位置	*合戦略での づけ	基本目標2	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	12	_1多様な暮ら 支えるサティン ルなまちづく		_ <i>_</i> ;`			良好な住環境の整 備促進	
		該当する重	点プロジェクト			3.(子育て世代		て世代	代)生活基盤充		実プロジェク		クト
		事業(取組)に関連するKPI	I 都市:		公園の整備面積		面積					
位置		方針	_					項目		_			
	X推進計画との 性の有無	無											
	9. 年次計	計画(取組項	[目]	スケジ	シュール	令和7	7年度	令和8年	-度	令和9年度	令和1()年度	令和11年度
1	用地買収及び工	事(R9年度	末完成予定)	計	画	実	施	実施	į	実施			
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	美	.績								
				評	価								
2					画								
					(語) (西)								
			\	Ē [†] fā	価								
	10. 活動(フ	アウトプット	·)指標 	スケジ	ュール	令和7	7年度	令和8年	-度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度
1	進捗率		_	計	画	20)%	60%	6	100%			
	※スク R7:	度末完了予算 アジュール 年度:残りの原	用地買収	実	績								
	R83 R93	年度:工事(列 年度:工事(整	(土処分) 整備)	評	価								
2				計	画								
	算出方法			美	績								
				評	価								

令和7年度	年度目標	・滋賀県から残りの用地を購入する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	祖シート】			総1	合戦略	実行詞	抽	行革大綱実行計画		DX推進計画		進計画
				No.		S24		No.		No.		
1. 担	当課名	侹	康増進	課								
2.事	業(取組)名称	かかりつ	ナ医・かかりつけ	歯科	医を	寺つこ	との	啓発 事業	コード(あれ	นば)		
3 現	状と課題	戦略の 視点	若い世代が家庭 して子育てがし	ほを持 いやす	持ち、f い環 ^は	主み網 寛整備	計 を 行	いと思うa う必要がa	まちづくり(ある。	カー環	とし	て、安心
0.19		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	かかりつい	ナ医・かかりつけ	歯科	医を	持つこ	との	啓発を実施	色する。			
5 斯	待される効果	戦略の 視点	身近な住環境P 育てができる野					かりつけ藤	科医を持	つこと	で安	心して子
3174	119 6 1 7 6 70371	行革の 視点										
		i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	9 1		して結婚,出 育てができる くり	施策の方向	1			
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト			3.0	子育	て世代)生	活基盤充具	見プロ:	ジェ:	クト
)に関連するKPI			施設数、助産		设診療所、歯	科診				
7. 行 位置 [·]	革大綱での づけ	方針						項目				
	X推進計画との 性の有無	無無										
	9. 年》	吹計画(取組項	[目]	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1		Ĕ・かかりつけ	歯科医を持つ	計	画	実	施	実施	実施	実抗	包	実施
	ことの啓発			美	淫績							
				쬠	価							
2				計	画							
				美	震績							
				評	価							
	10. 活動)(アウトプット	-)指標	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	情報発信の数	数(回)		計	画	3		3回	3回	30		3回
		Pや広報、健康で 報発信をした件	がくりカレンダーで 数	美	ミ績							
				宫	価							
2				Ē	画		_					
	算出方法			美	詳							
				評	四 四							

令和7年度	年度目標	かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】			総合	う戦略	実行詞	抽	行革大綱	実行計画	DX推	進計画
				No.		S25		No.		No.	
1. 担	当課名	侹	康増進	課							
2. 事	業(取組)名称		療施設に関する					= :	コード(あれ		
3 瑪	状と課題	戦略の 視点	若い世代が家庭 して子育てがし							カー環とし	って、安心
3. 5		行革の 視点									
4.事	幕業(取組)概要	市·野洲市	療体制について 5)として状況把 もと、市内の医療	握や	果題核	食討が	行わ	れている。	そのため、	淳市・栗原 県や草津	東市・守山 保健所と
5. 斯	持される効果	戦略の視点	市内の医療施設し、安心して子							極制の調	題を把握
		行革の 視点									
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	9 1		いして結婚,出 育てができる バくり	施策の方向	1	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12	
		該当する重	点プロジェクト			3.0	子育	て世代)生	活基盤充乳	ミプロジェ	クト
		事業(取組)に関連するKPI			施設数、助産		设診療所、歯	科診		
位置		方針						項目			
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無									
	9. 年次	計画(取組項	頁目)	スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	市内の医療施	設数(一般詞	診療所、歯科診	뒴	画	実	施	実施	実施	実施	実施
	療所、助産所)	の把握		実	績						
				評	価						
2				討	画						
				美	績						
				評	価						
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	市内の医療施 療所、助産所)	設数(一般	診療所、歯科診	討	画	821	施設	82施設	82施設	82施設	82施設以上
	算出方法			美	績						
				評	価						
2				討	画						
	算出方法			美	:績						
				評	価						

令和7年度	年度目標	市内の医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)の把握
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	祖シート】			総	合戦略	実行詞	抽	行革大綱	実行計画	DX推	進計画	
				No.		S26		No.		No.		
1. 担	当課名	土	木交通	課								
2. 事	業(取組)名称	公共交通	の利便性向上					事業	コード(あれ	いば)		
3 租	状と課題	戦略の 視点	市民の移動手 必要。	役とな	なる公	共交)	通の利	可便性向上	のために、	路線等の	見直しが	
J. 201		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	持続可能合バス、コ	な地域公共交通]ミュニティバス	ネッ 、デマ	トワー	クへの	の再構 一全 ⁻	構築に向け てを見直す	、現在市内	を運行す	る民間乗	
5 斯	待される効果	戦略の 視点	定時性と利便性 れ、利用者増に				こによ	り、まちづ	くりについ	へての不満	が解消さ	
5. 74.		行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	9 1	支える	な暮らし方を サティスナブ :ちづくり	施策の方向	/++ /m	良好な住環境の整 備促進	
6. 総 位置	合戦略での	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	句2		
		該当する重	点プロジェクト			3.0	子育	て世代)生	活基盤充具	実プロジェ	クト	
		事業(取組)に関連するKPI ·			/コミ <u>:</u> 用者数		ィバス、タク	シー			
位置		方針						項目				
	位置づけ											
	9. 年次記	計画(取組項	[目]	スケジュー		令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	市内バス路線の	の見直し		計	画	検	討	検討·準備	実施			
	יופון שלי יני ופוי	,,,n=0		美	績							
				語	価							
2				<u>=</u>	画							
				美	[績							
				評	価							
	10. 活動(アウトプット	·)指標 ————————————————————————————————————	スケシ	ブユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	市内バス利用			Ī-	画	1'	%	1%	1%	1%	1%	
	算出方法 乗降	システムにより	り算出	実	淫績							
				評	価							
2				=	画							
	算出方法			美	續							
				言	価							

令和7年度	年度目標	利便性を向上させ、利用促進を図るため、路線の見直しを検討する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】			総合	5 戦略実行詞		革大綱	実行計画	l	DX推進計画		
			No.	S27	No	. [No.	D-27		
1. 担当課名	シティプロ]モーション推進	課			,					
2. 事業(取組)名称	・「馬」関連	事業の企画と	実施			事業	コード(ぁ	れば)			
3. 現状と課題	戦略の 視点	人口の社会減力	が続く	・中、選ばれ	るまちに	なるた	きめに、「馬	のま	ち」をPRしてい		
3. 坑小(C环(这	行革の 視点										
4. 事業(取組)概要	「馬」に関	馬」に関連する事業を展開し、市内外に向けて「馬のまち」のPRを行う。									
5. 期待される効果	戦略の 視点	本市にしかできの認知度を高ぬ		「馬」関連	事業を展開	開する。	ことにより	八「馬	のまち」として		
J. 州川 C 1 t O M A	行革の 視点										
	基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向1	_2地域資源 したまちづ<		施策の方[白1	地域資源を活かし たまちづくりの推進		
 6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本	的方向2			施策の方[句2			
	該当する重	点プロジェクト		3.0	子育て世	性()生	活基盤充	実プロ]ジェクト		
	事業(取組)に関連するKPI		「栗東と言える市民の割		き」と	惑じ				
7. 行革大綱での 位置づけ	方針				項目						

╙╚	21)									
8. D 関連	X推進計画。 性の有無	との	無			·				
	9. 年	F次計	画(取組項	[目)	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	アニメ・ゲ	ームニ	コンテンツと		計画	実施	実施	検討	検討	検討
	ントの実施	b			実績					
					評価					
2					計画					
					実績					
					評価					
	10. 活	動(フ	アウトプット	·)指標	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	イベントの	回数			計画	1回	1回	-	-	-
	算出方法	コラオ	ベイベントを実	施する回数	実績					
					評価					
2					計画					
	算出方法				実績					
					評価					

令和7年度	年度目標	コラボイベントを通じて、市内外の人に「馬のまち」であることをPRする。 コラボイベントの効果や課題を把握し、次年度以降の取り組みに繋げる。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】

総合	合戦略実行計画	行草	首大綱実行計画	DX推進計画		
No.	S28	No.	G-1	No.	D-1	

1. 担	!当課名	情報政策	情報政策課 関係所属:全所属										
2.事	業(取組)名称	手続きの	手続きのオンライン化の拡充 事業コード(あれば) -										
3 張	状と課題	戦略の 視点	一定の手続きのは、さらにオン	ライン	化を	促進	する必	必要がある	0				
0.5		行革の 視点	窓口対応の時間る。	間及て	が紙申	請を	システ	- ムへ入力 ⁻	する時間を	削減する	5必要があ		
4. 事	譯(取組)概要		きの件数の多寡 をさらに進める。		夏を考	慮し	、優先	順位の高い	ハものから	順に、手	続きのオン		
E #F		戦略の 視点	手続きのオンライン化が進むほど、市役所に来なくとも行政手続きが完了するため、さらなる市民の利便性の向上を図ることができる。										
り. 舟	三式に一つの	行革の 視点		入力ミスを減らし、入力時間の短縮を図ることができる。 紙の申請書管理が軽減する。									
	i 子育てしやすいま 本目標1				的方向]1	支える	な暮らし方を サティスナブ ちづくり	施策の方向	/±/□	な住環境の整進		
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12			
		該当する重	点プロジェクト			3.0	(子育	て世代)生	活基盤充具	実プロジ:	<u></u> こクト		
事業(取組)に関連するKP				PI 行政手続きのオンライン化率									
位置		方針	_1.効率化・重点化に 向上	よる市	る市民サービスの 項目 〔〔1				_(1)スマートデ	(1)スマート窓口の推進			
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	有											
	9. 年次計画				シュール	令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度 令和11年度		
1	電子申請による化	る行政手続	きのオンライン		画	拡	充	拡充	拡充	拡充	拡充		
					価								
2				計	画								
				実	:績								
				評	価								
	10. 活動(スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度 令和11年度		
1	化率		きのオンライン	計	画	35	5%	45%	55%	65%	75%		
	数(年	申請済み手続 E間100件以。 値:25%	き÷行政手続きの 上の行政手続き)	美	績								
				評	価								
2	笛 中士注			計	·画								
	算出方法			実	績								
							-						

令和7年度	年度目標	年間1,000件以上の電子申請手続きを全てオンライン化する。また、子育て関連の行政手続きのうち件数の多い手続きを優先し、オンライン化する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】		総合戦略実行計画 行			行革大綱実行計画			DX推進計画			
				No.		S29		No.		No.		
1. 担	当課名	子:	育て支援	課								
2. 事	葉(取組)名称		ける子育て支援 援センター) 	の場(の提供	共(児童	童館・	地域事業	コード(ま	5れば)	3	3343
3 張	状と課題	戦略の 視点	子育て世代にお育て世帯にやさ	いて、· しい空	子育で問づり	くりや	すい環相談体	環境を求め 本制などの ³	転出する個 環境整備7	前にあず必要で	ること である。	:から、子 ,
3.9		行革の 視点										
4. 事	專業(取組)概要		中の親子の交流の D提供 ④利用者:									
5 斯	戦略の 視点 子育ての悩み 育てへの不見			を聞い や孤独	て貰 !感の	うとと 解消(こもに こ繋が	に保護者同 がることが	士の繋が期待でき	りも生 る。	まれる	るため、子
J. 74	IN C 1 1 WM	行革の 視点										
			i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的	的方向	1		いして結婚,出 育てができる ぶくり	施策の方	前1		出産・子育て にぐ安心の支
6. 総 位置 	合戦略での づけ	基本目標2	 点プロジェクト	基本的	的方向	12			施策の方	前2	2	
	事業(取組)に関連する					·49歳 間出生		性の人口に 割合	対す			
7. 行革大綱での 方針								項目	,			
	X推進計画との 性の有無	無無										
	9. 年次	大計画(取組功	頁目)	スケジ	ュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年	度 令和	10年度	令和11年度
1			や児童館にお	計	画	実	施	実施	実施	美	施	実施
	ける子育で	目談や子育て	講座等を実施	実	績							
				評	価							
2		の発信と子育 中間づくり支持	て中の親子を	計		実	施	実施	実施	美	施	実施
	140.000		,x	実 —— 評								
	 10. 活動)(アウトプット	 ~)指標	スケジ		令和"	7年度	令和8年度	令和9年	夏 令和	10年度	令和11年度
1	利用者数の		73413	計	画	845	65人	82405人	80647.	人 792	233人	78367人
			センターおよび児 実績を基に算出	実	績							
					価							
2	利用率の維持			計	画	427	.5%	427.5%	427.59	6 42'	7.5%	427.5%
	算出方法 子育て(包括)支援センターおよび児童館における利用実績を基に人口推動などの利用変え			実	績							
計からの利用率を算出 ※R5の0~17歳利用延べ人数。 R5の0~17歳人口×100			利用延べ人数/	評	価							

令和7年度	年度目標	子育て包括支援センターの移設に伴う、子育て支援センターと児童館機能の整理および業務見直し
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	取組シート】				総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画				
				No.		S30		No.		No.			
1. 担	当課名	É	1治振興	課									
2. 事	業(取組)名称	女性活躍	に関するセミナ	一の打	推進			事業	コード(あれ	ルば)	159	0	
3 II	状と課題	戦略の 視点	女性(25~44 に女性活躍が						多様な働き	方を促	進する	とも	
٥. ا		行革の 視点	_										
4. 事	業(取組)概要	女性が能	力や個性を発揮	心、清	話躍で	きる。	よう女	で性活躍に	関するセミ	ナーを	推進す	る。	
5 斯	待される効果	戦略の 視点	女性の雇用促送	促進、ジェンダーギャップの緩和、女性の自立と社会参加									
31 /4.	119 C 10 G // (1)	行革の 視点	_										
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1		ながら子育 きるまちづく	施策の方向	可1 て	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり		
		基本目標2	2	基本	的方向	12			施策の方向2				
	該当する重点ブ												
		事業(取組)に関連するKPI		女性	(25~	44歳	遠)の就業率					
7. 行革大綱での 方針 方針							項目	•					
	X推進計画との 性の有無	無											
	9. 年次	計画(取組項	頁目)	スケジュール			7年度	令和8年度	令和9年度 令和1		F度 令和	111年度	
1	女性活躍に関	まるセミナ	一の開催	Ē	画	実	施	実施	実施	実施	5	実施	
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	051/11/E	美	震績								
				言	価								
2				=	一画								
					ミ績								
				福	価						\perp		
	10. 活動	(アウトプット	~)指標 	スケシ	ブユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	F度 令和	111年度	
1	女性活躍セミ			<u>-</u>	画	30	人	32人	34人	36人	4	-0人	
	算出方法 セミ	ミナーに参加し	た人数	美	ミ績								
				詔	陌								
2				=	画								
	算出方法			美	ミ績								
				言	陌								

令和7年度	年度目標 取組実績 取組実績 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	女性の起業や創業に向けた女性活躍推進セミナーを開催する。 会場参加が難しい方でも参加しやすいよう、ハイブリッド型のセミナーを開催する。 参加者の個別相談を実施予定。質の高い相談となるよう参加人数を限定して実施する。
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	_
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	_
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	_
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】			総合戦略実行計画		画	7 行革大綱実行計画		DX推進計画			
			No.		S31		No.		No.	D-29	
1. 担当課名	商工	観光労政	課								
2. 事業(取組)名称		労働環境の	の改善	支援			事業	コード(あれ	ルば)	0505	
3. 現状と課題	戦略の 視点	生産年齢人口のフ・バランスを						句立ができ	るよう、ワ	ーク・ライ	
J. 701/1 CBARES	行革の 視点										
4. 事業(取組)概要	企業訪問	等の機会を通じ	て、ゴ	業へ	の啓	発を行	ううととも	に、適切な	情報提供	を行う。	
5. 期待される効果	戦略の 視点	労働環境の改	労働環境の改善・多様な働き方の実現・女性の就業率の増加								
	行革の 視点										
	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	<u>1</u>		ながら子育 きるまちづく	施策の方向		ながら安心し 育てができる づくり		
 6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本	的方向	方向2			施策の方向	12		
	該当する重	点プロジェクト						_			
事業(取組)に関連するKPI				滋賀!	県ワー 登録企	·クライ ·業数	イフバランス	推進			
7. 行革大綱での 位置づけ	方針						項目				
8. DX推進計画との 関連性の有無	有										
9. 年次言	十画(取組項	[目]	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
金業訪問等に	おける啓発	や情報提供		画	実	施	実施	実施	実施	実施	
				績							
				価 —— 画		!/					
② デジタル化導力	くに対する	補助金		四 :績	天	旭					
				価							
10. 活動(7	アウトプット	-)指標	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
① 啓発や情報提供	共を行った	回数	計	画	2		2回	2回	2回	2回	
算出方法 訪問 [・] た回教		や情報提供を行っ	実	績							
			評	価							
② 申請件数			計	画	25	件					
算出方法補助。	金の申請件数	Ţ.	実	:績							
			評	価							

令和7年度	年度目標	①7月からの企業訪問時に、ワーク・ライフ・バランスに関する資料を企業へ手渡すことにより、企業における意識の向上を図る。 ②労働環境の改善については、デジタル化導入に対する中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業による環境整備等の支援を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	【取組シート】			総合戦略実行計画		行革大綱	実行計画	DX推進計画				
				No.		S32		No.		No.		
1. 担	当課名	商工	観光労政	課								
2. 事	業(取組)名称	į	資格取得支援補	助金	制度の	の充実	2	事業	コード(あれ	いば)	0513	
3 張	状と課題	戦略の 視点	労働力が減少し に、再就職や安							『成をし	ていくため	
3. %		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	資格取得の充実を	支援補助金制度 図る。	につ	いて作	青報発	信を	行うととも	に、資格耶	双得支援	補助金制度	
5 斯	待される効果	戦略の 視点	女性の就業率の	の増加	心を	用機会	の拡	大・市民の	所得向上			
3.70		行革の 視点										
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1		たながら子育 できるまちづく	施策の方向	1 て	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向2]2			施策の方向]2		
		該当する重	重点プロジェクト									
事業(取組)に関連するKP				栗東 歳)の	市にお)ける: 率	女性(22~	44				
7. 行革大綱での							項目					
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次記	計画(取組項	頁目)	スケシ	ブユール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度 令和11年度	
1	資格支援取得	補助金制度	の実施	計	画	実	施	実施	実施	実施	実施	
	2 4 1 2 3 3 2 1 7 1 3			実	績							
				評	価							
2				言	画							
				美	淫績							
				評	価							
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケシ	ブユール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度 令和11年度	
1	資格取得補助			計	画	10	人	12人	12人	15人	15人	
	算出方法 資格	取得補助金制	度の受給者数	美	ミ績							
				죔	価							
2				計	画							
	算出方法			美	淫績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	市広報への掲載や、関係機関等に資格取得支援補助金制度チラシの配架を依頼するなど、積極的な情報発信を行うことで広く制度周知を行い、受給者数を増加させる。							
	取組実績								
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由								
	今後の方向性・ 対応策								
令和8年度	年度目標								
	取組実績								
	課題								
	今後の方向性・ 対応策								
令和9年度	年度目標								
	取組実績								
	課題								
	今後の方向性・ 対応策								
令和10年度	年度目標								
	取組実績								
	課題								
	今後の方向性・ 対応策								
令和11年度	年度目標								
	取組実績								
	課題								
	今後の方向性・ 対応策								

【取組シート】				ŕ	総合戦略実行		行計画 行革大綱		実行計画	DXł	DX推進計画	
					No	0.	S33		No.		No.	
1. 担	当課名			幼児	課	1						
2. 事	業(取組)名和	尓	預かり保育	育やサービス	の充実	実			事業	コード(あれ	いば)	
3 II	状と課題		戦略の 視点	保護者の多様 がある。	様な京	尤労形態	に対け	応する	るため、預力	かり保育の	拡充をし	ていく必要
J. 151	51八C m		行革の 視点									
4. 事業(取組)概要 市内の公立園(幼稚園、幼 る。また、公立こども園で			、幼児 では、	.園、こと 、夏季休	きまず)にお の預7	いて、降園 かり保育を	時間後の	預かり保	育を実施す		
5 斯	5. 期待される効果		戦略の 視点	親の就労支持環境が整うる							て職場復	帰できる
J. 74.		N .	行革の 視点									
			基本目標1	i 子育てしやすい ちをつくる		本的方向	9 1		ながら子育 きるまちづく	施策の方向	31 て子	ながら安心し 育てができる づくり
6. 終 位置	合戦略での づけ		基本目標2		基	本的方向	92			施策の方向	12	
			該当する重	点プロジェク	-							
			事業(取組)に関連するK	ΡΙ	女性	(25~	~44岸	歳)の就業率	:		
7. 行革大綱での 方針 方針				•			項目	_				
	X推進計画と 性の有無	:の	無									
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	<i>Z</i> ⁴	ケジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	令和11年度
1	預かり保育	の事	≌施			計画	実	施	実施	実施	実施	実施
	170,3 2 170,13					実績						
						評価						
2	夏季休業期	間中	コの預かり	保育の実施		計画	実	施	実施	実施	実施	実施
						実績						
						評価						
	10. 活動	動(ア	アウトプット	·)指標 —————	ス/	ケジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	令和11年度
1	預かり保育					計画	8旅	色設	8施設	8施設	8施設	8施設
	算出方法	惧から)保育を実施	9 る施設数		実績						
						評価						
2				保育の実施		計画	3旅	拖設	6施設	6施設	6施設	6施設
	算出方法	領かり)保育を実施	する施設数	Januar	実績						
						評価						

令和7年度	年度目標	治田東幼児園のこども園化に伴い、夏季休業期間中の預かり保育を実施する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1. 担	当課名	情報政策	課 関係所属:	窓口業務	がある	所属						
	業(取組)名称		書かない窓口の推進 事業コード(あれば) -									
3 拒	状と課題	戦略の 視点										
٥. ٣	51八〇际煜	行革の 視点										
4. 事	葉(取組)概要	窓口事務	フローの見直し	と書かない	\窓口	シスラ	テムの導入	0				
5. 斯]待される効果	戦略の 視点	多くの申請書^	への記入作	業の行	省力化	Ł。					
0.74	313 C 1 2 2 3 3 3 7 1	行革の 視点	入力時間の短網		の確認)				
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向	—— 句1		ながら子育 きるまちづく	施策の方向		ながら安心し すてができる がくり		
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向	句2			施策の方向	12			
		該当する重	点プロジェクト									
		事業(取組)に関連するKPI									
位置		方針 「1.効率化・重点化に 向上		よる市民サービスの		項目		_(1)スマート窓口の推進				
8. DX推進計画との 関連性の有無 有												
9. 年次計画			スケジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
1	空口 事致 コロ	の目志し		計画	検	討	実施	改善	改善	改善		
	窓口事務フロ・	一の兄担し		実績								
				評価								
2	まかかい窓口	シフテムの	首入	計画	検討		実施	拡充	拡充	拡充		
	首がない心口	JA) A 0)=	ンステムの導入									
				評価								
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
1	-			計画								
	算出方法			実績								
				評価								
2	窓口での書か	ない率		計画			20%	50%	75%	100%		
	算出方法 転入口を	に関する手続き 導入した手続き	のうち、書かない窓 数	実績				***************************************	<u> </u>			
				評価								

令和7年度	年度目標	ワーキンググループでの窓口事務フローの見直し。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	システムの構築、テスト、スモールスタートでの本番利用。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1. 担当認	型名	情報政策	課 関係所属:	相談業務為	を行う所	星					
	T 取組)名称			相談の推進 事業コード(あれば) ー							
21 3-7/(戦略の視点	相談にあたり、	市役所にあ	を庁する。						
3. 現状と	3. 現状と課題		オンライン相談を実施できる環境が整備できていない。								
4. 事業(取組)概要 相談の数やボリューム、課業 推進する。 オンライン相談を実施でき							けを行い。	、オンライン	ノ相談を		
		戦略の 視点	子育て中の家庭 行うことができ	庭など、市行 ・、市民の和	殳所への リ便性が[来庁が難し(向上する。	ハ方でも、ス	オンライン・	で相談を		
5. 期待さ	される効果	行革の 視点	オンライン相談相談を利用する			が整備される	る事で、より	り気軽にオ	ンライン		
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向		働きながら子育 ができるまちづく り	施策の方向	31 て子	働きながら安心し て子育てができる 環境づくり		
	6. 総合戦略での 位置づけ		_	基本的方向	12	_	施策の方向	92	_		
		該当する重	点プロジェクト								
		事業(取組)に関連するKPI								
7. 行革力位置づけ		方針	_1.効率化・重点化に 向上	よる市民サービスの 項目 (1)スマート窓口の推進							
8. DX推 の関連性	進計画と Eの有無	有									
	9	. 年次計画		スケジュール 令和7年度		度 令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
1 7	ンライン相	談の拡充		計画	検討	実施	実施	実施	実施		
				実績 評価							
2	こってい		· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	計画	検討	実施	拡充	拡充	拡充		
	ノ ノ1 ノ作	談環境の整	VĦ	実績							
				評価							
10. 活動(アウトプット)指標			ト)指標	スケジュール	令和7年	度 令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
① オンライン相談の取扱業務数			計画	-	5業務	6業務	7業務	8業務			
算出	出方法 オン (累記		収扱業務の件数	実績							
				評価							
2				計画							
算出	出方法			実績							
				評価							

令和7年度	年度目標	各所属で実施している相談業務の棚卸しやオンライン相談環境の整備について、担当者へのヒアリング等を行いながら検討する。
	取組実績	
	課題 ※9. 年次計画(取組項目) の評価と10. 活動(アウト プット)指標に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	令和7年度に検討したオンライン相談に適する業務のシステム環境を整備する。 また、オンライン相談に適する業務の棚卸しや環境整備の検討を継続して行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1. 担当課名	総合窓口	課 情報政策課								
2. 事業(取組)名称	マイナンバ	ベーカードの普及	及促進・利用	の推進	事業	コード(あれ	ルば)	-		
3. 現状と課題	戦略の 視点	市民のマイナン すマイナンバー 性向上のために	カードを利	川用する村	幾会が増加し	ていくこと	から、市民			
J. JUNCHAE	行革の 視点	マイナンバーカ おり、普及およ し、職員の負担	び利用の	推進を行	ううことで行政					
4. 事業(取組)概要	や利便性! ポートや!! 続きできる	バーカードに対し、不安や不信感を抱いておられる方もおられるため、安全について窓口で丁寧に説明するとともに広く周知を行う。窓口での申請サ 出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、今後急増する更新者を含め、円滑に る体制を整備する。マイナンバーカードを利用しての証明書発行およびオン を推進していく。						申請サ 円滑に手		
5. 期待される効果	戦略の 視点	マイナンバーカ 化が促進され、 め、多様化する	証明書発行	うやオン	ライン申請な	ど時間を				
つ. 知付される <u></u> 別未	行革の 視点	化が促進され、	マイナンバーカードの普及および利用の推進により、行政手続きのデジタルが促進され、コンビニ交付率も上昇し、証明書発行や窓口申請などの対応係る職員の負担軽減や時間外対応の削減に繋がる。							
	基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向	_ :	動きながら子育 ができるまちづく	施策の方向		から安心し すてができる がくり		
6. 総合戦略での	基本目標2		基本的方向]2		施策の方向	12			
位置づけ 	該当する重	点プロジェクト				_				
	事業(取組)に関連するKPI			_					
7. 行革大綱での 位置づけ	方針	_1.効率化・重点化に。 向上	よる市民サービ	ごスの	項目	_(1)スマートデ	窓口の推進			
8. DX推進計画との 関連性の有無	有			,						
9. :	年次計画		スケジュール	令和7年	度 令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
① マイナンバーカ	ードの普及	促進	計画	実施	継続	継続	継続	継続		
			評価							
② コンビニ交付の	② コンビニ交付の利用推進		計画	実施	継続	継続	継続	継続		
			評価							
 10. 活動(アウトプット)指標			スケジュール	令和7年	度 令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
① マイナンバーカードの保有枚数率		計画	83%	84%	85%	86%	87%			
算出方法 人口一	÷有効保有枚	数	実績							
			評価							
② コンビニ交付率算出方法 コンヒ		能か証明書を休祭し	計画	60%	63%	65%	68%	70%		
	ビニで交付可能な証明書全体発数÷コンビニ発行枚数		実績							
			評価				<u> </u>			

	- 1711-1774711	
令和7年度	年度目標	窓口での申請サポートや出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、円滑に手続きできる体制を整備するとともに、証明書の発行に際しては庁内設置のコンビニ交付端末の利用を推進し、今後の活用を促していく。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	引き続き窓口での申請サポートや申請機会の増加を目標とし、コンビニ交付 率を上げるための方法を検討・実行していく。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

2. 事業(取組)名称 キャッシュレス決済システムの導入による収納チャネルの多様化 事業コード(あれる) 戦略の 現金のみの取扱いの場合、市民等の公金支払に関して、対象のように対して、対象のように対して、対象のように対して、対象のように対して、対象のように対して、対象のように対して、対象のように対象の表現を表現される。	uば)	_							
戦略の 現金のみの取扱いの場合、市民等の公金支払に関して、理									
3. 現状と課題	視点 払時の負担等が発生し、不便である。								
行革の 現金管理に係る負担が発生するほか、収納チャネルの乏し 視点 失につながる恐れがある。									
4. 事業(取組)概要 収納窓口にキャッシュレス決済システムを導入し、公金収納における確保する。	多様な支	払手段を							
戦略の 日常で使用する決済手段を選択可能となり、市民等の公会 向上する。	日常で使用する決済手段を選択可能となり、市民等の公金支払の利便性が 向上する。								
行革の 視点 現金管理の負担が低減するほか、支払手段の拡充により る。	収納機会力	が増加す							
基本目標1 i 子育てしやすいま 基本的方向1 2働きながら子育 でができるまちづく 施策の方向		ながら安心し すてができる がくり							
6. 総合戦略での 基本目標2 - 基本的方向2 - 施策の方向 位置づけ]2	_							
該当する重点プロジェクト									
事業(取組)に関連するKPI									
7 行某士網での 向上 チャネルの多様		用した市税などの収納							
位置づけ	_(1)デジタルを活用した市税などの収 チャネルの多様化【再掲】								
8. DX推進計画と の関連性の有無 有									
9. 年次計画 スケジュール 令和7年度 令和8年度 令和9年度	令和10年度	令和11年度							
① キャッシュレス決済システムの導入・拡 計画 導入 拡充 拡充	拡充	拡充							
充 実績									
評価									
② 計画									
実績									
評価									
10. 活動(アウトプット)指標 スケジュール 令和7年度 令和8年度 令和9年度	令和10年度	令和11年度							
① キャッシュレス決済の利用割合 計画 5% 20% 40%	55%	70%							
算出方法 キャッシュレス決済利用件数÷公金 取扱件数 実績									
評価									
② 計画									
算出方法									

	こり、私の未	
令和7年度	年度目標	年度内に、主要な公金取扱窓口3か所(会計課・総合窓口課・税務課)にキャッシュレス決済システムを導入し、運用を開始する。
	取組実績	
	課題 ※9. 年次計画(取組項目) の評価と10. 活動(アウト プット)指標に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	主要窓口3か所における導入効果を検証しながら、取扱う公金の種類や導入窓口の拡充について検討する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	出先施設を中心に、キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を 段階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を段階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を段階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1 坦	当課名	槽	報政策	課								
	: 当 		におけるeLTA)		·			車業	コード(おか) (+ ")	_	
∠. ∓	来(巩旭/石彻	戦略の										
3.	状と課題	視点	公金を納付する	るため	に市	役所や	か金融	機関等の	窓口に出向	可く必要が	ある。	
		行革の 視点										
4. 事	葉(取組)概要	公金収納	こおけるeLTAX	Xの導	入を	進める	5.					
5. 斯]待される効果	戦略の 視点	窓口に行かなくても公金を納付できるため、市民などの利便性が向上する。									
		行革の 視点	る。	公金収納などの対応に係る事務処理の効率化および職員の負担軽減に繋が る。								
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本区	的方向	01		たながら子育 できるまちづく	施策の方向		ながら安心し すてができる がくり	
6. 総位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト									
		事業(取組	事業(取組)に関連するKPI				_	_				
7. 行	「革大綱での		_1.効率化・重点化に 向上	よる市屋	えサーと			-E-D	_(2)デジタル チャネルの多		活用した市税などの収納 ;	
位置		方針	_3.財政健全化に向け	る財源	る財源確保 増上		項目	_(1)デジタル チャネルの多	レを活用した市税などの収納 多様化【再掲】			
	8. DX推進計画との 関連性の有無 有					·						
	9. 年次計画			スケジ	スケジュール 令和7年度 令和8年度 令和9年度			令和10年度	令和11年度			
1	eLTAXを拡充 (eL-QRの導)環境整備		画	検	討	準備	実施	実施	実施	
	(CL QIVO)				績 							
2					価 —— 画							
					績							
					価							
	 10. 活動(アウトプット)指標			スケジ	ュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	eLTAXを活用	用して納付て	できる公金の数	計	画	21	'牛	2件	6件	8件	10件	
		「AXに対応した る公金の種類の	ら納付書を発行で 数	実	績							
				評	価							
2				計	画							
	算出方法			実	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	eL-QRを活用した公金収納の活用に向けて、庁内の体制整備、対象公金の選定、システム改修・事務フローの見直しを行い、予算要求を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	eL-QRに対応するためのシステム改修を行い、eLTAXとシステム間で問題なく運用できることを確認するため団体連動試験を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	eL-QRを活用した公金収納を進め、eLTAXの利用を拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】					総合戦略実行		十画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画	
				No.		S39		No.		No.		
1. 担	当課名	É	治振興	課								
2. 事業(取組)名称		職場や家庭発し、気	共同参画の推進に向け			けて事業	事業コード(あれば) 1590					
3. 現状と課題		戦略の 視点	市民が性別や性の意識にかかわらず誰もが自分らしさを発揮して暮らすために、男女共同参画に対する意識向上が必要である。									
الراق		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	男女共同参画の推進に関する啓発・情報発信し、気運を醸成する。										
5 HF	(持六カス効甲	戦略の 視点	市民の幸福度向上やジェンダー平等の推進									
5. 期待される効果		行革の 視点	_									
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向]1		たながら子育 できるまちづく	施等の方向1 て		がきながら安心し 「子育てができる 環境づくり	
		基本目標2		基本的方向		12			施策の方向	12		
		該当する重	・ 直点プロジェクト									
		事業(取組		男性	の育体	取得	率					
7. 行 位置 [·]	- 革大綱での づけ	方針			項目							
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次	計画(取組功	頁目)	スケジュール		令和7年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1		推進に関す	こ関する啓発や情報		画	実	施	実施	実施	実施	実施	
	発信			美	績							
				評	価							
2				計	画							
			美	績								
			評	価								
10. 活動(アウトプット)指標				スケシ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	情報発信の回数			計	画	3	回	3回	3回	3回	3回	
	算出方法 広報	やHPで情報	発信した回数	美	績							
				評	価							
2	are the second			言	画							
	算出方法			美	ミ績							
				評	価							

令和7年度 年度目標		アンコンシャス・バイアスなどの男女共同参画社会づくりに関する啓発や情報発信を行う。						
	取組実績							
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由							
	今後の方向性・ 対応策							
令和8年度	年度目標							
	取組実績							
	課題							
	今後の方向性・ 対応策							
令和9年度	年度目標							
	取組実績							
	課題							
	今後の方向性・ 対応策							
令和10年度	年度目標							
	取組実績							
	課題							
	今後の方向性・ 対応策							
令和11年度	年度目標							
	取組実績							
	課題							
	今後の方向性・ 対応策							

【取約	狙シート】			総合戦略実行			画	行革大綱	実行計画	DX推進計画	
				No.		S40		No.		No.	
1. 担	当課名	教育総務課(学校給食共同調理場)	課							
2.事	業(取組)名称	栗東食材	の日の推進					事業	コード(あれ	າば) 172	8.1729
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	給食提供により 用し、地域の自然	児童・ 然、文化	生徒の 化、産業)心身(業、地)	の健全 全地消	とな発達を保 質の理解を深	Z進するとと Rめる必要か	さもに、地場がある。	産物を活
		行革の 視点									
4. 事	葉(取組)概要	学校給食	において可能な	限り:	地場產	を物を	活用	し、食育を	推進する。		
5 #F]待される効果	戦略の 視点	心身の健全な	発達は	うよび	地元/	への愛	愛着			
J. ₩	可でするが来	行革の 視点									
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1		ざもがいきい うつまちづくり	施策の方向		力を育む教
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向]2			施策の方向]2	
		該当する重	点プロジェクト								
		事業(取組)に関連するKPI		給食	の地場	産物	の使用割合			
	7. 行革大綱での 位置づけ 方針							項目	•		
	X推進計画との 性の有無	無									
	9. 年次詞	計画(取組項	頁目)	スケシ	ブユール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	給食における	地場産物の	使用	計画		実施		実施	実施	実施	実施
					編						
					M価 ———						
2					├画 :績						
					価						
	10. 活動(アウトプット	-)指標	スケシ	ブユール	令和7	'年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	給食の地場産			計	画	30	%	30%	30%	30%	30%
	算出方法 地場	産物食材数÷	全食材数	美	ミ績						
				評	価						
2	算出方法			言	画						
	开山기広			美	ミ績						
				評	栖						

令和7年度	年度目標	業者を通じて地場産農産物の生産状況を把握し、可能な限り地場産の農産物を使用する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】					実行	計画	行革大綱	実行計画	DX推進計画		進計画
				No.		S41		No.		No.		
1. 担	当課名	子	育て支援	課								
2. 事	業(取組)名称	子どもの	居場所の数(学	童)				事業	コード(あれ	いば)	(1)	3302
3 TE	状と課題	戦略の 視点	子どもの成長な提供が必要では)就労	状況	等に応	なじた全て	の子どもに	対す	る、居	号場所の
J. 47		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	学童保育 確保を行	所入所希望者に う。 -	対し	て、放	課後	や長期	期休暇中に	子どもがる	安全に	:過ご	せる場の
5斯	待される効果	戦略の 視点	利用ニーズにバ るまちづくりか				听の確	望保を行う。	ことで、市会	全体で	ご子育	てを支え
3.70	110 6 1 7 6 70 70 70 70	行革の 視点										
		基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向		9 1		ごもがいきい うつまちづくり	施策の方向	9 1	すべての子どもの 育ちの支援	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12		
		該当する重	直点プロジェクト									
		事業(取組)に関連するKPI		子ど	もの居	場所	の数の提供				
位置	*	方針						項目	,			
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	(無										
	9. 年次	マ計画(取組攻	頁目)	スケジュー		令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	長期休暇中の	の子どもの居	 場所づくりの	言	画	調査	·研究	調査·研究	検討	検	討	検討
	検討			実	穩							
				層	価							
2				言	画							
				美	ミ績							
				評	栖							
	10. 活動	(アウトプット	~)指標	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	学童保育所加	 色設数		計	画	22	施設	25施設	25施設	25	施設	25施設
	算出方法 各	年4月1日時点(の施設数にて積算	美	淫績							
				評	価							
2				1	画							
	算出方法			美	淫績							
				計	価							

令和7年度	年度目標	・長期休暇中の学童保育所等の設置について、運営事業者や利用者へアンケートを実施
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】				総合	今戦略	実行詞	抽	行革大綱	実行	計画	DX推進計画		
					No.		S42		No.			No.		
1. 担	!当課名		子育	育て支援	課									
2. 事	業(取組)名	称	子どもの	居場所の数(児童	童館)				事業		ヾ(あれ	いば)	- 3	3351
3 飛	状と課題		戦略の 視点	各小学校区に児が安心して遊べる										官が子ども
٥. ا			行革の 視点											
4. 事	葉(取組)概	要		不安を軽減し、 ? かな育ちを支援			心して	て伸て	が伸びと遊	ぶ場る	を提供	ŧしす [、]	ること	こで、子ど
5. 期	待される効	果	戦略の 視点	子どもが安心し がり、居場所と										
			行革の 視点											
			基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本的方向1 きと育			ごもがいきい うつまちづくり	の方向	9 1	の子どもの 支援			
6. 総 位置	合戦略での づけ		基本目標2		基本	的方向	为方向2			施策の方向2				
			該当する重	点プロジェクト										
			事業(取組)に関連するKPI		子ど	もの居	場所	の数の提供					
	7. 行革大綱での 位置づけ		方針						項目		•			
	X推進計画と 性の有無	との	無											
	9. 年	E次計	計画(取組項	[目]	スケジ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	子どもたち	5 に ほ	 建全な遊びの場や機会を		計画		実	施	実施	実	施	実	施	実施
	提供(児童	館等	の機能・役	割の強化)	美	績								
					評	価								
2						画 績								
						·····································								
	10.活	動(フ	アウトプット	-)指標	スケジ	_{ブユール}	令和'	7年度	令和8年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	児童館施訓	没数			뒴	画	9旅	設	9施設	9疗	拖設	9旅	設	9施設
	算出方法	各年4	4月1日時点 <i>0</i>	の施設数にて積算	実	績								
					評	価								
2	利用率の約	推持			計	画	427	.5%	427.5%	427	7.5%	427	.5%	427.5%
		童館	て(包括)支援 こおける利用 らの利用率を	センターおよび児 実績を基に人口推 算出	実	注								
₩R5			利用延べ人数/	評	価									

令和7年度	年度目標	児童館利用者のアンケート調査を実施 小中学生向けの事業の充実
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】			総合戦略実行計画 行草				行革	革大綱実行計画				DX推進計画		
			No.		S43		No.				No.			
1. 担当課名	生	涯学習	課											
2. 事業(取組)名称	子どもの	居場所の数					Į	事業:	コート	゛(あれ	いば)	1	628	
3. 現状と課題	戦略の 視点	放課後の子ども び高齢化が課題			くりと	地域の	か方との	の交流	充が図	れる	が、スク	タッフ	の減少及	
J. 列小CMA	行革の 視点													
4. 事業(取組)概要	各小学校区協力の基に	☑単位で小学校の □、スポーツや体験	体育的 使·文化	館など 比活動	を活用、子ど	引して、 もと均	、放課後 也域住民	後の原 民との	号場所)交流	を設 などを	ナ、地はを行う	或のス 。	ションの	
5. 期待される効果	戦略の 視点	放課後の子ども	もの周	場所	づくり	ノと地	域のフ	方との	の交流	الأه				
0.73,13,0,13,0,13,11	行革の 視点				F0.7.11									
	基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1	_3子と きと育	ざもがいき つまちつ		施策(の方向]1	すべて 育ちの	の子どもの 支援	
 6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本	的方向	12				施策(の方向]2			
	該当する重	点プロジェクト			2.子ども			子育	て支	援プ[コジェ	クト		
	事業(取組)に関連するKPI		子ど	もの居	場所の	の数							
7. 行革大綱での 位置づけ	方針						項目							
8. DX推進計画との 関連性の有無	無							-						
9. 年次計	画(取組項目)		スケジ	^ブ ユール	令和7	7年度	令和8	年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度	
か課後子ども教	公 会		뒴	画	実	施	実抗	施	実	施	実	施	実施	
が味度」とり	X <u>∓</u>		実	績										
			評	価										
2			計	画										
			美	注 績										
			—— 評	価										
10. 活動(7	10. 活動(アウトプット)指標			^ブ ユール	令和7	7年度	令和8	年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度	
① 実施する小学校		討	画	8核	区区	9校	<u>X</u>	9杉	X	9核	区	9校区		
算出方法			美	績										
			評	価										
2			計	画										
算出方法			実	績										
			≣ज	価										

_11. 中度日標と	- 松旭/火木	
令和7年度	年度目標	現8小学校区で実施
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	拡大
令和8年度	年度目標	9小学校区で実施
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	継続
令和9年度	年度目標	9小学校区で実施
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	継続
令和10年度	年度目標	9小学校区で実施
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	継続
令和11年度	年度目標	9小学校区で実施
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	継続

【取約	狙シート】				総合戦略		実行詞	+画	行革大綱	実行計画	画	j DX推		進計画	
					No.		S44		No.			No.			
1. 担	当課名		障/	がい福祉	課										
2. 事	譯(取組)名和	尓	子どもの別一時支援	居場所の数(放詞)	果後等	デイ	サーヒ	ゴス、	日中事業	コード(あれ	ば)			
3. 現	状と課題		戦略の 視点	支援を必要とす。 こと、また、保護 要である。											
			行革の 視点												
4. 事	葉(取組)概要	要		る児童などに対 動や創作活動を行											
5. 期	引待される効男	果	戦略の 視点	放課後や長期はどもの育ちを支	木暇中	っに子 まち	どもか	が安全	èに過ごせ 待できる。	る場所 [:]	を確	保する	5 <i>-</i> 2	とで、子	
0.74	3,13 € 1 3 3,13		行革の 視点												
			基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる	基本	的方向	1	_3子と きと育	ごもがいきい うつまちづくり	施策の	方向		べてで	の子どもの 支援	
6. 終 位置	合戦略での づけ		基本目標2		基本	的方向	12			施策の	方向	12			
			該当する重	点プロジェクト											
)に関連するKPI		子ど	もの居	場所	の数の提供								
位置			方針						項目						
	X推進計画と 性の有無	<u>(</u> 0)	無												
	9. 年	次計	計画(取組項目)		スケジュール		令和7	7年度	令和8年度	令和9年	度	令和10年	丰度	令和11年度	
1	障がいのあ	ころほ	音の民場	所の充実	뒴	-画	実	施	実施	実施	<u>.</u>	実施	<u> </u>	実施	
		ולים	L重Vハロ物	1/10/76 X	美	績									
					評	価									
2					뒴	画									
						績									
					評	価									
	10. 活i	動(ア	アウトプット	·)指標 —————	スケジ	ブユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年	度	令和10年	丰度	令和11年度	
1	放課後等テ				뒮	画	14事	業所	15事業所	16事業	新	17事業	新	19事業所	
			1月1日時点の ごスの事業所	D放課後等デイ 数	美	[績									
					評	価									
2	日中一時支				뒴	画	51事	業所	51事業所	51事業	新	51事業	ണ	51事業所	
	算出方法	合牛4 業所の	1月1日時点の D事業所数	D日中一時支援事	美	績									
					評	価									

令和7年度	年度目標	第4期障がい児福祉計画策定にあたり、障がい児のサービス利用者等へのアンケート調査を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】				総	合戦略	実行詞	十画	行革大綱	実行計画	Dλ	〈推入	生計画
					No.		S45		No.		No.		
1. 担	当課名		子育	育て支援	課								
2.事	業(取組)名和	称	ファミリー	-・サポート・セン	ター	事業			事業	コード(あれ	ルば)	3	376
3. 現	状と課題		戦略の 視点	特に若い子育て 出するケースが かな成長を支え	多い。	子育で	環境	の充実	ミを実現する				
			行革の 視点										
4. 事	業(取組)概	要	子育ての打ちる相互打	援助を受けたい 援助活動に関す	者とる連	当該提 絡·調	援助を 整を1	行い テう。	たい地域の	の者とが会	員登録	し、i	育児にお
5堆	待される効!	₹ -	戦略の 視点	多様化する就会の転出抑制やは						援を行うこ	とで、	子育	て世帯
31 /4	110 0 1 1 0 7 7 7		行革の 視点										
		1	基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる					ごもがいきい うつまちづくり	施策の方向		すべての子どもの 育ちの支援	
6. 総 位置	合戦略での づけ	1	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12		
		Ē	核当する重	点プロジェクト									
	7		事業(取組))に関連するKPI									
	7. 行革大綱での 位置づけ		方針						項目	-			
	X推進計画と 性の有無	≤の	無										
	9. 年	次計画	画(取組項	[目]	スケシ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	Ŧ度	令和11年度
1	事業と会員	確保 [に向けた	周知	計	画	実	施	実施	実施	実施	į	実施
					美	績							
					評	価							
2					計	画							
					美	淫績							
					죔	栖							
	10. 活	動(ア	ウトプット	·)指標	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	F度	令和11年度
1	延利用者数	攵			言	画	20	6人	403人	591人	773.	人	950人
		各年3月 て算定	月31日時点	の延利用者数に	実	深積							
					評	価							
2	会員登録者				言	画	14'	7人	288人	422人	552.	人	679人
		各年3月にて算る		の会員登録者数	美	ミ績							
					評	価							

令和7年度	年度目標	令和7年度の会員登録者数を確保するため、広報やホームページを活用し、 周知を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	【取組シート】						実行記	抽	行革大綱実行計画		DX推進計画	
					No.		S46		No.		No.	
1. 担	当課名		発	達支援	課							
2. 事	業(取組)名	称	子どもに応	じた関わり方を	是案す	る発達	達相談	の実	海 事業	コード(あれ	いば)	0360
3 張	状と課題		戦略の 視点	発達の遅れやき 者がいる。	発達障	章がい	を有っ	するヨ	子どもの子	育てに不安	そを抱えて	いる保護
3. %			行革の 視点									
4. 事	業(取組)概	要		や発達相談、子。 段階をとらえ、 -								て、子ど
5堆	うけい おおり おおれる 効!	E	戦略の 視点	保護者の子育で	てへの)不安	を軽減	咸する	ることがで	きる。		
J. 74.	行革の視点											
			基本目標1	i 子育てしやすいま ちをつくる		的方向	1	_3子と きと育	ごもがいきい 「つまちづくり	施策の方向		ての子どもの の支援
6. 総 位置	合戦略での づけ		基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12	
			該当する重	点プロジェクト						_		
			事業(取組)に関連するKPI								
位置	7. 行革大綱での 方針 方針								項目			
8. D 関連	X推進計画と 性の有無	≤の	無									
	9. 年	次計	計画(取組項	頁目)	スケジュール		令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	発達相談の	りまね	(h		뒴	画	実	施	実施	実施	実施	実施
	76年1日欧、) 	e.		美	績						
					評	価						
2	ペアレント	・トレ	ーニングの)実施	뒭	画	実	施	実施	実施	実施	実施
				- 110		績						
					評	<u>·</u> 価						
	1		アウトプット		スケシ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	中学校·高等	発達核 等学核	を査の実施作 なの児童生徒	‡数(就学前・小 まおよび保護者)	뒭	画	1,00)0件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
	算出方法	発達	相談・発達核	食査の実施件数	実	績						
					評	価						
② ペアレント・トレーニングの参加人数		討	画	10	人	10人	10人	10人	10人			
		プロ: 加人		加した年間の参	美	績						
					評	価						

令和7年度	年度目標	子育てへの不安に早期に対応できるよう、関係機関との連携を図り、迅速に 発達相談を進める。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【	祖ン一ト】			総合戦略美行計画			丁辛 天純	美仃計画	DX推進計画			
				No.		S47		No.		No.		
1. 担	当課名		住宅	課				<u>'</u>				
2.事	業(取組)名称	木造住宅の	無料耐震診断·耐震	改修]	L事へ(の補助	の実施	事業	コード(あれ	นส์)		841
2 租	状と課題	戦略の 視点	安全な住環境・	住宅	ストッ	クを	確保 3	する必要が	ある。			
٥. الم		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	木造住宅	の無料耐震診断	f、耐 扂	夏改修	江事	へのネ	補助金の交	で付を実施	する。		
5惟	待される効果	戦略の 視点	地震による被災 安全な住宅スト				によ	り住環境の	の向上。			
J. #/	明でするが来	行革の 視点										
		基本目標1	II住みよいまちを つくる	基本	的方向]1	支える	な暮らし方を サティスナブ ちづくり	施策の方向			住環境の整
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12		
		該当する重	重点プロジェクト						_			
		事業(取組)に関連するKPI									
位置		方針						項目	_			
	X推進計画との 性の有無	か 無										
	9. 年次	次計画(取組功	頁目)	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度
1	木造住宅の	無料耐震診断	f·耐震改修工	計	画	実	施	実施	実施	実法	施	実施
	事への補助の	の実施		美	績							
				評	価							
2				計	画							
				実	績							
				平	価							
	10. 活動)(アウトプット	~)指標	スケジ	ジュール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度
1	住宅耐震化	率		計	画	95	5%	-	1	-		97%
	算出方法 総と計	務省「住宅・土地)をベースにした 値	統計調査」(5年ご -滋賀県による推	美	績							***************************************
		<u></u>		評	価							
2				計	画							
	算出方法			美	:績							
				 評	価							

令和7年度	年度目標	木造住宅の無料耐震診断、耐震改修工事への補助金の交付を実施する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	祖シート】			総合戦略実行計画			行革大綱	DX推進計画				
				No.		S48		No.		No.		
1. 担	当課名		住宅	課								
2.事	業(取組)名称	開発時の	指導等による緑	地面	積の確	隺保		事業	コード(あれ	いば)		841
3 租	状と課題	戦略の 視点	風格のあるまた	ちづく	くりを	実現し	てい	く上で、緑	が担う役割	削が重	要で	ある。
٥. ا		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	開発時の	指導等により緑	地面	積を確	催保を	·図る	0				
5 斯	待される効果	戦略の 視点	緑地の充実									
3.74		行革の 視点										
		基本目標1		基本	的方向	9 1	支える	な暮らし方を サティスナブ さづくり	施策の方向		良好な住環境の整 備促進	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本	的方向	92			施策の方向	句2		
		該当する重	重点プロジェクト						_			
		事業(取組)に関連するKPI	•								
7. 行 位置	革大綱での づけ	方針	-					項目	•	_	-	
	X推進計画との 性の有無	か無										
	9. 年》	欠計画(取組功	頁目)	スケ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度
1	開発時の指	遵等により緑	地面積を確保	Ē	画	実	施	実施	実施	実力	拖	実施
	100000000000000000000000000000000000000	13 13 12 0 1 2 1 3		身	ミ績							
				F	平価							
2				Ē	画							
					ミ績 							
	10 17 =	-	\1K1#		平価	∆ 1⊓1	7 / ntr	△130 左束	^100 /cm	A TO 4		A 104 4 F
	Ī	か(アウトプット 			ジュール		7年度					令和11年度
1	(京出方法)	也完了検査の	実施率	Ē	愐	10	0%	100%	100%	100)%	100%
	утщ/Ј/Д			ᢖ	ミ績							
				F	平価							
2	佐山土、			Ē	愐							
	算出方法			ᢖ	ミ績							
				F	平価							

令和7年度	年度目標	開発時の指導等により緑地面積を確保する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【月又和	祖ン一ト】					総合戦略美行記		行事大純	美仃計凹	DX推;		進計凹
				No.		S49		No.		No.		
1. 担	当課名	道	路·河川	課						-		
2.事	業(取組)名称	都市計画	道路の整備					事業	コード(あれ	いば)	081	7.0843
3 H	状と課題	戦略の 視点	国道1号8号等 る。	の幹	線道路	各や補	助幹	線道路に	いて交通	混雑カ	発生	Eしてい
J. 191		行革の 視点										
4. 事	葉(取組)概要	都市計画	道路等の整備									
5堆]待される効果	戦略の 視点		都市計画道等の幹線道路の整備により交通分散が図られ交通沿期待。歩行者の安全確保。							昆雑	の緩和が
5. 74.		行革の 視点										
		基本目標1	II住みよいまちを つくる	基本的方向		<u>1</u> 1	支える	な暮らし方を サティスナブ ちづくり	施策の方向			住環境の整
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本	的方向]2			施策の方向	92		
		該当する重	重点プロジェクト									
		事業(取組)に関連するKPI									
7. 行 位置 [·]	i革大綱での づけ	方針			ļ			項目	,			
	X推進計画との 性の有無	無無										
	9. 年》	欠計画(取組項	頁目)	スケジュール		令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	都市計画道	路等の整備	等の整備		計画 実績		施	実施	実施	実放	包	実施
				評	価							
2				뒴	画							
				美	績							
				福	価							
	10. 活動	カ(アウトプット	-)指標	スケジ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	出庭林線の			뒴	画			0.4km				
	算出方法 供	用延長		美	績							
				評	価							
2		の整備(km) :用延長			画	0.5	km	0.3km				
					·順 ·価							
3	③ 小柿苅原線の整備(km)				画				0.1km			
		用延長			續				V. IKIII			
				-	·····································						-	

令和7年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進									
	取組実績										
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由										
	今後の方向性・ 対応策										
令和8年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進									
	取組実績										
	課題										
	今後の方向性・ 対応策										
令和9年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進									
	取組実績										
	課題										
	今後の方向性・ 対応策										
令和10年度	年度目標										
	取組実績										
	課題										
	今後の方向性・ 対応策										
令和11年度	年度目標										
	取組実績										
	課題										
	今後の方向性・ 対応策										

【月X养	俎ン一ト】			総合戦略美行計画		丁辛 天純	DX推進計画						
				No.		S50		No.		No.			
1. 担	当課名	環	環境政策	課				<u>'</u>					
2.事	業(取組)名称	生ごみ減量	量化の推進(家庭用	月生ご	か処理	単機設	置補即	事業	コード(あれ	いば)		432	
3 租	状と課題	戦略の 視点	生ごみ減量化のさせることで、									かを充実	
5.5	5-17 C BANAS	行革の 視点											
4. 事	業(取組)概要		家庭から出る生 に対し、補助金を								1理容	器設置	
5 期	待される効果	戦略の 視点	各家庭からの生	 きごみ	か排	出が氵	咸少す	する。処理資	費用などの	経費な	バ減く	少する。	
J. 74.	IN C 1 V O W/K	行革の 視点											
		基本目標1	Ⅱ 住みよいまちを つくる	基本	的方向]1	_1多様な暮らし方を 支えるサティスナブ ルなまちづくり		施策の方向		良好な住環境の整備促進		
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	句2			
		該当する重	直点プロジェクト						_				
		事業(取組)に関連するKPI										
位置		方針						項目					
	X推進計画との 性の有無	無											
	9. 年次記	計画(取組項	頁目)	スケジュール		令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1()年度	令和11年度	
1		の推進(家属	庭用生ごみ処理	計	画	実	施	実施	実施	実	施	実施	
	機設置補助)			実	績								
				評	価								
2				計	画								
				美	績								
				評	価								
	10. 活動(アウトプット	~)指標	スケジ	^デ ュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度	
1	家庭用生ごみ数	処理機設置	補助の補助件	計	画	30)件	35件	40件	45	件	50件	
	算出方法 実績	ベース		実	績								
				評	価								
2				計	画								
	算出方法			美	績								
				評	価								

令和7年度	年度目標	市広報誌や自治会回覧などで情報発信し、補助件数を増加させる。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【月又作	祖ン一ト】		総官	ゴ 戦略	美仃語	T凹_	仃单入	柳 夫(丁)	i 美 仃計画		ノス推	進計画		
					No.		S51		No.			No.		
1. 担	当課名				<u>——</u> 課							!		
2.事	業(取組)名称	称		会の実現を目指電システム等設						業コート	ヾ(あれ	いば)		452
3. 現	状と課題	•	戦略の 視点 行革の	カーボンニューを図る必要があ		レを目	指し	た取締	組みを実	施しよう	うとす	る世	帯の; 	定住促進
			視点											
4. 事	業(取組)概要	要	住宅用太 部を補助	陽光発電システ. する	ム等語	設置ま	らよび	省エス	木家電購	入をする	る市民	民に対	し、費	貴用の一
5. 期	待される効!	果	戦略の視点	再生可能エネル	レギー	-の導	入補即	b、省	エネ家電	購入補	助に	よる定	全住仍	≌進
			行革の 視点											
			基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	1	支える	な暮らし方 サティスナ [・] ちづくり	を ブ 施策(の方向		良好な住環境の整備促進	
6. 総位置	6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本	的方向]2			施策	施策の方向			
			該当する重	点プロジェクト										
			事業(取組)に関連するKPI		市内	購買率	<u> </u>						
位置			方針			-			項目					
8. D 関連	X推進計画と 性の有無		無											
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	スケジュール		令和7	7年度	令和8年	度 令和9	9年度	令和10	0年度	令和11年度
1					計	画	実	施	実施	実	施	実	施	実施
	太陽光発電	シス	、テム等設施	置補助	実	績								
					評	価								
2	省エネ家電	離入	浦田		計	画	実	施	実施	実	施	実	施	実施
	日工作水电	S⊼ I'J ∕∖	(IIII)		美	績								
					秤	価								
	10. 活	動(ア	^ア ウトプット	·)指標	スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8年	度 令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	補助件数				計	画	10	件	10件	10	件	10	件	10件
			七発電システ. 也設置補助件	ム設置補助件数 数	美	績								
					評	価								
2	補助件数				計	画	90)件	90件	90)件	90	件	90件
	算出方法	省エネ庫)の	家電(エアコ 購入補助件数	ン、冷蔵庫、冷凍数	美	績								
					評	価								

令和7年度	年度目標	①太陽光発電システム、蓄電池の設置補助事業を実施 ②省エネ家電購入補助事業を実施
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1 tp	 当課名	情報政策	課 関係所属:	批珊	吉却≠	► 日口打7	う品	届		•				
	<u> </u>			ᆂ	日刊で	<u> </u>	、ノバル		コード(あオ	21ギ)				
۷. 争	木(拟阻)有例	戦略の	地域の地理情報	記をか	十批	:=Д.\Pi	な単化可に				2 1	ニシテナハナン		
3. 現	状と課題	視点	ければ得ること	こがで	きず、	、不便	であ	る。						
		行革の 視点	地理情報を得る必要がある。		に来	けした	さ 中氏	・寺に対応	する職員(り業務負	担"	を軽減す		
4. 事	業(取組)概要	公開型GI	Sを導入するこ 	ることで、市の保有する地理情報について、広く民間に提供する。										
5. 斯	待される効果	戦略の 視点	地理情報の取得る。	得に係	る来	庁の知	負担な	が削減され	、市民等の	利便性	Eが[句上す		
J. 70	HI CIVOWA	行革の 視点	に共有すること	来庁者への対応の負担軽減につながるほか、非常時等に情報をリアルタイ. に共有することができる。 										
基本目標1 つくる			II住みよいまちを つくる	基本的	的方向]1	支える	な暮らし方を サティスナブ :ちづくり	施策の方向1		良好な住環境の整 備促進			
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2	_	基本的	的方向	12		_	施策の方向	句2		_		
	該当する重点プロジェクト								_					
		事業(取組)に関連するKPI				_	_						
7. 行 位置 [·]	<u></u> 革大綱での づけ	方針	_1.効率化・重点化に 向上		る市民サービスの 項目 (3)行政データの公開と流						と活	用の推進		
	X推進計画と 連性の有無													
9. 年次計画				スケジ	ュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	年度	令和11年度		
1	小開型CIS	システムの導		計	画	検	討	実施	拡充	拡充	<u>.</u>	拡充		
	ムが上の口	- // 40/-	, AZIII	実	績									
				評	価									
2				計	画									
				評	価									
	10. 活動)(アウトプッ	ト)指標	スケジ	ユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	年度	令和11年度		
1		システムへの		計	画	_	_	300件	1700件	1900)件	2100件		
	算出方法公民	開型GISシステ	ムへのアクセス数	実	績									
				評	価									
2	公開する地			計	画		_	10件	15件	204	4	25件		
		Sシステムに搭 計数	載する公開情報の	実	績									
				評	価									

令和7年度	年度目標	公開型GISの導入に向けた庁内ワーキンググループを設置し、公開する情報の精査や、システムに求める機能等を整理し、仕様を定める。
	取組実績	
	課題 ※9. 年次計画(取組項目) の評価と10. 活動(アウト プット)指標に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	公開型GISの導入のため、業者選定を実施する。都市計画情報等の利用者 ニーズの高い情報を中心に、公開する情報の登録を行ったうえで、年度内に 運用を開始する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段 階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段 階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段 階的に拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	狙シート】		総	合戦略	実行詞	' 画	行革大綱実行計		l画 DX推		進計画		
					No.		S53		No.		No.		D-28
1. 担	当課名		É	治振興	課								
2. 事	業(取組)名和	尓	Wi-Fi環均	竟の整備					事業	コード(あれ	いば)	()293
3 租	状と課題		戦略の 視点	地域におけるV く必要がある。		i環境を	を向」	こさせ	ることで、	市民の利何	更性向]上に	努めてい
J. 15T	51八Cp本腔		行革の 視点	_									
4. 事	業(取組)概要	更		ミュニティセンタ イセンターの利便							整備す	けるこ	とでコ
5. 斯	待される効果	₽ .	戦略の 視点	コミュニティセ のデジタル化の			便性	句上、	コミュニテ	イセンター	-を拠	点と	Jた地域
31 /4.	110 (110 (100))		行革の 視点	_									
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向]1	支える	な暮らし方を サティスナブ :ちづくり	施策の方向		良好な住環境の整 備促進		
6. 総 位置	合戦略での づけ		基本目標2		基本的方向		12			施策の方向	12		
			該当する重	点プロジェクト									
			事業(取組)に関連するKPI									
7. 行革大綱での 方針 方針							項目	_					
	X推進計画と 性の有無	:の	有										
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	2.5			'一への市民が	Ē	画	調	查	準備	実施	実	施	実施
	利用できる	WI-	FIの整備		身	ミ績							
					喜	平価							
2					Ē	抽							
						ミ績							
	10 7	£1 /—	3 - 1 -01	\1\tim		平価	۸۲۵۶	7 / n'r	△13.0 / 5 m	△100/m	A T	0 	∧ 104.4 fr its
			?ウトプット 	・)指標 ミュニティセン		ジュール 			令和8年度				令和11年度
1	ター(センタ	7—娄	女)	したコミュニティセ		十画)	9施設	9施設	9旅	酸	9施設
		ンター		0,000		₹績							
					言	平価							
2	在山上				Ē	抽							
	算出方法				身	₹績							
					言 ²	平価							

令和7年度	年度目標	市内各コミュニティセンターにコミセン利用者が使用しやすいWi-Fiについて、設置予定設備の確認や管理運営団体との調整を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	取組シート】					実行詞	' 画	行革大綱実行計画		DX推進計画		進計画
				No.		S54		No.		No.		
1. 担	当課名	₽	寿福祉	課								
2. 事	業(取組)名称	いきいき	百歳体操の普及	啓発				事業	コード(あれ	いば)	()356
3 II	状と課題	戦略の 視点	体操をきっかけりを推進する必				同士	つつながり	りとセルフ	ケアに	よる	健康づく
J. 15T	51八Cpx/(送	行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		身近な会館等で 支援を行う。	で地域	住民:	が主体	本とな	って健康で	づくりが行	えるよ	う立	ち上げ支
5惟	待される効果	戦略の 視点	健康寿命の延付合い	伸お。	はび住	民同:	<u></u> 士のこ	つながりが	深まること	による	見	守り、支え
J. 74.	11707000000000000000000000000000000000	行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ 住みよいまちを つくる	基本	的方向	9 1		がいきいき できるまち	施策の方向			いきいきと るまちづくり [
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本的方向]2			施策の方向	12		
		該当する重	重点プロジェクト						_			
		事業(取組)に関連するKPI		健康	寿命の	延伸					
7. 行革大綱での 方針 方針							項目	_				
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次	計画(取組項	頁目)	スケシ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	→ -1-1π	体操の周知	1、継続団体へ	=	画	実	施	実施	実施	実施	包	実施
	の支援				績							
				評	呼価							
2				計	一画							
				——	ミ績							
				評	価							
	10. 活動	(アウトプット	~)指標 	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1		体操を実施	する団体の数	<u>-</u>	画	76	団体	77団体	77団体	78団]体	78団体
	算出方法			美	ミ績							
				詔	陌							
2				Ē	画							
	算出方法			美	ミ績							
				言	陌							

令和7年度	年度目標	出前トークのメニューにいきいき百歳体操を含め普及
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】	総	合戦略	実行詞	愐	行革大綱	実行計画	DX推		進計画		
				No.		S55		No.		No.		
1. 担	l当課名	タ	除年金	課								
2.事	業(取組)名称	データへ	ルス計画に基づ						コード(あれ			6.1958
3 瑪	状と課題	戦略の 視点	今までの経緯と り巻く環境変化							上会情勢	や仮	建康を取
<u> </u>	ор (— рис	行革の 視点										
4. 事	專業(取組)概要	国民健康(性腎症重症	保険加入者に対す 定化予防事業、重複 -	る特別 複・頻	定健康 回受診	診査、 渚等	特定的方問指	呆健指導、受 議事業、節	き診率・実施 目歯科健診	率向上対	対策、 実施	、糖尿病
5. 期]待される効果	戦略の 視点	国民健康保険が 費の適正化	加入者	当の健	康の位	保持!	曽進、生活(の質の維持	まおよび	向_	L、医療
0174		行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ 住みよいまちを つくる	基本	的方向	1		がいきいき できるまち	施策の方向	31 暮	誰もがいきいきと 暮らせるまちづくり の推進	
6. 終 位置	合戦略での づけ	基本目標2	2	基本	的方向	12			施策の方向	12		
		該当する重	重点プロジェクト									
		事業(取組)に関連するKPI		特定	建診受	診率	(国保特定例	建診)			
7. 行革大綱での 方針 ^一 位置づけ								項目				
	X推進計画と 性の有無	の無										
	9. 年	次計画(取組功	 頁目)	スケシ	ブュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度	令和11年度
1	# 共 中 ##= #	去宁 <i>(</i> 唐)公巫(公	 	=	画	実	施	実施	実施	実施		実施
	付足健認、1	寺定健診受診:	举问工对求	美	 [績							
				評	栖							
2				言	一画							
				美	震績							
				評	価							
	10. 活動	動(アウトプット	~)指標 ————	スケシ	ブユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	F度	令和11年度
1	特定健診受			計	一画	48.	7%	51.6%	54.5%	57.4	%	60.0%
	算出方法	法定報告値		美	淫績							
				評	価							
2				計	画							
	算出方法			美								
				評	陌							

令和7年度	年度目標	未受診者に対する受診勧奨通知について、引き続き対象者の心理特性に応じた勧奨素材を活用するとともに、若年層向けの勧奨通知や対象者の昨年度の特定健診受診 医療機関を明示するなど、工夫を凝らした受診勧奨を実施する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	狙シート】			総行	合戦略	実行詞	画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画	
				No.		S56		No.		No.		
1. 担	当課名	侹	康増進	課								
2. 事	業(取組)名和	予防歯科	の推進					事業	コード(あれ	いば)	427	
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	誰もが健康でい に向けた取り約					るために、う	予防医療の	推進など、	健康長寿	
0.19		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		で実施する「セノ することの必要								ケア」を併	
5. 斯	待される効気	戦略の 視点	適切なセルフク 周疾患の予防な									
		行革の 視点										
		基本目標1	Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	1		がいきいき できるまち	施策の方向	ゴ 1 暮らt	誰もがいきいきと 暮らせるまちづくり の推進	
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本的方向]2			施策の方向	12		
		該当する重	· 点プロジェクト	•					-	•		
)に関連するKPI		12歳 の割・		11)の	むし歯のな	い人				
7. 行 位置	革大綱での づけ			V/Ei			項目	l				
	X推進計画と 性の有無	無無										
	9. 年	次計画(取組項	[目]	スケシ	^ブ ユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	フッ化物を報発信(健康)		目した歯みがき方法の情			実	施	実施	実施	実施	実施	
	批元10()建	米找 用/			續							
				評	価							
2					画							
					: :/							
	10 活	 動(アウトプット	 、)		で価 ジュール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1					画		· · ~ 校	3校	9校	9校	9校	
	算出方法 小学校単位での実施の有無の確認											
					価							
2				計	画							
	算出方法			美	:績							
				 割	 価							

令和7年度	年度目標	①フッ化物を活用した歯みがき方法の情報発信を行う
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】	取組シート】				実行詞	 画	行革大網	実行計画	DX推	進計画
			No.		S57		No.		No.	
1. 担当課名	スポー	ツ・文化振興	課							
2. 事業(取組)名称	社会体育	施設の貸館業務	、各種	重事業	の実	施	事業	コード(あれ	າば) 1703	3,1706,1711
3. 現状と課題	戦略の 視点	新型コロナ流行 復しておらず、	うの影 市民	響を	受け、 [動習	減少	した利用を 鈍る恐れな	皆数がコロ: がある。	ナ禍前の物	忧態まで回
J. 5000000000000000000000000000000000000	行革の 視点									
4. 事業(取組)概要	市スポー [・] 実施	ソ協会を通じた	貸館	業務及	び利	用者	アンケート	でのニース	、把握、各种	重事業の
5. 期待される効果	戦略の 視点	スポーツを通じ	だ市	民の何	建康二	づくり	、交流・連	携機会の創	出	
אגנאנאני בייי	行革の 視点									
II住みよいまちを基本目標1 つくる			基本	的方向	1	_2誰もがい と活躍できる づくり		施策の方向		がいきいきと せるまちづくり 性
6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本	的方向	12			施策の方向	12	
	該当する重	点プロジェクト						_		
事業(取組)に関連するK				社会	体育旅	設年	間利用者数	ζ		
7. 行革大綱での 位置づけ	方針	_					項目			
8. DX推進計画との 関連性の有無	無									
9. 年次記	計画(取組項	[目]	スケジュール		令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
社会体育施設(実施	の貸館業務	、各種事業の	計画		実施		実施	実施	実施	実施
文 加也				績						
			評	価						
② 利用者アンケ-	-トの宝旃		計	画	実	施	実施	実施	実施	実施
13/13/13/13/23	1 07 50 118		美	績						
			評	価						
10. 活動(アウトプット	-)指標	スケジ	ジュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 利用者アンケー			計	画	81	%	81.5%	82%	82.5%	83%
施(内		者アンケートを実 こおいて27事業	実	績						
			評	価						
2				画						
算出方法				績						

令和7年度	年度目標	・施設のオンライン予約による利用者の利便性向上と利用促進を図る。 ・ニーズに応じた事業を展開することで、利用者の満足度向上を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	【取組シート】					実行計	画	行革大統	剛実行計画		X推	進計画	
				No.		S58		No.		No.			
1. 担	当課名	スポー	ツ・文化振興	課									
2.事	業(取組)名称	社会体育	施設の修繕・改作	修				事	美コード(あ	れば)	1	734	
3. 現	状と課題	戦略の 視点	建設から40年や整備をする。				もあ	り、安心、	安全に利用	できる	る施設	段の改修	
		行革の 視点											
4. 事業(取組)概要 老朽化した社会体育施設					繕·改	修							
5 斯	待される効果	戦略の 視点	老朽化する社会 心してスポーツ	会体育	が施設 り組む	を計画	動的なの場	な維持保 の確保・	全・改修を行 で実が図れ	ううこと る。	こで、	誰もが安	
3.74		行革の 視点											
基本目標1			Ⅱ住みよいまちを つくる	基本	的方向	n1		がいきいき できるまち	施策の方		誰もがいきいきと 暮らせるまちづくり の推進		
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2	_	基本	的方向]2	_		施策の方	句2			
		該当する重	点プロジェクト		_								
		事業(取組))に関連するKPI		社会	体育施	設年	間利用者	汝				
7. 行 位置	T革大綱での づけ	方針	_					項目					
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無				'							
	9. 年次計	十画(取組項	[目]	スケジ	シュール	令和7	年度	令和8年周	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度	
1	社会体育施設の	の修繕・改作	多		画	実力	拖	実施	実施	実	施	実施	
					:績 ·価	-							
2					画								
				実	:績								
				評	価								
	10. 活動(7	アウトプット	-)指標	スケジ	シュール	令和7	年度	令和8年周	令和9年度	令和1	0年度	令和11年度	
1	修繕・改修する	施設数		計	画	2施	設	2施設	2施設	2旅	設	2施設	
	算出方法 施設(か設備(備品)	やLED化も含む	実	:績								
				評	価								
② 利用者アンケートの満足度(%)				計	計画 61% (62%	63%	64	-%	65%		
	算出方法 各施設の予約時または利用時にアンケトを実施(市民体育館・野洲川体育館・治田西スポーツセンター・十里体育館5施設の平均値)			実	績								
				評	価								

令和7年度	年度目標	市民が安心、安全に運動・スポーツを楽しめるよう、老朽化した施設や器具の修繕を計画的に行う。令和7年度は栗東市民体育館(エントランス、ブラインド)、栗東運動公園テニスコートの修繕を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	且シート】		総合戦略到		実行詞	' 画	行革大約	剛実行計画	DX推	進計画		
				No.		S59		No.		No.		
1. 担	当課名	社	上会福祉	課								
2.事	業(取組)名称	地域福祉流	5動や地域づくり	、まち	づくり	へのま	を援	事業	美コード(あれ	uば)		
3. 現	状と課題	戦略の 視点	支援を必要と「ワーカーの資質動に取り組む」	質向上	と各							
		行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		活動や地域づく -の配置支援)	くり、ま	ちづ	くりへ	の参	画の仕組	みづくり(こ]ミュニティ	イソーシャ	
E #F	待される効果	戦略の 視点	住民主体の地域活動のサポートや支援者と支援を必要とする人との結びつきを通じて、必要な人に必要な支援が届く体制づくりとなる。									
J. M .	国立でもの対本	行革の 視点										
基本目標				基本	的方向]1		がいきいき できるまち	施策の方向	31 暮らt	誰もがいきいきと 暮らせるまちづくり の推進	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12	2	
		該当する重	直点プロジェクト						•	,		
	事業(取組)に関連するKF											
位置		方針						項目	,			
	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次	京計画(取組項	[目]	スケジュール		令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	断らない相談 リーチ	炎支援体制の	構築とアウト	計画		実施		実施	実施	実施	実施	
				評	価							
2	参加支援の発	定実		計	画	実施		実施	実施	実施	実施	
					———							
	10. 活動	(アウトプット	 ~)指標		で価 ジュール	令和7	7年度	令和8年度	を 令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	CSWの配置	 人数		計	画	3.	人	3人	3人	3人	3人	
	算出方法 市	内中学校区に1.	人の配置。	実	績							
					価							
2	Arter 11 and 12			計	画							
	算出方法			美	績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	相談支援の分析、課題を抽出し、複雑化・複合化した課題や制度の狭間にある人へ迅速に対応するため相談支援体制を充実させる。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

1. 担当課名	情報政策	課 関係所属:生		<u> </u>							
2. 事業(取組)名程	新 情報弱者	への配慮(デジタ	タルデバイ	/ド対領	₹)	事業	コード(あれ	いば)			
3. 現状と課題	戦略の 視点	インターネットな方との間に格差	≜がある。								
	行革の 視点	DXの推進によ される懸念があ)	じを図	る甲 ぐ、テ	・ンタルに	个慣れな力	か取り残		
4. 事業(取組)概		タル活用支援推 座を実施する。 	進事業な	どを記	用し、	、市民利用	施設等には	おいて、スマ	7市教室		
5. 期待される効!	戦略の 視点	情報機器の知識 まちづくりを推		力を高	らめる	ことにより	り、誰もがし	きいきと	暮らせる		
	行革の 視点		DXの推進による業務の効率化によって生み出された時間を、デジタルに 慣れな方に対し、アナログによる、きめ細かい対応を実施する。								
	基本目標1		基本的方	向1	_2誰も と活躍 づくり	がいきいき できるまち	施策の方向		いきいきと さまちづくり <u></u>		
6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本的方	向2			施策の方向	12			
	該当する重	点プロジェクト			•			.			
	事業(取組	事業(取組)に関連するKPI			等の	講座の開催	回数				
7. 行革大綱での 位置づけ	よる市民サー	-ビスの		項目	_(7)情報弱者 ド対策)	がくない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	ジタルデバイ				
8. DX推進計画との関連性の有無	有										
		スケジュール	や和	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
① 7.7.± 数 5	等の講座の閉	月/光	計画	美	施	実施	実施	実施	実施		
人人小教主	・サリ・神座リカ	HIE	実績								
			評価								
		へのきめ細かい で得られた時間	計画	美	施	実施	実施	実施	実施		
をさらに活			実績								
			評価								
10. 活動	か(アウトプッ	ト)指標	スケジューノ	令和	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
① スマホ教室	等の講座の開	뤾催回数	計画	15	50	15回	15回	15回	15回		
	算出方法 コミュニティセンター及び老人福祉センター等の市施設各1回										
2	2										
算出方法	実績										
			評価								

令和7年度	年度目標	スマホ教室等の講座を開催する。
	取組実績	
	課題 ※年次目標評価と数値目 標評価に乖離がある場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	スマホ教室等の講座を開催する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	且シート】			総合	今戦略	実行詞	計画	行革大綱	行革大綱実行計画		進計画	
				No.		S61		No.		No.		
1. 担	当課名	É	l治振興	課								
2. 事	業(取組)名称	ワーク・ラ	イフ・バランスにつ	ついて	[啓発	し、理	解を値	足進 事業	コード(あれ	uば)	1590	
3 現	状と課題	戦略の 視点	市民の生活の質力・バランスの									
ار د.		行革の 視点	_									
4. 事	業(取組)概要	ワーク・ラ	イフ・バランスに	対す	る理解	解を浮	Rめる	ため、啓発	きや情報発信	信を図る。		
5 期	 待される効果	戦略の 視点	生活の質が向上し、長期的な幸福感が高まる。 企業における生産性の向上、従業員の満足度向上。									
3. 知付される効木		行革の 視点	_									
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	9 1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向		まちに活力をもた らす産業の創出	
6. 総合戦略での 位置づけ		基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト									
		事業(取組)に関連するKPI		ワー	クライ	フバラ	シス登録企	業数			
位置		方針	_					項目				
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無										
	9. 年次記	十画(取組項	頁目)	スケシ	ブユール	令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	仕事と生活の記		間に合わせて、	計	画	実	施	実施	実施	実施	実施	
	啓発や情報発信	昌		美	績							
				評	価							
2				計	画							
				美	績							
				評	価							
	10. 活動(7	アウトプット	·)指標 ——————	スケシ	^ブ ユール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	情報発信の回答		☆(=) + □₩	討	画	2		20	20	2回	20	
	算出方法 HPヤ	くいい いっぱい いっぱい	発信した回数	美	績							
				評	価							
2	体 山>-			計	画							
	算出方法			美	[績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	仕事と生活の調和推進月間に合わせて、ワーク・ライフ・バランスに関する啓 発や情報発信を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】					総合戦略実行計			行革大綱	実行計画	DX推進計画		
					No.		S62		No.		No.		
1. 担	当課名		商工	観光労政	課								
2.事	業(取組)名科	你		先端設備の	か導 <i>]</i>	\支援			事業	コード(あ	nば)	0713	
3 TE	状と課題		戦略の 視点	速いスピードで ある。	変化	する	事業環	環境に	対応でき	る企業力の	D強化を図	る必要が	
5.9			行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要	要	先端設備	投資への支援									
5 斯	 待される効男	Đ.	戦略の 視点	新事業・新分野に挑戦する企業の増加。									
J. 74.	J. 知时で10000未		行革の 視点										
6. 総合戦略での 位置づけ			基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方[業者	中小企業・小規模事業者の経営基盤の 強化と市内商業の 活性化	
		-	基本目標2		基本	的方向	92			施策の方[
			該当する重	点プロジェクト		-					-		
- (-+-) (事業(取組))に関連するKPI		先端	設備等	導入	計画の認定	件数			
位置			方針	_					項目				
	X推進計画と 性の有無	(の)	無										
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	スケジ	^ブ ユール	令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	先端設備等	導入	計画の認	定	뒴	画	実	施	実施				
				-	実	績							
					評	価							
2					計	画							
					美	績							
					評	価							
	10. 活動	動(ア	'ウトプット	、)指標	スケジ	^ブ ユール	令和「	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
1	認定件数				討	画	18	件	18件				
	算出方法	先端設	機等導入計	画の認定件数	美	績							
					評	価							
2					計	画							
	算出方法				美	績							
					評	価							

令和7年度	年度目標	先端設備等導入計画を作成した中小企業者に対して市が認定することに よって、新規取得する償却資産に係る固定資産税の引き下げ等の支援を行 い、中小企業者の労働生産性の向上を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取絲	祖シート】					総合戦略実行計画			行革大綱実行計画			DX推進計画		
				No.		S63		No.			No.			
1. 担	当課名	商工	観光労政	課										
2. 事	業(取組)名称		相談	炎事業				事業	コード	(あれ	はば)	(706	
3 張	状と課題	戦略の 視点	事業経営や国ある。	·県·礻	うの制	度等の	の情報	暇が入りに	<<.p	内容·	や手続	たきカ	複雑で	
3. %		行革の 視点												
4. 事	業(取組)概要	相談会を	実施し、様々な	課題の)相談	に応し	 ざる。							
5 能	持される効果	戦略の 視点	各種補助や融る。	資の制	度等	につい	ハて木	目談でき、	スムース	ズな	手続き	が同	丁能とな	
J. #	明でルる効本	行革の 視点												
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	1 1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の)方向		中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化		
6. 総位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	体的方向2			施策の方			句2			
		該当する重	点プロジェクト						•					
		事業(取組)に関連するKPI	[創業	者数(3	正べ)		就美		者数			
7. 行 位置	 革大綱での づけ	方針	_	•				項目						
	X推進計画との 性の有無	無												
	9. 年次	計画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9	年度	令和10年度		令和11年度	
1	F	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				実	施	実施	実施	包	実	施	実施	
	りっとう経路	含なんでも相	談会」の実施	美	績									
				評	価									
2				計	画									
				美	績									
				評	価									
	10. 活動	(アウトプット	-)指標	スケシ	^ブ ュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9	年度	令和1(0年度	令和11年度	
1	相談件数			뒴	画	24	件	24件	241	件	24	件	24件	
		っとう経営なん 牛数	でも相談会」の相	美	績									
				評	価									
2				計	画									
	算出方法			実	績									
				評	価									

令和7年度	年度目標	「りっとう経営なんでも相談会」を実施し、事業計画や経営改善、人事・労務など様々な分野に対しての相談に応じ、課題の発見や解決策の提案を行う。また、関係機関や各種専門家とも連携して支援する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】				総合)戦略	実行詞	抽	行革大	綱実行	計画	DX推	進計画	
				No.		S64		No.			No.		
1. 担	当課名	商工	観光労政	課									
2. 事	業(取組)名称		空き店舗の	の活用	促進			事	業コー	ド(あれ	นば)	0707	
3. 現	状と課題	戦略の 視点	空き店舗対策にだめい創出を					也のみな	らず、	さらに	対象区域を	を拡げて	
		行革の 視点											
4. 事	業(取組)概要	空き店舗	等活用促進事業	補助	金制原	度の実	ミ施						
5 HF	待される効果	戦略の 視点	空き店舗等活所向上につなげる		售事業	補助	金制原	度を実施	し、空	き店舗	が減少、商	頭環境の	
3. 朔付される刈木		行革の 視点											
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向]1	_1産業 拡大	振興と雇用		の方向	業者の 1 強化と	中小企業・小規模事業者の経営基盤の 強化と市内商業の 活性化	
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策	施策の方向2			
		該当する重	点プロジェクト						•				
		事業(取組)に関連するKPI		創業	者数(延べ)			就業	者数		
位置		方針	_		•			項目		•			
	X推進計画との 性の有無	無											
	9. 年次計	計画(取組項	[目]	スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8年	度 令和	19年度	令和10年度	令和11年度	
1	空き店舗等活月 実施	用促進事業	計	画	実	施	実施	J	€施	実施	実施		
	大心				:績								
				評	価								
2				計	画								
				美	:績								
				評	価								
	10.活動(7	アウトプット	·)指標 ————————————————————————————————————	スケジ	シュール	令和'	7年度	令和8年	度 令和	19年度	令和10年度	令和11年度	
1	補助件数			計	画	5	件	6件	6	6件	6件	6件	
		店舗等活用促 補助件数	進事業補助金制	実	績								
				評	価								
2				計	画								
	算出方法			美	:績								
				評	価								

令和7年度	年度目標	空き店舗等活用促進事業補助金制度について、対象区域を従来の中心市街地に商業地域、近隣商業地域を新たに加えて拡充し、より多くの新規出店者と空き店舗等の所有者に対して必要経費の一部を補助することによって支援し、さらなるにぎわい創出を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10. 活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】	総行	合戦略	実行記	計画	行革大綱	革大綱実行計画		DX推進計画			
				No.		S65		No.		No.		D-31
1. 担	当課名	商工	観光労政	課								
2. 事	業(取組)名称	市内	国事業者のデジタ						コード(あれ			_
3 瑪	状と課題	戦略の 視点 	生産性向上や行がある。	省力化	比を図	るた	め、デ	ジタル技術	がをもつ人	材を育	が成す	「る必要
		行革の 視点										
4. 事	葉(取組)概要	商工会を	はじめ、関係機関	関が行	う各	種セ	ミナー	ーや研修会の	の周知			
5 斯]待される効果	戦略の 視点	各種セミナーヤ を図る。	か研修	会の	開催る	を周知	ロし、デジタ	'ル人材の育	育成、	スキノ	レアップ
3. 知何で4で3 刈木		行革の 視点										
		基本目標1	iii安心して働けるまちをつくる		的方向	ī)1	_1産業 拡大	振興と雇用	施策の方向1		中小企業・小規模事業者の経営基盤の 強化と市内商業の 活性化	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	句2			施策の方向			
		該当する重	点プロジェクト	•						•		
		事業(取組)に関連するKPI		就業	者数						
7. 行 位置	i革大綱での づけ	方針	_					項目	,			
	X推進計画との 性の有無	有										
	9. 年次記	十画(取組項	頁目)	スケシ	ブュール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		令和11年度
1	関係機関が行の の周知	う各種セミ [・]	ナーや研修会	뒴	画	実	施	実施	実施	実	施	実施
	の利用和			美	績							
				評	価							
2				計	画							
				美	淫績							
				評	価							
	10. 活動(7	アウトプット	·)指標 ————————————————————————————————————	スケシ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10)年度	令和11年度
1	675 11 1-1-N-1			討	画							
	算出方法			美	淫績							
				評	価							
2	2			뒴	画							
	算出方法			美	ミ績							
				評	畑							

令和7年度	年度目標	デジタル化導入に対する中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業による支援に加え、関係機関が行うデジタル化やDX推進のための各種セミナーや相談窓口等を周知し、デジタル人材育成を図る。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】					総合戦略実行詞			行革大綱	実行計画	DX推進計画		進計画
					No.		S66		No.		No.		
1. 担	当課名			農林	課								
2. 事	業(取組)名称	尓	市認定ブ	ランドの創出					事業	コード(あれ	いば)		_
3 張	状と課題		戦略の 視点	栗東産農産物の を推進していく				るた	めに市が勇	栗東産農産	物のこ	ブラン	/ド認証
3. %			行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要			団体や個人から 質物をブランド語				認証	申請がされ	1 るように	JAとi	連携し	して取り
5 斯	待される効果	Į.	戦略の 視点	ブランド認証さの向上、販路の			産農産	を物か	情報発信	・PRされる	らことに	こよる	5認知度
31 /4.	119 (2.10 (3.00))		行革の 視点										
		:	基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向] 1	_2持線 経営の	・可能な農業)確立	施策の方向		農林業の振興支援による 活性化の推進	
6. 総 位置	合戦略での づけ	:	基本目標2		基本	基本的方向				施策の方向	92		
			該当する重	点プロジェクト						_			
			事業(取組)に関連するKPI		農地	集積率	₹					
7. 行 位置	革大綱での づけ		方針						項目				
8. D 関連	X推進計画と 性の有無	:の	無										
	9. 年	次計	画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和[7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度
1	Aと連携	,農業	と	申請の勧奨	뒴	画	実	施	実施	実施	実	施	実施
	57 (CZ_1)30				実績								
					評	価							
2	農産物のブ	゛ラン	ド認証		討	画	実施		実施	実施	実施		実施
			T propie		実績								
					評	価							
	10. 活動	動(ア	'ウトプット	·)指標 ————————————————————————————————————	スケシ	ジュール	令和"	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	0年度	令和11年度
1	ブランド認識			-71T.I. <i>-111</i> 14	뒴	画	14	/ ‡	2件	2件	31	‡	3件
		農産物 (累計)		認証した件数	美	績							
					評	価							
2	体				討	画							
	算出方法				美	注							
					評	価							

令和7年度	年度目標	①JAと連携して農業者へ認証申請の勧奨を行う。 ②申請された農産物をうますぎる栗東農産物特産物品認証基準に基づき審 査のうえブランド認証する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	祖シート】					実行記	画	行革大綱	実行計画	DX	推進計画	Ī
				No.		S67		No.		No.		
1. 担	当課名		農林	課								
2.事	業(取組)名称	担い手確							コード(あれ		_	
3 飛	状と課題	戦略の 視点	農業従事者の 保し、育成する	高齢(必要	とや後 がある	継者 ² 3。	不足的	こよる担い	手の減少に	こ対して	担い手を	₽確
5.5	7// C D// KG	行革の 視点										
4. 事	業(取組)概要		を希望する人に 是供し、就農相認				必要	な知識や技	技術を学べ	る場を、	Aや県等	手と
5 斯]待される効果	戦略の 視点	農地の荒廃や原	農業生	上産基	盤の	危弱化	化の防止				
3170		行革の 視点										
		基本目標1	iii安心して働けるま ちをつくる		的方向	9 1	_2持続 経営の	・可能な農業)確立	施策の方向	200,344	農林業の振興支援による 活性化の推進	
6. 終 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向2				施策の方向	12		
		該当する重	点プロジェクト						_			
		事業(取組)に関連するKPI		農地	集積率	<u> </u>		認定新数)	規就農者数	故(認定農業	渚
位置		方針	_					項目				
8. D 関連	X推進計画との 性の有無	無無										
	9. 年》	欠計画(取組項	[目]	スケシ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年	度 令和1	1年度
1	チャレンドッ	農業塾の開催・	就 農和談	뒴	画	実	施	実施	実施	実施	実	施
) (U) J	《木主》/而旧	WINTELLEDY	実績								
				評	価							
2				뒴	画							
				美	議							
			\ Halm		" 価							
	10. 活動 I	か(アウトプット	·)指標 	スケシ	ブユール	令和7		令和8年度	令和9年度	令和10年		
1	チャレンジ 算出方法	農業塾への参加	加者数	뒴	画	2.	人	2人	3人	3人	4,	人
	异山刀広			美	注							
				評	価							
2	省中七 壮			뒴	画							
	算出方法			美	[績							
				評	価							

令和7年度	年度目標	①JAや県等と合同でチャレンジ農業塾を開催する。 ②参加者には受講後、就農相談を実施する。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】	総合戦略実行計画	行革大綱実行計

 総合戦略実行計画
 行革大綱実行計画
 DX推進計画

 No.
 S68
 No.
 No.
 D-32

				110.		300		110.			110.		0 32
1. 担	当課名	シティプロ]モーション推進	課									
2. 事	業(取組)名称	SNSを活 報の発信	用した市のPR、	有益	な情	報·魅	力ある	る情事	業コー	ド(あれ	いば)		
3 現	状と課題	戦略の 視点	選ばれるまちと 「住んでみたい										けたい」
3.5	TINCE DINCE	行革の 視点											
4. 事業(取組)概要 情報拡散が期待できるS 会を増やし、市の認知度							市の	PRを行	うこと	で、市	の情報	報に角	蚀れる機
5堆	待される効果	戦略の											
J. 74.	IN C100M/A	行革の 視点											
			iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向]1	_1関係人口の拡 とシビックプライ の養成			施策の方向		多くの まちづ	人が関わる くり
6. 総 位置 [·]	合戦略での	基本目標2		基本	的方向]2			施策	の方向]2		
	J1)	該当する重	点プロジェクト						_				
		事業(取組)に関連するKPI		SNS ワー		式アナ	コウント)	フォロ	市HF	アクセ	2ス数	
7. 行 位置	革大綱での づけ	方針						項目					
	X推進計画との 性の有無	有							·				
	9. 年次記	十画(取組工	頁目)	スケジ	^デ ュール	令和[7年度	令和8年	度 令和	19年度	令和1	0年度	令和11年度
1	新たな情報発	(≣ W_ IL <i>O</i>	道プレ検討	뒴	画	実	施	検討	杉	討	検	討	検討
	利ルでは日刊が		一年八〇代刊	実	績								
				評	価								
2				뒴	画								
				実	績								
				=π	ī/ =			-					

1	新たな情報発信ツールの導入と検討	計画	実施	検討	検討	検討	検討
	利には情報光信ノールの等人と検討	実績					
		評価					
2		計画					
		実績					
		評価					
	10. 活動(アウトプット)指標	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	新規SNSの運用開始	計画	1	-	-	-	-
	算出方法 	実績					
		評価					
2		計画					
	算出方法	実績					
		評価					

令和7年度	年度目標	・公式Instagramの開設 ・市ホームページの見やすさや情報の見つけやすさを意識したページ作り ・市ホームページリニューアルに向けた準備
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】		総合戦略		実行記	画	行革大綱	寒行詞	実行計画		DX推	進計画	
ht +0 -1 - 6				No.		S69		No.	G-9		No.		D-9
1. 担	当課名	信	報政策	課									
2. 事	業(取組)名	か オープン	データの整備						<u> </u>		-		_
3. 瑪	状と課題	戦略の 視点	国が推奨する間用が限定的にな				つみの)整備とな	つてま	ゔり、ī	市民や	か企業	などの利
4. 事	葉(取組)概	要 市の保有	するデータを機	械判	売に通	した	形式に	こ整備し、	公開す	る。			
5. 斯	待される効果	果 戦略の 視点	行政の透明性[進、民間ビジネ	句上の)ほか 造へ <i>0</i>	、市民 D活用	で資	業などが する	利用す	るこ	とでī		
		基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	基本的方向			人口の拡大ックプライド	施策の方向				人が関わる くり
6. 総 位置	合戦略でのづけ	基本目標2	基本目標2			12			施策	の方向	12		
該当する重点で			直点プロジェクト										
事業(取組)に関連するKPI					市出市	アクセ	2ス数						
8. DX推進計画との 関連性の有無 有					•								
9. 年次計画(取組項目)				スケジュール		令和7	'年度	令和8年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度
1				뒴	画	実	施	拡充	拡	充	拡	充	拡充
	オープンデ	ータの拡充		美	績								
				評	価								
2				討	画								
				実	:績								
				評	価								
	10. 活	動(アウトプット	ト)指標	スケジ	ジュール	令和7	'年度	令和8年度	令和9	9年度	令和1	0年度	令和11年度
1	オープンデ	ータ公開数		討	画	81	4	10件	12	件	14	件	17件
	算出方法	☆開するオープン	データの総数	美	:績								
				評	価								
2				討	画								
	算出方法			実	:績								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				科	価								

令和7年度	年度目標	オープンデータ化するデータの優先度を整理し、順次、公開可能な形式への整理を進める。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	オープンデータ化するデータの優先度の整理を引き続き行い、公開データ数を拡充する。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

F ⊞n ⊘i	ns. 13			<i>\\\</i> \	光下四夕	-	Læs	/ - u		eb/TELE	.	DV##	\#=1.==	
【4X利	且シート】			—		実行計			一人裥	実行計画		_	進計画	
				No.		S70		No.			No	D.		
	当課名		民俗博物館						→ \\\\					
2. 事	業(取組)名称		への講師派遣	1 NA+ 2		<u> </u>	 />			コード(1 % 4 0	
3. 現	状と課題	戦略の視点	人口の社会減7 ライドを高める					を推進	里する	るために	は、ホ	「民のシ	ピックブ	
		行革の 視点												
4. 事	業(取組)概要	他課、自治する。	台会、コミュニテ	- ィセンター、各種文化サークル等が主催する事業に講師を派遣										
5 期	待される効果	戦略の 視点	市の豊かな歴史	史や文	化の	魅力夠	そ信・	市に変	愛着な	き誇りを	持つī	市民の均	曾加	
3170	113 (2.1.1.0.7%)	行革の 視点												
		基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本的	勺方向	11	_1関係 とシビ の養成	人口の! ックプラ !	拡大	施策のフ	5向1	多くの まちつ	多くの人が関わるまちづくり	
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方向]2				施策の方向2				
		該当する重	 直点プロジェクト							_				
)に関連するKPI												
7. 行 位置 [*]	7. 行革大綱での 位置づけ 方針 一							項目		_				
8. Dž 関連	X推進計画との 性の有無	無				•								
	9. 年次	計画(取組項	頁目)	スケジュ	ュール	令和7	年度	令和8	年度	令和9年	度令	和10年度	令和11年度	
1	他課、自治会種文化サーク	、コミュニテル等が主催	ィセンター、各 する事業(出前	計画		実施		実施		実施		実施	実施	
	講座)への講	师派遣	> 0 1 NICCE 133	実統	績									
				評化	西									
2				計i	画									
				実統	績									
				評化	西									
	10.活動(アウトプット)指標					令和7	年度	令和8	年度	令和9年	度令	和10年度	令和11年度	
① 出前講座への出		出講回数([□)	計	画	12		12	回	12回		12回	12回	
	算出方法 出前	前講座に講師を	派遣した回数	実績	績									
				評化	西									
2				計i	画									
	算出方法				·									

実績

評価

令和7年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業へ の講師派遣を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業へ の講師派遣を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	狙シート】			総合戦略実行計画		画	行革大綱	実行計画	DX推	進計画
				No.	S71		No.		No.	
1. 担	当課名	歴史.	民俗博物館							
2. 事	業(取組)名称	博物館教	室「昔のくらし」	の開催			事業	コード(あれ	いば)	
3 II	状と課題	戦略の 視点	選ばれるまちて童の学びの機会					也元定着」を	を図るため	には、児
J. 15T	51八C 示人区	行革の 視点								
4. 事	業(取組)概要		年生の社会科学 『形文化財)を活					応する、移	孫民家旧	中島家住
5. 斯]待される効果	戦略の 視点	児童の学びの村 りを持つ市民の					文化の魅力	発信・市に	愛着や誇
0.74	373 C 1 3 3 3 3 7 3	行革の 視点								
			iv選ばれるまちを つくる				人口の拡大 ックプライド		まちつ	人が関わる iくり
		基本目標1		基本的方[句1	の養成		施策の方向	1	
6. 総位置	合戦略での づけ	基本目標2		基本的方[句2			施策の方向	12	
		該当する重	直点プロジェクト					_		
		事業(取組)に関連するKPI							
位置	7. 行革大綱での 方針 方針						項目	_		
	X推進計画との 性の有無	か 無								
	9. 年》	次計画(取組項	· 頁目)	スケジュール	[,] 令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	博物館教室	・ 昔のくらし」	の開催	計画	実	施	実施	実施	実施	実施
	TO TOSATIVE	H () () ()	- × 1/13 1p2	実績						
				評価						
2	博 物	· 昔のくらし」	<u>————</u> の開催	計画	実	施	実施	実施	実施	実施
	 	日のくうし」	が開催	実績						
				評価						
	10. 活動)(アウトプット	·)指標	スケジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	① 受講した市立小学校の数(校)			計画	97	校	9校	9校	9校	9校
		物館教室「昔の・、市立小学校の	くらし」受講校のう数	実績						
				評価						
2	受講した市立	 な校以外の小	学校の数(校)	計画	13	校	13校	13校	13校	13校
		物館教室「昔の、 、市立校以外の	くらし」受講校のう 小学校の数	実績						

評価

令和7年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	【取組シート】						総合戦略実行計画			行革大綱実行計画			DX推進計画		
					No.		S72	No.			No.				
1. 担	当課名		商工	観光労政	課				_						
2. 事	業(取組)名称	称	栗東の魅力 の提供	力を活かした付	加価	値の高	いコンラ	テンツ	事業	コード(あ	れば)				
3. 現	状と課題		戦略の 視点	栗東市は豊かな 施設があること ズに応え、観光》 向上の取り組み	によっ 肖費に	oて「馬 :結びこ	のまち」と	こしても	知られ	ている。ま	多様化す	する観	光客二一		
			行革の 視点												
4. 事	業(取組)概	要		史に触れる観光 力を生かした付	tの促進 t加価値の高いコンテンツの提供										
5堆	待される効!	#	戦略の 視点												
3.70	110 0 1 1 0 0 0 0 0		行革の 視点												
			基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向		地域資源を ∶まちづく	を活か り	施策の方	向1	地域資	源を活かし づくりの推進		
6. 総位置	合戦略での		基本目標2		基本	的方向]2			施策の方	向2				
四回	<i>J</i> ()		該当する重	点プロジェクト						_					
			事業(取組))に関連するKPI		観光	消費額								
7. 行 位置	革大綱での づけ		方針	_		-		項目		_					
	X推進計画と 性の有無	⊆の	無												
	9. 年	次計	画(取組項	[目)	スケシ	ブュール	令和7年原	度 令和	8年度	令和9年周	令和1	0年度	令和11年度		
1	テーマ性の援、隠れた			ンテンツの支 き上げ		画 績	実施	美	施	実施	実	施	実施		
						·順 —— ·価									
2						·····································									
						· Li 渠績									
					宫	価									
	10. 活	動(フ	アウトプット	·)指標	スケシ	ジュール	令和7年歷	度 令和	8年度	令和9年歷	专令和1	0年度	令和11年度		
1	(一社)栗東市観光協会への補助事業の支援回数(回/年)			言	画	5回	5		5回	5	回	5回			
	4	舗公開		の回数(和中散本 りちゃんバス運行 スト)	美	詳									
					哥	価									
2					=	画									
	算出方法				美	淫績									
					言	価									

	- 10/11/20/10	
令和7年度	年度目標	"栗東市観光振興戦略"の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) ・旧和中散本舗特別公開、RITTOフォトコンテストなど、(一社)栗東市観光協会事業への補助 その他、(一社)栗東市観光協会、市民団体などの取り組み(観光庁補助金への事業 応募)への支援
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

				No.		S73		No.			No.		
1. 担	当課名	商工	観光労政	課									
2.事	業(取組)名称	特名産品	、観光産業の活	性化					事業	コード(あれ	ルば)		
3. 現	状と課題	戦略の視点	栗東市は豊かな 施設があること ズに応え、観光 向上の取り組み	によっ 肖費に	て「馬 結び:	のまち	5]2(しても知	回られ	ている。多	様化する	る観	光客二一
		行革の 視点											
4. 事	業(取組)概要		付加価値化とシ で取り組む観光										
5 斯	待される効果	戦略の 視点	地域経済の活	生化、	にぎ	bua.	創出	l、市民	その栗	東市への	愛着を	高め)る
0.74	113 - 11 - 3705/10	行革の 視点											
		基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本的方向		1	_2地垣 したま	ば資源を ちづくり	活か)	施策の方向			源を活かし づくりの推進
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向	12				施策の方向	12		
		該当する重	直点プロジェクト							_			
	事業(取組)に関連するKP				観光	消費額	Į						
位置	7. 行革大綱での 方針 ^一 位置づけ				•			項目		_			
	X推進計画との 性の有無	無											
	9. 年次	計画(取組項	頁目)	スケジ	ジュール	令和[7年度	令和8	年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	周遊型滞在四	型観光の促進	、特名産品の	뒴	画	実	施	実力	施	実施	実済	包	実施
	充実支援			美	績								
				評	価								
2				뒴	画								
				実	績								
				評	価								
	10. 活動	(アウトプット	〜)指標	スケジ	ブユール	令和"	7年度	令和8	年度	令和9年度	令和10	年度	令和11年度
1	物産展出品回			計	画	5	▣	5[▣	5回	5E]	5回
	(栗 (協	東ステークス、 『定締結先)主催	イベントの回数 近江特別、泉佐野 全国物産フェア、	美	績								
	滋賀県キャンペ り		ン)、草津宿場まつ	評	価								
2	or or all and a second			計	-画								
	算出方法			美	績								
				評	価								

総合戦略実行計画

行革大綱実行計画

DX推進計画

【取組シート】

令和7年度	年度目標	"栗東市観光振興戦略"の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) 「馬のまち」としての取り組み(栗東ステークス、ホースパーク計画)の積極的なPR 物産展への積極参加、(一社)栗東市観光協会への補助事業の支援、めぐりちゃんバスの運行の支援 その他、(一社)観光協会、市民団体などの取り組み(観光庁補助金への事業応募)への支援
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	•
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	且シート】			総合戦略		実行詞	抽	行革大綱	実行計画	DX扎	進計画
				No.		S74		No.		No.	
1. 担	当課名	商工	観光労政	課							
2.事	業(取組)名称	観光に関	する情報発信の	強化	・充実			事業	コード(あれ	いば)	
3現	状と課題	戦略の 視点	多様化するニー 情報発信やプロ						やSNS等も	活用した	効果的な
3. %		行革の 視点									
4. 事	業(取組)概要	効果的な [・]	プロモーションや	や情報	発信	·交流	の実	施			
5期	待される効果	戦略の 視点	観光客の新たな	は層を	発掘	し、鶴	光客	の増加			
J. 741	IN CHUBAJAN	行革の 視点									
		基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向	1		は資源を活か ちづくり	施策の方向		資源を活かし ちづくりの推進
6. 総 位置 [·]	合戦略での づけ	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12	
	点プロジェクト						<u> </u>				
		事業(取組)に関連するKPI		観光	入込客	数				
7. 行革大綱での 方針 一位置づけ								項目			
	X推進計画との 性の有無	無									
	9. 年次計	十画(取組項	(目)	スケジ	ジュール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	観光の強みを流			計	画	実	施	実施	実施	実施	実施
	情報提供のため携、通過型来訪	かの行政間	連携、官民連	美	績						
				評	価						
2				計	画						
				実	:績						
				評	価						
	10. 活動(7	アウトプット	-)指標	スケジ	・ユール	令和7	7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年原	令和11年度
1	LINE投稿回数			計	画	9		9回	9回	9回	9回
	数(主催 公開 春	以外も含む、物産展 秋、めぐりちゃんバ リ、泉佐野(協定締結	NE投稿が可能な事業の回なども含む)の回数(和中散ス 春秋、栗東ステークス、 法)全国物産フェア、滋賀県	美	績						
	+1/2/			評	価						
2	/2011			計	画						
	算出方法			実	績						
				評	価						

令和7年度	年度目標	"栗東市観光振興戦略"の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) ・LINE、Facebookなどを活用した観光情報の積極的発信
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シー	١,		
「跳船ン一	r		

 総合戦略実行計画
 行革大綱実行計画
 DX推進計画

 No.
 S75
 No.
 No.

1. 担	当課名	シティ	プロ]モーション推進	課									
2. 事	業(取組)名称	·「馬」	関連	述いるさと納税 が	区礼品	品の充	実		事業	コード(あオ	いば)			
3 張	状と課題		戦略の 人口の社会減が続く中、選ばれるまちになるために、「馬のまち」をPRしてい 視点 く必要がある。											
5. %			行革の 視点											
4. 事	專業(取組)概要	馬関連	の	グッズや体験を	ふるさと納税の返礼品とし、「馬のまち」のPRを行う。									
5. 期待される効果		視点	戦略の 市場規模が拡大の一途をたどるふるさと納税の活用により、大手ECサイト 等を通じて「馬のまち」を全国に発信する。											
J. 74.		行革(行革の 視点											
		基本目	標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向	1		越資源を活か ちづくり	施策の方向		地域資源を活かし たまちづくりの推進		
6. 総 位置	合戦略での づけ	基本目	標2		基本	的方向	12			施策の方向	句2			
	J1)	該当す	る重	点プロジェクト										
事業(取組)に関連するKPI					夏と言: 民の害		あまち」と!	感じ						
7. 行革大綱での 方針				項目										
	. DX推進計画との 連性の有無 無													
9. 年次計画(取組項目)			スケシ	ブュール	令和7年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
1	馬関連返礼	品の開拓			計画		実	施	実施	実施	実施	実施		
						実績								
					評価									
2	馬関連返礼	品のPR			計画		実施		実施	実施	実施	実施		
	المراجعة الم	нн			実績									
					評	陌								
	10. 活動	か(アウトプ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	、)指標	スケシ	ブユール	令和7年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
1	馬関連返礼	品取扱事業	美者	数	計画		11者		11者	11者	11者	11者		
		関連の返礼 数	品を	取り扱う事業者の	実	ミ績								
					詔	陌								
2	返礼品の情	報発信の回	回数		言	画	5		5回	5回	5回	5回		
	算出方法 H 数		等で	情報を発信した件	美	ミ績								
					言	P価								

令和7年度 年度目標		①既存、新規を問わず、馬関連の返礼品を取り扱う事業者に働きかけを行う。
	干及口小	②HP、ポータルサイト、各種イベント等で情報発信を行う。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取約	【取組シート】			総合戦略実行計画			抽	行革大綱	DX推進計画			
				No.		S76		No.		No.	[D-33
1. 担	!当課名	商工	観光労政	課								
2. 事	譯(取組)名称		の発信や観光事 リなどにDX推進			う馬を	活か	した 事業	コード(あれ	າເば)		
3 H	状と課題	戦略の 視点	実効性のある が必要。	事業を	展開	するア	らめて	見光に関す	る統計やテ	ニータの	の整備	帯・利活用
J. 151	51八〜 5本位3	行革の 視点										
4. 事	葉(取組)概要	観光に関 提供	するDXの推進、	、必要	に応り	<i></i> ンたア	ンケ	一卜調査等	の実施に	よるデ	ータ	の収集と
5 #F	 消待される効果	戦略の 視点	データをもとに を活かす効果的)実施がで	きる。	現光:	事業で馬
Э. Д	11分に11の刈水	行革の 視点										
		基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向	<u> </u>	 _2地域 したま	ば資源を活か ちづくり	施策の方向		地域資源を活かし たまちづくりの推進	
6. 総 位置	合戦略での	基本目標2		基本	的方向]2			施策の方向	12		
	JI)	該当する重	・ 直点プロジェクト	•					_	•		
事業(取組)に関連するKF)に関連するKPI			夏と言え 民の害		のまち」と!	惑じ			
位置		方針	_	·				項目	_			
	X推進計画との 性の有無	有										
	9. 年次記	計画(取組功	頁目)	スケジ	^ブ ユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1C)年度	令和11年度
1	観光に関する[アンケート調査	OXの推進、 音の実施I	必要に応じた こよるデータの	計	画	調査	·研究	検討	準備	実施	拖	実施
	収集と提供			実績 								
2					価 —— ·画							
					 :績							
				—— 評	価							
	10. 活動(スケジ	ブユール	令和'	7年度	令和8年度	令和9年度	令和1C	年度	令和11年度
1	7),,Y()			뒴	-画							
	算出方法			美	績							
<u>_</u>					·価 ———							
2	算出方法				画							
					積							
				評	価							

令和7年度	年度目標	観光に関するDXの推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	 今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	

【取組シート】	【取組シート】			う 戦略実行	計画	行革大綱実行		一画	DX推進計画			
				S77		No.		No.				
1. 担当課名	歴史	民俗博物館										
2. 事業(取組)名称	歷史民俗	博物館での展覧	会の	開催		事業	€コード	[:] (あれば)				
3. 現状と課題	戦略の 視点	地域資源を活力 要。	活かしたまちづくりを進めるには、市の魅力を発信する拠点が必									
J. 5/1/八Cp/A/区	行革の 視点											
4. 事業(取組)概要	地域の博	物館として、市の豊かな歴史や文化を取り上げた展覧会を開催する。										
5. 期待される効果	戦略の 視点	市の豊かな歴史や文化の魅力発信・市に愛着や誇りを持つ市民の増加・交流人口の拡大										
אנאטירט אווא	行革の 視点											
	基本目標1	iv選ばれるまちを つくる	基本	的方向1		資源を活か っづくり	施策0	の方向1	地域資源を活かし たまちづくりの推進			
6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標2		基本的方向2				施策の方向2					
	該当する重	点プロジェクト		_								
	事業(取組)に関連するKPI										
7. 行革大綱での 位置づけ	方針	_		_		項目		_				
8. DX推進計画との 関連性の有無	無											

	9. 年次計画(取組項目)	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	市の歴史や文化について紹介する特集	計画	実施	実施	実施	実施	実施
	展示等の開催	実績					
		評価					
2	通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実、来館者増加のための広報、	計画	実施	実施	実施	実施	実施
	関係団体等との連携	実績					
		評価					
	10. 活動(アウトプット)指標	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1	特集展示等の開催回数(本)	計画	5本	5本	5本	5本	5本
	算出方法 第2展示室で開催する特集展示等の 本数	実績					
		評価					
2	歴史民俗博物館への入館者数(人)	計画	11000人	11000人	11000人	11000人	11000人
	算出方法 歴史民俗博物館に入館した人数	実績					
		評価					

令和7年度	年度目標	①終戦80年・昭和100年を意識した展覧会の開催、市の歴史と文化を特徴づける宗教文化を紹介する展覧会の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。
	取組実績	
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトブット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由	
	今後の方向性・ 対応策	
令和8年度	年度目標	①テーマをしぼった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和9年度	年度目標	①テーマをしぼった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和10年度	年度目標	①テーマをしぼった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	
令和11年度	年度目標	①テーマをしぼった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。
	取組実績	
	課題	
	今後の方向性・ 対応策	